

事業年度	令和7年度
工事種別	改修工事（建築工事）
工事番号	地協工-1

工事名 兼山地区センター外部改修工事

◎注意事項

この内訳書の工事項目及び数量は、積算する上での参考資料です。

積算の際は、設計図面にて工事項目及び数量を拾い出し積算して下さい。

可児市

市民文化部

地域協働課

当初 設計書

工事番号	地協工-1	工事箇所	可児市 兼山 地内	施設名	兼山地区センター	
工事名	兼山地区センター外部改修工事					
理 由			工 事 概 要			
<p>当該建物は昭和62年に建設されており、長寿 命化基本計画及び可児市公共施設個別施設計 画に基づき、防水及び外壁塗装は更新の時期 であり、また外壁タイル部分は調査の結果、 劣化、浮き及びひび割れが確認され、改修工 事を行う必要があるため。</p>			<p>兼山地区センター 構造・階数：鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)・2階建て 建設年度：昭和62年度 建築改修工事（防水改修工事、屋根改修工事、外壁改修工事、塗装改 修工事等）</p>			
金 額		円	内消費税相当額		円	
特 記 仕 様 書						
<p>1. 一般事項</p> <p>(1) 受注者は、工事請負契約書、可児市建設工事共通仕様書及び特記仕様書に基づき施工するものとする。なお、特記仕様書は共通仕様書に優先する。</p> <p>(2) 受注者は、本工事が「可児市工物品質証明実施要領」の対象となる場合、要領に基づき品質の証明を実施しなければならない。</p> <p>(3) 提出・提示書類は別添「可児市建設工事における取扱い書類一覧表」に基づき実施するものとする。また、工事打合簿（指示、協議、承諾は除く）、材料確認簿、夜間・休日作業届けの書類を提出する場合は、別添様式に基づき、電子メールにて提出するものとし、書面には署名または押印する必要はないものとする。これらに定めのない事項については、監督員と協議する。</p> <p>2. 建設副産物有効利用及び適正処理について</p> <p>(1) 受注者は、建設副産物を排出するにあたっては、建設リサイクル法を遵守するとともに、「岐阜県建設副産物有効利用及び適正処理実施要綱」により、適切に実施すること。</p> <p>(2) 建設発生土については、工事間流用とし、流用先は監督員が指示する。都合により工事間流用ができなくなった場合は、別途協議する。また受注者の都合により処分場を変更する時は監督員に報告するものとする。なお、「岐阜県埋立て等の規制に関する条例」及び「岐阜県建設発生土管理基準」に基づき適正な利用の推進を図ること。</p> <p>3. 使用材料</p> <p>(1) 生コンクリートについて 本工事に使用するコンクリートの水セメント比は、鉄筋コンクリート（24N/mm<sup>2</sup>以上）については55%以下、無筋コンクリート及び鉄筋コンクリート（21N/mm<sup>2</sup>以下）については60%以下、均しコンクリートについては60%程度とし、品質を証明する書類を提出して、事前に監督員の許可を得ること。</p> <p>4. 工事施工について</p> <p>(1) 受注者は、工事着手に先立ち、現場付近の地元住民等に対する周知、説明、説得等を行い、トラブルの生じないように努めること。</p> <p>(2) 工事による既設構造物の破損については、未然に防止するよう予め十分調査をし、また、支障を及ぼさないよう相当の防護工を施工しなければならない。なお、誤って損傷を与えた場合は、請負人の責任において復旧しなければならない。調査に際しては、記録保存の必要を認めた場合は写真撮影、測量等を行わなければならない。</p> <p>5. 工事保険について 本工事において、発注者、受注者及び全下請人を被保険者として、工事着手から工事目的物の引渡しまでの期間について、賠償責任保険（保険対象：第三者に与えた損害）及び工事保険（保険対象：工事目的物、工事材料及び仮設物等）に加入するものとする。</p> <p>6. ワンデーレスポンスの取組について</p> <p>(1) この工事は、ワンデーレスポンス実施対象工事です。 「ワンデーレスポンス」とは受注者からの質問、協議、報告、承諾願、立会願等への回答は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することです。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。</p> <p>(2) 実施にあたっては、可児市工事監督におけるワンデーレスポンス実施要領に基づき実施する。</p> <p>(3) 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合や計画工程と実施行程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督員へ報告すること。</p> <p>(4) 受注者は、施工計画書に基づいて適正な計画工程を作成し、工事の先々を予見しながら、施工するものとする。</p>						

7. 電子納品について

「岐阜県電子納品要領」等に基づき、電子納品を行うこと。なお、電子納品の内容については、監督員と事前に協議し、決定すること。

8. 暴力団等による不当介入における通報義務について

(1) 受注者は、契約の履行に当たって、暴力団又は暴力団員等から、事実関係及び社会通念等に照らして合理的な理由が認められない不当若しくは違法な要求又は契約の適正な履行を妨げる妨害を受けたときは、警察へ通報するとともに、可児市が行う契約からの暴力団排除に関する措置要綱（平成22年可児市訓令甲第47号）に定める様式第9号により可児市に報告しなければならない。なお、通報・報告がない場合は、可児市建設工事請負契約に係る指名停止措置要領に基づき、指名停止等の措置を行うことがある。

(2) 受注者は、暴力団又は暴力団員等による不当介入を受けたことにより、履行期間内に工事等を完了することができないときは、発注者に履行期間の延長変更を請求することができる。

9. 現場代理人の兼務について

現場代理人は、工事請負契約約款第10条第2項の規定により、契約工期内の現場常駐が義務付けられているが、契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間や、工事の全部の施工を一時中止している期間については、監督員との連絡体制を確保した上で、常駐義務を緩和するものとする。また、以下の条件を全て満たす場合に、他工事の現場代理人を兼務することができる。

1. 他工事は、可児市発注の建設工事で、工事現場が市内であること。
2. 他工事においても、本工事と同様に現場代理人の兼務を認めていること。
3. 兼務を行う工事の総数が、本工事を含めて3件までであること。
4. 兼務を行う工事の請負代金額の合計が4,000万円未満であること。
5. 発注者又は監督員が求めた場合には、工事現場に速やかに向かう等の対応ができること。

なお、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がある場合、及び、発注者との連絡体制が確保されていないと監督員の認めた場合は、兼務を取り消すものとする。

現場代理人が兼務となった場合は、本工事の監督員及び他工事の監督員の双方に、現場代理人兼務届を提出しなければならない。

10. 可児市公共基準点の保全について

公共施工区域内に可児市公共基準点が設置してある場合は、基準点錐を滅失・き損または、その効用に支障をきたすことのないよう十分に留意すること。施工上止むを得ず支障となる場合は、事前に監督員に報告すること。

11. 法定外の労災保険の付保

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

12. 建築物・工作物等の解体・改修工事に伴うアスベスト調査について

工事規模、請負金額にかかわらず事前にアスベストの使用の有無の事前調査を行うこと。

また、一定規模以上の工事は、事前調査結果を岐阜県に報告すること。

13. 統一の一斉休工の取組について

(1) 本工事は「建設現場の週休2日」の普及および浸透に向けて、週休2日制モデル工事の適否に関わらず、土曜日の休工に努める「まんなかホリデー（中部地区統一の一斉休工）」に取組むものとする。

なお、本取組は強制的な一斉休工や工程の調整を求めるものではない。

(2) 休工とは、現場事務所での事務作業を含め1日を通して現場や現場事務所が閉所されている状態をいう。

（巡回パトロールや保守点検等現場管理上必要な作業を行う場合を除く）

14. その他

・国土交通省大臣官房庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書（建築・電気設備・機械設備工事編）最新版

・国土交通省大臣官房庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（建築・電気設備・機械設備工事編）最新版

・工事用水・電気については施設内のものを使用することができる。ただし、有償とする。

・10月26日（日）開催予定の地区センター祭までに指定箇所の足場等の仮設材の解体をすること。

・外壁調査は一級建築士、外壁打診調査士又はそれと同等の資格を有する者が行い、調査報告書は下記の項目を反映して2部提出すること。

1. 表紙

2. 調査対象

物件名

調査対象範囲

調査実施日

調査会社、調査担当者名（資格証明含む）

3. 調査概要

調査対象（建物概要：所在地、構造、階数、竣工年月など）

調査範囲（例：外壁全面、バルコニー、庇など）

調査方法（全面打診調査、一部目視調査併用など）

調査体制（調査員数など）

使用機材

天候条件（調査日の天候、気温など）

4. 調査結果

異常部位の分布状況：異常が確認された箇所全体の分布状況を図示（立面図に色分け表示など）

異常部位の詳細：異常の種類（浮き、剥離、ひび割れ、欠損、汚れ、変色、その他）

発生箇所（具体的な部位、高さ、方位などを図面や写真と対応させて明示）

数量（異常が確認された箇所の数や面積）

写真（異常箇所の状況を示す近景・遠景写真、必要に応じてスケール入り）

集計表：異常の種類別、程度別、部位別の集計結果を一覧表示

5. 総合評価

調査結果全体の総括

具体的な補修工法の提案（例：部分補修、シーリング打ち替え、全面改修など）

その他図面特記仕様書による。

特記仕様書  
(条件明示)

工事名 兼山地区センター外部改修工事

下記項目、事項のうちレ印該当欄は、工事施工にあたって制約等をうけることになるので明示する。  
なお、明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、市と協議し適切な処置を講ずるものとする。

施工条件

明示項目	明示事項	制約条件等
工 程	<input type="checkbox"/> 1. 関連する別途発注工事あり	<input type="checkbox"/> A. 工種 ( ) <input type="checkbox"/> B. 期間 ( ~ )
	<input type="checkbox"/> 2. 他機関協議による工程条件あり	<input type="checkbox"/> A. 工種 ( ) <input type="checkbox"/> B. 期間 ( ~ )
	<input type="checkbox"/> 3. 他機関との協議状況	<input type="checkbox"/> A. 協議済機関及び内容 ( ) <input type="checkbox"/> B. 未協議機関及び内容 ( )
	<input type="checkbox"/> 4. 占用許可状況 ( )	<input type="checkbox"/> A. 許可済 <input type="checkbox"/> B. 申請中
	<input type="checkbox"/> 5. 建築確認	<input type="checkbox"/> A. 許可済 <input type="checkbox"/> B. 申請中
	<input type="checkbox"/> 6. 河川区域、保全区域内作業あり	<input type="checkbox"/> A. 許可済 <input type="checkbox"/> B. 申請中
	<input type="checkbox"/> 7. 文化財協議 (文化財課)	<input type="checkbox"/> A. 協議済内容 ( ) <input type="checkbox"/> B. 未協議内容 ( )
	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 施工時期	<input checked="" type="checkbox"/> A. 施工時期 ( 担当課と施設利用状況等の確認の上決定すること )
	<input type="checkbox"/> 9. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )
用 地	<input type="checkbox"/> 1. 用地補償物件撤去まで着工制限あり	<input type="checkbox"/> A. 区間 (No. ~ No. ) <input type="checkbox"/> B. 着工見込時期 ( ) <input type="checkbox"/> C. 内容 ( )
	<input type="checkbox"/> 2. 工事用地の未買収	<input type="checkbox"/> A. 場所 ( ) <input type="checkbox"/> B. 処理の見込み時期 ( ) <input type="checkbox"/> C. 未買収地への立ち入り可否 ( )
	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 仮設ヤードの有無	<input checked="" type="checkbox"/> A. 官有地 <input type="checkbox"/> B. 民有地 <input type="checkbox"/> C. その他 ( ) <input type="checkbox"/> D. 別途協議
	<input type="checkbox"/> 4. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )
公 害 対 策	<input type="checkbox"/> 1. 施工方法の制限あり	<input type="checkbox"/> A. 騒音 ( ) <input type="checkbox"/> B. 振動 ( ) <input type="checkbox"/> C. 水質 ( ) <input type="checkbox"/> D. その他 ( )
	<input type="checkbox"/> 2. 事業損失防止に関する調査あり	<input type="checkbox"/> A. 調査の項目 ( )
	<input type="checkbox"/> 3. 環境影響調査あり	<input type="checkbox"/> A. 生物・植物調査あり
	<input type="checkbox"/> 4. 土壌汚染対策法に関する届出	<input type="checkbox"/> A. 届出済 (3,000㎡以上の土地の形質の変更、工事着手30日前まで)
	<input type="checkbox"/> 5. 石綿含有に関する事前調査	<input type="checkbox"/> A. 発注者による含有調査 ( 契約後貸与 (特記仕様書-4より) ) <input type="checkbox"/> B. 受注者による含有調査 <input type="checkbox"/> C. 調査結果の報告 (一定規模以上)
	<input type="checkbox"/> 6. その他	<input type="checkbox"/> A. フロン回収あり <input type="checkbox"/> B. その他 ( )
安 全 対 策	<input type="checkbox"/> 1. 交通規制あり	<input type="checkbox"/> A. 全面通行止め <input type="checkbox"/> B. 片側通行止め <input type="checkbox"/> C. 時間制限あり ( )
	<input type="checkbox"/> 2. 通学路あり	<input type="checkbox"/> A. 迂回路あり <input type="checkbox"/> B. 仮設歩道必要
	<input type="checkbox"/> 3. 交通整理員	<input type="checkbox"/> A. 区間 (No. ~ ) 配置人員 人/日 <input type="checkbox"/> B. 区間 (No. ~ ) 配置人員 人/日 <input type="checkbox"/> C. 区間 (No. ~ ) 配置人員 人/日 <input type="checkbox"/> D. 交替要員あり
	<input type="checkbox"/> 4. 鉄道等の近接作業制限あり	<input type="checkbox"/> A. 工法制限あり ( ) <input type="checkbox"/> B. 作業時間制限あり ( )
	<input type="checkbox"/> 5. バス路線 (運行者との協議)	<input type="checkbox"/> A. 協議済内容 (足場設置に伴う、バス停の位置変更) <input type="checkbox"/> B. 未協議内容 ( )
	<input type="checkbox"/> 6. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )
工 事 用 道 路	<input type="checkbox"/> 1. 一般道路 (搬入路) の使用制限	<input type="checkbox"/> A. 搬入経路指定あり <input type="checkbox"/> B. 時間帯制限あり
	<input type="checkbox"/> 2. 仮設道路の設置条件あり	<input type="checkbox"/> A. 一般交通供用あり <input type="checkbox"/> B. 安全施設必要 ( ) <input type="checkbox"/> C. 路面工 ( ) <input type="checkbox"/> D. 工事完了後存続又は撤去 ( ) <input type="checkbox"/> E. 構造 ( ) <input type="checkbox"/> F. 用地 (借地) <input type="checkbox"/> G. 用地 (公用地) <input type="checkbox"/> H. 用地 (その他)
	<input type="checkbox"/> 3. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )
指 定 仮 設 備	<input type="checkbox"/> 1. 仮設物の指定又は一部指定あり	<input type="checkbox"/> A. 工種 ( )
	<input type="checkbox"/> 2. 仮設構造物の転用、兼用あり	<input type="checkbox"/> A. 工種 ( ) <input type="checkbox"/> B. 内容 ( )
	<input type="checkbox"/> 3. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )

明示項目	明示事項	制約条件等
建設発生土 建設（産業）廃棄物係	<input type="checkbox"/> 1. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [場所が未確定]	<input type="checkbox"/> A. 運搬距離（ km ） <input type="checkbox"/> B. 投棄料計上あり <input type="checkbox"/> C. 整地（押土、敷均、締固等）必要 <input type="checkbox"/> D. 整地（押土）必要
	<input type="checkbox"/> 2. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [自工事へ流用]	<input type="checkbox"/> A. 盛土、埋戻 <input type="checkbox"/> B. スtockヤード利用あり（ ） <input type="checkbox"/> C. 仮置場必要（ ） <input type="checkbox"/> D. 運搬距離（ km ） <input type="checkbox"/> E. 仮置場の用地借上費計上あり
	<input type="checkbox"/> 3. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [他工事へ流用、または処分地指定]	<input type="checkbox"/> A. 場所（ ） <input type="checkbox"/> B. 盛土、埋戻 <input type="checkbox"/> C. 整地（押土、敷き均し、転圧）あり <input type="checkbox"/> D. スtockヤード利用あり（ ） <input type="checkbox"/> E. 仮置場必要（ ） <input type="checkbox"/> F. 運搬距離（ km ） <input type="checkbox"/> G. 仮置場の用地借上費計上あり <input type="checkbox"/> H. 処分料計上あり
	<input type="checkbox"/> 4. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [他工事からの流用]	<input type="checkbox"/> A. 他工事名（ ） <input type="checkbox"/> B. 請負者運搬あり（運搬距離 km ） <input type="checkbox"/> C. 盛土、埋め戻し <input type="checkbox"/> D. スtockヤード利用あり（ ） <input type="checkbox"/> E. 仮置場必要（ ） <input type="checkbox"/> F. 仮置場の用地借上費計上あり
	<input type="checkbox"/> 5. 産業廃棄物の処理条件あり [特別管理産業廃棄物]	<input type="checkbox"/> A. 種類（ ） <input type="checkbox"/> B. 場所（ ） <input type="checkbox"/> C. 中間処理施設までの運搬距離（ km ） <input type="checkbox"/> D. 処理費計上あり
	<input type="checkbox"/> 6. 浄化槽、汲み取り便槽の取壊し処分あり	<input type="checkbox"/> A. 槽内洗浄必要 <input type="checkbox"/> B. 可見市環境課と打合せの必要あり
	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 「岐阜県建設副産物有効利用及び適正処理実施要綱」に基づく提出・提示書類あり	<input checked="" type="checkbox"/> A. 産業廃棄物管理票（マニフェスト） <input type="checkbox"/> B. 建設発生土管理状況書類及び処理地の関係図書 <input checked="" type="checkbox"/> C. コブリス <input checked="" type="checkbox"/> D. 廃棄物処理委託契約、許可書
工事支障物件	<input type="checkbox"/> 1. 占用支障物件あり（電気）	<input type="checkbox"/> A. 移設時期（R 年 月頃） <input type="checkbox"/> B. 移設時期（別途協議）
	<input type="checkbox"/> 2. 占用支障物件あり（電話）	<input type="checkbox"/> A. 移設時期（R 年 月頃） <input type="checkbox"/> B. 移設時期（別途協議）
	<input type="checkbox"/> 3. 占用支障物件あり（水道）	<input type="checkbox"/> A. 移設時期（R 年 月頃） <input type="checkbox"/> B. 移設時期（別途協議）
	<input type="checkbox"/> 4. 占用支障物件あり（下水道）	<input type="checkbox"/> A. 移設時期（R 年 月頃） <input type="checkbox"/> B. 移設時期（別途協議）
	<input type="checkbox"/> 5. 占用支障物件あり（ガス）	<input type="checkbox"/> A. 移設時期（R 年 月頃） <input type="checkbox"/> B. 移設時期（別途協議）
	<input type="checkbox"/> 6. 占用支障物件あり（マンホール蓋、仕切り弁蓋等）	<input type="checkbox"/> A. 管理者による高さ調整（ ） <input type="checkbox"/> B. 請負者による高さ調整（ ）
	<input type="checkbox"/> 7. 占用支障物件あり（その他）	<input type="checkbox"/> A. 移設時期（ ） <input type="checkbox"/> B. 移設時期（別途協議）
	<input type="checkbox"/> 8. その他	<input type="checkbox"/> A. その他（ ）
排水工関係	<input type="checkbox"/> 1. 濁水、湧水処理条件あり	<input type="checkbox"/> A. 方法（ ）
	<input type="checkbox"/> 2. その他	<input type="checkbox"/> A. その他（ ）
再生材使用	<input type="checkbox"/> 1. 再生材使用指定あり	<input type="checkbox"/> A. RC <input type="checkbox"/> B. アスファルト再生合材（30%再生） <input type="checkbox"/> C. アスファルト再生合材（100%再生） <input type="checkbox"/> D. 再生材を使用できない場合別途協議 <input type="checkbox"/> E.
	<input type="checkbox"/> 2. その他	<input type="checkbox"/> A. その他（ ）
その他	<input type="checkbox"/> 1. 現場発生材あり	<input type="checkbox"/> A. 品名（ ） <input type="checkbox"/> B. 納入場所（ ）
	<input type="checkbox"/> 2. 支給材あり	<input type="checkbox"/> A. 品名（ ） <input type="checkbox"/> B. 引渡し場所（ ）
	<input type="checkbox"/> 3. 現場環境改善	<input type="checkbox"/> A. 仮設費（ ） <input type="checkbox"/> B. 安全費（ ） <input type="checkbox"/> C. 営繕費（ ） <input type="checkbox"/> D. 地域連携（ ）
	<input type="checkbox"/> 4. 「可見市工物品質証明実施要領」該当あり	<input type="checkbox"/> A. 品質証明員の配置あり
	<input type="checkbox"/> 5. 部分使用	<input type="checkbox"/> A. 範囲（ ） <input type="checkbox"/> B. 時期（ ）
	<input type="checkbox"/> 6. その他	<input type="checkbox"/> A. その他（ ）

記号	工 事 名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	兼山地区センター外部改修工事						
A	建築工事		1.0	式			
I	直接工事費 計		1.0	式			
II	共通仮設費	(共通仮設工事費積上分を含む)	1.0	式			
	純工事費 計						
III	現場管理費		1.0	式			
	工事原価 計						
IV	一般管理費等負担額		1.0	式			
	工事価格 計						
V	消費税相当額		1.0	式			
	総 合 計						







名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
①-2 防水改修工事						
水洗い清掃	平場	53.2	m <sup>2</sup>			
	立上り H350内外	20.8	m <sup>2</sup>			
塩ビシート防水 (S-F2)	平場	53.2	m <sup>2</sup>			
塩ビシート防水 (密着工法)	立上り H350内外	20.8	m <sup>2</sup>			
端部シーリング	笠木下箇所	35.8	m			
端部シーリング	押え金物箇所	23.6	m			
端部押え金物		23.6	m			
水洗い清掃	R C 水切上端 糸巾200	3.2	m <sup>2</sup>			
ウレタンゴム塗膜防水 (X-2)	R C 水切上端 糸巾200	3.2	m <sup>2</sup>			
露出ゴムシート防水撤去	平場	53.2	m <sup>2</sup>			
立上り部分ゴムシート防水撤去		20.8	m <sup>2</sup>			
立上り部分端部シーリング撤去	笠木下箇所	35.8	m			
立上り部分端部シーリング撤去	押え金物箇所	23.6	m			
立上り部分端部押え金物撤去		23.6	m			
改修ルーフトレン新設	横引き75φ用	3.0	箇所			
改修ルーフトレン新設	縦型75φ用	1.0	箇所			
アルミ笠木一時撤去・復旧		35.3	m			
軒樋内側水洗い清掃	糸巾400	93.6	m <sup>2</sup>			



名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
①-3	屋根改修工事					
	水洗い清掃	1,420.0	m <sup>2</sup>			
	ふっ素樹脂系屋根用遮熱塗料	1,420.0	m <sup>2</sup>			
	錆面浸透型プライマー	142.0	m <sup>2</sup>			
	小計					
	改め計					

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
①-4	外壁改修工事						
	外壁劣化部調査		1,190.0	m <sup>2</sup>			
	[外壁タイル面補修]						
	一般部 ・ 注入口付アンカーヒンキング部分エポキシ樹脂注入工法(16本/m <sup>2</sup> )		1.0	m <sup>2</sup>			
	狭幅部 ・ 注入口付アンカーヒンキング部分エポキシ樹脂注入工法(5本/m)		1.7	m			
	欠損 ・ ひび割れ ・ 陶片浮き ・ 汚損張替工法 磁器質小口タイル張り		16.23	m <sup>2</sup>			
	タイル下コンクリート躯体面ひび割れ補修 Uカットシール材充填工法	幅1mm超	0.5	m			
	タイル下コンクリート躯体面ひび割れ補修 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	幅0.2mm以上～1mm以下	66.8	m			
	[外壁コンクリート面補修]						
	ひび割れ補修 Uカットシール材充填工法	幅1.0mm超	1.0	m			
	ひび割れ補修自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	幅0.2mm以上～1.0mm以下	44.4	m			
	ひび割れ補修シール工法	幅0.2mm未満	7.5	m			
	外壁 欠損 ・ 爆裂面等補修 エポキシ樹脂モルタル充填工法(100×100程度)		1.0	箇所			
	外壁 欠損 ・ 爆裂面等補修 エポキシ樹脂モルタル充填工法(50×50程度)		1.0	箇所			
	カッター入れ	外壁タイル撤去部	162.0	m			
	張替工法外壁タイル撤去	磁器質小口タイル 下地モルタル共	16.2	m <sup>2</sup>			
	コンクリート打放吹付タイル面 水洗い工法	15MPa程度ブラシ併用	399.0	m <sup>2</sup>			
	可とう形改修塗材RE	可とう形改修塗材RE(さざ波)+超低汚染二液型水性ふっ素樹脂塗料	399.0	m <sup>2</sup>			

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
[巾木（外壁）関連]						
外壁劣化部調査	モルタル金ゴテ面	23.9	m <sup>2</sup>			
[外壁巾木モルタル面補修]						
狭幅部・注入口付アンカーピンニング部分球形樹脂注入工法(5本/m)		0.3	m			
ひび割れ補修Uカットシール材充填工法	幅1.0mm超	0.1	m			
ひび割れ補修自動式低圧球形樹脂注入工法	幅0.2mm以上～1.0mm以下	1.1	m			
ひび割れ補修シール工法	幅0.2mm未満	0.1	m			
外壁巾木モルタル面水洗い清掃		23.9	m <sup>2</sup>			
[軒天（打放し部分）]						
外壁劣化部調査	打放し面	200.0	m <sup>2</sup>			
[軒天打放し面補修]						
ひび割れ補修Uカットシール材充填工法	幅1.0mm超	1.0	m			
ひび割れ補修自動式低圧球形樹脂注入工法	幅0.2mm以上～1.0mm以下	10.0	m			
ひび割れ補修シール工法	幅0.2mm未満	5.0	m			
打放し面水洗い工法	15MPa程度ブラシ併用	200.0	m <sup>2</sup>			
シリコン樹脂塗料	下地調整共	200.0	m <sup>2</sup>			
[屋外階段]						
外壁劣化部調査		102.0	m <sup>2</sup>			

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
[階段外壁タイル面補修]						
一般部 ・ 注入口付アンカービニング部分ポキ樹脂注入工法(16本/㎡)		0.5	㎡			
狭幅部 ・ 注入口付アンカービニング部分ポキ樹脂注入工法(5本/m)		1.0	m			
欠損 ・ ひび割れ ・ 陶片浮き ・ 汚損張替工法 磁器質小口タイル張り		1.2	㎡			
タイル下コンクリート躯体面ひび割れ補修 Uカットシール材充填工法	幅1.0mm超	0.5	m			
タイル下コンクリート躯体面ひび割れ補修 自動式低圧ポキ樹脂注入工法	幅0.2mm以上～1.0mm以下	5.0	m			
[階段外壁コンクリート面補修]						
ひび割れ補修Uカットシール材充填工法	幅1.0mm超	0.5	m			
ひび割れ補修自動式低圧ポキ樹脂注入工法	幅0.2mm以上～1.0mm以下	16.1	m			
ひび割れ補修シール工法	幅0.2mm未満	0.5	m			
外壁タイル面水洗い工法15MPa程度(調整)		64.6	㎡			
外壁タイル面クリーニング 工業用塩酸使用		64.6	㎡			
カッター入れ	外壁タイル撤去部	13.3	m			
張替工法外壁タイル撤去	磁器質小口タイル 下地モルタル共	1.2	㎡			
壁コンクリート打放し吹付タイル面水洗い工法	15MPa程度ブラシ併用	18.3	㎡			
可とう形改修塗材RE	可とう形改修塗材RE(さざ波)+超低汚染二液型水性ふっ素樹脂塗料	18.3	㎡			
上裏コンクリート打放吹付タイル面水洗い工法	15MPa程度ブラシ併用	18.7	㎡			
可とう形改修塗材RE	可とう形改修塗材RE(さざ波)+超低汚染二液型水性ふっ素樹脂塗料	18.7	㎡			
蹴上・踏面・踊場床水洗い清掃		18.9	㎡			



	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
①-5	塗装・外装改修工事						
	[軒天 (ボード面)]						
	合成樹脂エマルジョンペイント	下塗材共	29.2	m <sup>2</sup>			
	[ポーチ天井]						
	岩綿吸音板 (リブ付) 面箒掛け清掃		125.0	m <sup>2</sup>			
	塩ビ堅樋 フッ素樹脂DP塗装	鋼構造物耐候性塗料 100φ 糸巾350	80.1	m			
	塩ビ堅樋 フッ素樹脂DP塗装	鋼構造物耐候性塗料 75φ 糸巾250	16.7	m			
	堅樋掴み金物 フッ素樹脂DP塗装	鋼構造物耐候性塗料 100φ幅15・長さ400程度	61.0	箇所			
	堅樋掴み金物 フッ素樹脂DP塗装	鋼構造物耐候性塗料 75φ幅15・長さ300程度	14.0	箇所			
	鋼製ドアフッ素樹脂DP塗装	鋼構造物耐候性塗料 下地調整RB種共	20.8	m <sup>2</sup>			
	[正面ポーチ床]						
	磁器質200角タイル 段鼻部分 (ノンスリップ付)	巾200	19.2	m			
	磁器質200角タイル 踏み面部分	巾200	9.6	m			
	磁器質200角タイル け込み部分	高さ200	19.2	m			
	カッター入れ		9.6	m			
	磁器質200角タイル撤去	階段部分 貼付けモルタル共	9.6	m <sup>2</sup>			
	[東側ポーチ床]						
	磁器質200角タイル 段鼻部分 (ノンスリップ付)	巾200	9.0	m			
	磁器質200角タイル 踏み面部分	巾100	4.5	m			

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	磁器質200角タイル け込み部分	高さ200	9.4	m			
	カッター入れ		4.0	m			
	磁器質200角タイル撤去	階段部分 貼付けモルタル共	4.1	m <sup>2</sup>			
	東側ポーチ床磁器質タイル面クリーニング	15MPa程度ブラシ併用	8.3	m <sup>2</sup>			
	小計						
	改め計						

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
①-6	発生材積込み・運搬費・処分費						
	発生材積込み	廃プラスチック	0.6	m <sup>3</sup>			
	発生材積込み	ガラス・陶磁器類	1.2	m <sup>3</sup>			
	発生材積込み	アルミ	3.6	kg			
	発生材運搬費	廃プラスチック	0.6	m <sup>3</sup>			
	発生材運搬費	ガラス・陶磁器類	1.2	m <sup>3</sup>			
	発生材運搬費	アルミ	3.6	kg			
	発生材処分	廃プラスチック	0.6	m <sup>3</sup>			
	発生材処分	ガラス・陶磁器類	1.2	m <sup>3</sup>			
	発生材処分	アルミ	3.6	kg			
	小計						
	改め計						

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
②	ポンプ室・ボンベ庫						
②-1	直接仮設工事		1	式			
②-2	防水改修工事		1	式			
②-3	外壁改修工事		1	式			
②-4	塗装改修工事		1	式			
	合 計						



名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
②-2	防水改修工事					
	[建具シーリング関係]					
	シーリング打替え (撤去)	18.5	m			
	シーリング打替え (新設) MS-2 15×10	18.5	m			
	小計					
	改め計					

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
②-3 外壁改修工事						
外壁劣化部調査	打放し吹付タイル面	37.1	m <sup>2</sup>			
[外壁コンクリート面補修]						
ひび割れ補修 Uカットシーリング材充填工法	幅1.0mm超	0.5	m			
ひび割れ補修自動式低圧球 <sup>®</sup> 樹脂 脂注入工法	幅0.2mm以上～1.0mm以下	1.4	m			
ひび割れ補修シーリング工法	幅0.2mm以下	0.5	m			
コンクリート打放吹付タイル面 水洗い工法	15MPa程度ブラシ併用	37.1	m <sup>2</sup>			
可とう形改修塗材RE	可とう形改修塗材RE(さざ波)+超低汚染二 液型水性ふっ素樹脂塗料	37.1	m <sup>2</sup>			
小計						
改め計						



名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
Ⅱ	共通仮設費						
	仮囲い 波形鉄板塀H1800	H1800	55.3	m			
	キャスターゲート	W3000 H1800	2.0	箇所			
	交通整理員		16.0	人			
	仮設資材等荷揚げ・取り卸し	ラフタークレーン 20t	3.0	日			
	小計						
	改め計						

# 兼山地区センター外部改修工事

図 面 目 録					
番号	図 面 名 称	縮 尺	番号	図 面 名 称	縮 尺
01	建築工事特記仕様書（1）	—	13	立面図（2）	1/200
02	建築工事特記仕様書（2）	—	14	矩計図（1）	1/50
03	建築工事特記仕様書（3）	—	15	矩計図（2）	1/50
04	建築工事特記仕様書（4）	—	16	天井伏図・正面ポーチ部分断面図	1/200・100
05	位置図・配置図	1/400	17	屋外階段詳細図	1/50
06	改修フローチャート・改修リスト	—	18	建具キープラン・詳細図	1/300・1/20
07	改修フロー図-1	—	19	外部建具表（1）	1/100
08	改修フロー図-2	—	20	外部建具表（2）	1/100
09	1階平面図	1/200	21	ポンプ室・ポンペ庫 平面図・断面図・立面図	1/100・1/50
10	2階平面図・屋根伏図（1）	1/200	22	仮設計画図	1/400
11	屋根伏図（2）	1/200	23	劣化調査図（1）	1/200
12	立面図（1）	1/150	24	劣化調査図（2）	1/200

株式会社 三宅設計

II 建築改修工事仕様		章 項目	特記事項	章 項目	特記事項	章 項目	特記事項																																																																																														
<p><b>工事概要</b></p> <p>工事名称 兼山地区センター外部改修工事</p> <p>主要用途 集会施設</p> <p>工事種別 改修</p> <p>敷地 地名地番 岐阜県可児市兼山地区 敷地面積 6740.74㎡</p> <p>都市計画法等 都市計画区域 ○ 都市計画区域内(・市街化区域・市街化調整区域・その他) ・都市計画区域外</p> <p>用途地域 ○ (無指定)</p> <p>防火地域 ・防火地域 ・準防火地域 ○指定なし</p> <p>その他の指定 ・2.2条指定区域内 ・2.2条指定区域外(・)</p> <p>建築基準法 道 路 ・国 道 ・県 道 ・市 道 ・町 道 ・村 道 幅員 m (2以上の道路に接する場合には、広い方の道路幅員を記入)</p> <p>指定の建ぺい率 60% 指定の容積率 200%</p> <p>工事物の概要</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>本館棟</th> <th>付属棟</th> </tr> <tr> <td>構造</td> <td>鉄筋コンクリート造</td> <td>鉄筋コンクリート造</td> </tr> <tr> <td>階数</td> <td>2階建て</td> <td>平屋建て</td> </tr> <tr> <td>延べ床面積</td> <td>1,533.03㎡</td> <td>10.00㎡</td> </tr> <tr> <td>建築面積</td> <td>1,212.84㎡</td> <td>10.00㎡</td> </tr> <tr> <td>建設年度</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>工事の範囲 ○建築主体工事 一式 ・外構工事 ・舗装一式 ・電気設備工事一式 ・消防活動空地一式 ・植栽一式 ・駐車場一式 ・機械設備工事一式</p> <p>別途工事 ・電気設備工事一式 ・機械設備工事一式 ・昇降機設備工事一式 ・電話工事一式 ・解体工事一式 ・搬送設備工事一式</p> <p>1. 共通仕様 (1) 図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版【令和4年3月改定】)」(以下「改修標準仕様書」という。)による。 なお、改修標準仕様書に記載されていない事項は、国土交通大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版【令和4年3月改定】)(以下「標準仕様書」という。)による。 (2) 電気設備改修工事及び機械設備改修工事を本工事に含む場合は、電気設備改修工事及び機械設備改修工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。 (3) 受注者は建築基準法第7条の定めによる完了検査(同法第7条の3の定めによる中間検査を含む)時には、特定行政庁(建築主事等)が求める検査に必要な資料(報告書等)を用意すること。 2. 本特記仕様書の表記 (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。 (3) 特記事項に記載の(・)内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 特記事項に記載の[・]内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (4) 受注者は、南海トラフ地震防災対策強化地域における工事にあつては、南海トラフ地震に関する情報(臨時)が気象庁から出された場合には、工事中断の措置をとるものとし、これに伴う必要な補強・落下防止等の保全処置を講じなければならない。 上記事項が発生した場合は、契約書第2.6条(臨時的措置)の規定による。 (5) 標準仕様書で「特記がなければ、」以降に具体的な材料・品質性能・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令の改正等により(条例等を含む)に抵触する場合には、関係法令等の遵守(1.1.13)の規定を優先する。</p>		本館棟	付属棟	構造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	階数	2階建て	平屋建て	延べ床面積	1,533.03㎡	10.00㎡	建築面積	1,212.84㎡	10.00㎡	建設年度			<p>1 共通事項</p> <p>① 施工条件 (1.3.5) ○適用する ( ) ○施工時間 (※協議による ・指定なし ・指定あり ) ○施工順序 ( ・指定なし ・図示 ○協議による ) ○工事用車両の駐車場 ( ・指定なし ・図示 ○敷地内 ) ○資機材置場 ( ・指定なし ・図示 ○敷地内 ) ・現場事務所 ( ・指定なし ・敷地内 ) ・建設発生土仮置場 ( ・指定なし ・図示 ・敷地内 )</p> <p>② 発生材の処理等 (1.3.12) ※引渡しを要するもの( ・金属類 ※PCB含有物 ) ・特別管理産業廃棄物(※腐石綿 ) ・現場において再利用を図るもの( ) ・再生資材の活用を図るもの( ) ・アスベスト成形板としての処理を要するもの ※改修標準仕様書の9章 環境配慮改修工事による ・PCB含有シーリング材の分析調査 ・第一次判定 現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及び分析の要否の判定を行う 採取箇所数(計 箇所) 採取場所 (※図示 ) ・第二次判定 専門分析機関にてPCB含有量の分析を行う 分析個数(計 個) ・除去処理工事 撤去工法 「標準施工要領書(日本シーリング工業共同組合連合会/日本シーリング材工業会)」による 除去範囲 (※図示 ) ※再生資源利用促進計画書及び再生資源利用計画書の提出 建設リサイクル法の実施に係る岐阜県指針に基づき、工事着手時に再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を監督員に提出するものとする。 なお、計画書及び報告書は「建設副産物情報交換システム」(COBRIS)により作成したものである。</p> <p>9 埋戻し及び盛土 種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 ④ [3.2.3][表3.2.1]</p> <p>10 砂利地業 ※再生クラッシュラン ④ ・切込砂利又は切込砕石 [4.6.2]</p> <p>① 環境への配慮 化学物質を放散させる建築材料等 (1.4.1) 1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図面に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次のi)からiv)を満たすものとする。 i) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集材材、単板積層材、MDF パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びステレンを放散しない又は放散が極めて少ない材料で、設計図面に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ii) 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 iii) 接着剤は、可塑性(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含む)難揮発性の可塑性を除く)が添加されていない材料を使用する。 iv) i)の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びステレンを放散しないか、放散が極めて少ない材料を使用したものとする。 2) 設計図面に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次のi)又はii)に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次のiii)又はiv)に該当する材料を指す。 i) 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド放散建築材料以外の材料 ii) 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 iii) 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド放散建築材料 iv) 建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料</p> <p>② 材料の品質等 本工事に使用する材料等は、設計図面に定める品質及び性能を有するものとし、JIS又はJASマーク表示のない材料等は、次の1)から6)の事項を満たすものとする。(1.4.2) 1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 3) 安定的な供給が可能であること。 4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること。 なお、これらの材料等を使用する場合は、設計図面に定める品質及び性能を有することの証明となる資料、又は外部機関が発行する資料等の写しを監督員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基本方針の判断に基準に従い、あらかじめ、「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」(林野庁 平成18年2月15日)に準拠した証明書を監督員へ提出する。</p> <p>③ 特別な材料の工法 改修標準仕様書、標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。</p> <p>④ 施工調査 ※施工計画調査 (1.5.1~3) 本工事該部位及び関連部位について既存施設(埋設配管等を含む)について、施工計画作成のための事前調査、情報収集を行う。 報告書 監督員に2部提出 立面図、平面図等に記載、必要に応じ写真を添付 調査業者 外壁及び防水改修工事数量調査は、使用予定材料メーカーの指定する施工業者とする。</p>	<p>1 共通事項</p> <p>① 埋設配管の試掘 範囲、復旧方法 ※図示 ・</p> <p>① 施工数量調査(外壁改修) (1.5.2.3) 調査範囲 ※外壁改修範囲 ・図示 調査内容 ひび割れの幅及び長さを調査する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては、浮き部分、欠損部の形状寸法等を調査する。コンクリート表面のはがれ及びはく落部を調査する。塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を調査する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・図示 ・</p> <p>・既存塗膜の付着力試験 試験箇所及び箇所数については、監督員と協議の上決定する</p> <p>・施工数量調査(防水改修) (1.5.2.3) 調査範囲 ※防水改修範囲 ・図示 調査方法 ・図示 ・ 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・図示 ・</p> <p>② 技能士 ※適用する適用する技能士 (1.6.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>工事種目</th> <th>技能士検定職種</th> <th>技能検定作業</th> </tr> <tr> <td>仮設工事</td> <td>とび</td> <td>・とび作業</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工事</td> <td>鉄筋施工</td> <td>・鉄筋組立作業</td> </tr> <tr> <td>コンクリート工事</td> <td>型枠施工</td> <td>・型枠工事作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>コンクリート圧送施工</td> <td>・コンクリート圧送工事作業</td> </tr> <tr> <td>石工事</td> <td>石材施工</td> <td>・石張り作業</td> </tr> <tr> <td>木工事</td> <td>建築大工</td> <td>・大工工事作業</td> </tr> <tr> <td>金属工事</td> <td>内装仕上施工</td> <td>・鋼製下地工事作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>建築板金</td> <td>・内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>防水改修工事</td> <td>防水施工</td> <td>・777防水工事作業 ○カクカム系塗膜防水工事作業 ・777系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ○塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セプト系防水工事作業 ○シート防水工事作業 ・改質777防水シート工法防水 ・FRP防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>屋根及びとび改修工事</td> <td>建築板金</td> <td>・内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>外壁改修工事</td> <td>樹脂接着剤注入施工 左官 タイル張り サッシ施工 ガラス施工 自動ドア施工</td> <td>○樹脂接着剤注入工事作業 ○左官作業 ・タイル張り作業 ・ビル用サッシ作業 ・ガラス工事作業 ・自動ドア施工作業</td> </tr> <tr> <td>内装改修工事</td> <td>建築大工 内装仕上施工 建築板金 内装仕上施工</td> <td>・大工工事作業 ・鋼製下地工事作業 ・内外装板金作業 ・777系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ工事作業 ・ボード仕上げ工事作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>表装 左官</td> <td>・壁装作業 ・左官作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>タイル張り</td> <td>・タイル張り作業</td> </tr> <tr> <td>塗装改修工事</td> <td>塗装</td> <td>○建築塗装作業</td> </tr> <tr> <td>耐震改修工事</td> <td>型枠施工 鉄筋施工 コンクリート圧送施工</td> <td>・型枠工事作業 ・鉄筋組立作業 ・コンクリート圧送工事作業</td> </tr> <tr> <td>排水工事</td> <td>配管</td> <td>・建築配管作業</td> </tr> <tr> <td>舗装工事</td> <td>路面標示施工</td> <td>・溶融ハイドロマーク工事作業</td> </tr> <tr> <td>植栽工事</td> <td>造園</td> <td>・造園工事作業</td> </tr> </table> <p>16 技能資格者 (1.6.3) ・溶接技能者(一社)日本溶接協会が検定した技能資格を有する者) ・圧接技量資格者(JIS Z 3881(ガス圧接技術検定における試験方法及び判定基準)による技量を有する者)</p> <p>17 施工の検査等 (1.6.5.6) ・監督員の指示による</p> <p>18 施工の立会い (1.6.7) ・監督員の指示による</p> <p>19 化学物質の濃度測定 (1.6.9) 1) 着工前及び着工後に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレンの濃度を測定し、測定結果を監督員に報告する。 2) 測定対象室及び測定箇所数は次による。</p> <table border="1"> <tr> <th>測定対象室</th> <th>測定箇所数</th> <th>測定対象室</th> <th>測定箇所数</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>測定方法 ※パッシブ採取による蒸気拡散式分析法 ・厚生労働省の標準法 測定物質 ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、ステレン、エチルベンゼン 学校のみパラジクロロベンゼンを追加 換気 測定対象室のすべての窓及び扉(造り付け家具、押入れ等を含む。)を開放し30分換気する。 閉鎖 測定対象室のすべての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、造り付け家具、押入れ等の扉は、開放したままとする。 測定は、「閉鎖」の状態のまま行う。 測定時間は、原則として24時間とする。但し24時間測定が行えない場合は、8時間測定(10時30分~18時30分)とする。 測定位置は、室中央付近の床から1.2m~1.5mの高さとする。</p>	工事種目	技能士検定職種	技能検定作業	仮設工事	とび	・とび作業	鉄筋工事	鉄筋施工	・鉄筋組立作業	コンクリート工事	型枠施工	・型枠工事作業		コンクリート圧送施工	・コンクリート圧送工事作業	石工事	石材施工	・石張り作業	木工事	建築大工	・大工工事作業	金属工事	内装仕上施工	・鋼製下地工事作業		建築板金	・内外装板金作業	防水改修工事	防水施工	・777防水工事作業 ○カクカム系塗膜防水工事作業 ・777系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ○塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セプト系防水工事作業 ○シート防水工事作業 ・改質777防水シート工法防水 ・FRP防水工事作業	屋根及びとび改修工事	建築板金	・内外装板金作業	外壁改修工事	樹脂接着剤注入施工 左官 タイル張り サッシ施工 ガラス施工 自動ドア施工	○樹脂接着剤注入工事作業 ○左官作業 ・タイル張り作業 ・ビル用サッシ作業 ・ガラス工事作業 ・自動ドア施工作業	内装改修工事	建築大工 内装仕上施工 建築板金 内装仕上施工	・大工工事作業 ・鋼製下地工事作業 ・内外装板金作業 ・777系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ工事作業 ・ボード仕上げ工事作業		表装 左官	・壁装作業 ・左官作業		タイル張り	・タイル張り作業	塗装改修工事	塗装	○建築塗装作業	耐震改修工事	型枠施工 鉄筋施工 コンクリート圧送施工	・型枠工事作業 ・鉄筋組立作業 ・コンクリート圧送工事作業	排水工事	配管	・建築配管作業	舗装工事	路面標示施工	・溶融ハイドロマーク工事作業	植栽工事	造園	・造園工事作業	測定対象室	測定箇所数	測定対象室	測定箇所数																	<p>1 共通事項</p> <p>① 完成時の提出書類 (1.8.1~3)(表1.8.1) ○完成図(施工図、施工計画書を除く) ※新規に作成・既存完成図を修正 記載内容は監督職員と協議する。 ○保全に関する資料 提出 ※1部 ○施工図(◎監督員の指示による ) 提出 ※原図及びその複写図1部 ○施工計画書(◎監督員の指示による ) 提出 ※1部 本工事に係る施工図及び施工計画書の著作権者の権利は、当該建物における使用に限り、発注者に移譲するものとする。 製作図等が原因として提出が出来ないものは、原因に代わるものとしてよい。 設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。 「営繕工事電子納品要領」(平成17年4月改訂版)による。 ② 工事写真 国土交通大臣官房官庁営繕部監修の「営繕工事写真撮影要領(平成28年版)による工事写真撮影ガイドブック(平成30年版)」及び国土交通大臣官房官庁営繕部「デジタル工事写真の小黑板情報電子化について」による他、監督員の指示により撮影し提出する。 ③ 設計G L ※設計G L = BM + mm (現状地盤高は図示) ④ 建設機械 1) 本工事にあつては「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程」(平成9年7月31日建設省告示第1536号、最終改正平成13年4月9日国土交通省告示第487号)に基づき指定された建設機械を使用する。ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議の上、必要書類を提出するものとする。 2) 本工事にあつては「第3次排出ガス対策型建設機械指定要領(平成18年3月17日国総施第215号、最終改正平成23年7月13日国総環理1号)に基づき指定された建設機械を使用する。排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年建設技術評価制公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、又はあるいはこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着することで、排出ガス対策機械と同等とみなす。ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。 排出ガス対策建設機械、又は排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は、施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督員に提出するものとする。 25 設備工事との取り合い 本工事の施工範囲 ※図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強 ※図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強 ※自動閉鎖装置取付け箇所切込み及び補強 ※駆動装置が電動による建具等の2次側の配管・配線及び操作スイッチ 施工図 ※設備機器の位置、取合いなどの検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。 ⑤ 事故報告 工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督職員に通知するとともに、事故発生報告書を監督職員に速やかに提出すること。 ⑥ 養生その他 工事施工に際し、在来部分を汚損した場合又は損傷した場合は、構造・仕上げ共、在来ならぬ補修する。 ※粉じん対策 粉じんが発生する場合には、集塵機を設置すること。 工事車両の洗車及び道路の清掃をすること。 搬出時等は、周辺道路への土砂等飛散防止に努めること。 工事車両の出入口及び出隅部分に透明板付の仮囲い又は赤色灯を設置すること。 ・騒音対策 隣地境界地点において騒音振動測定器を設置し、測定管理すること。 ・夜間照明 仮囲い上部に仮設夜間照明を設置すること。</p> <p>② 完成写真 撮影箇所数 ※ ( ) 箇所 ・航空写真 ( ) 箇所 ◎監督員の指示による 本完成写真の著作権者の権利は、発注者に委譲するものとする。 提出内容 ※電子データ 1部 画素：長辺で2880PIX以上 記録方式：RGB(フルカラー) ・JPEG最高画質 記録媒体：CD-R(ISO) ・カラージット キャピネ版( )部 アルバム(黒表紙金文字300mm×300mm程度) ※無し ・有り ・四つ切 ( )枚 ※アルミ額縁 ・印刷用紙、A4縦 ・半切 ( )枚 ※アルミ額縁 ・撮影内容：監督員の指示による ・全紙 ( )枚 ※アルミ額縁 ・提出部数：監督員の指示による</p> <p>29 建設発生土の処理 [3.2.5] 「建設発生土情報交換システム」(一財)日本建設情報総合センター(JACIC)を活用し近隣の受入先を調査の上、搬出距離、受入条件等が確認できる資料を監督職員に提出し、協議により搬出先を決定する。搬出後、監督職員へ搬出先の受入を確認できる資料を提出する。 ・場外指定場所に搬出する。 ※搬出後、監督職員へ搬出先の受入を確認できる資料を提出する。 ・場内指定場所に敷き均し( ) ・場内指定場所に堆積( ) ・岐阜県建設発生土管理基準により土壌検査を行う。</p> <p>⑤ 書類の書式等 本工事の施工に関して提出する書類は、発注者が受注者に提示する「営繕工事の請負に係る書類」様式に基づき作成する。</p> <p>31 概成工期 総合試運転を行う上で、関連工事を含めた各工事が工期のおおむね10日前までに支障のない状況まで完了していること。</p>
		本館棟	付属棟																																																																																																		
	構造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造																																																																																																		
	階数	2階建て	平屋建て																																																																																																		
	延べ床面積	1,533.03㎡	10.00㎡																																																																																																		
	建築面積	1,212.84㎡	10.00㎡																																																																																																		
	建設年度																																																																																																				
	工事種目	技能士検定職種	技能検定作業																																																																																																		
	仮設工事	とび	・とび作業																																																																																																		
	鉄筋工事	鉄筋施工	・鉄筋組立作業																																																																																																		
	コンクリート工事	型枠施工	・型枠工事作業																																																																																																		
	コンクリート圧送施工	・コンクリート圧送工事作業																																																																																																			
石工事	石材施工	・石張り作業																																																																																																			
木工事	建築大工	・大工工事作業																																																																																																			
金属工事	内装仕上施工	・鋼製下地工事作業																																																																																																			
	建築板金	・内外装板金作業																																																																																																			
防水改修工事	防水施工	・777防水工事作業 ○カクカム系塗膜防水工事作業 ・777系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ○塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セプト系防水工事作業 ○シート防水工事作業 ・改質777防水シート工法防水 ・FRP防水工事作業																																																																																																			
屋根及びとび改修工事	建築板金	・内外装板金作業																																																																																																			
外壁改修工事	樹脂接着剤注入施工 左官 タイル張り サッシ施工 ガラス施工 自動ドア施工	○樹脂接着剤注入工事作業 ○左官作業 ・タイル張り作業 ・ビル用サッシ作業 ・ガラス工事作業 ・自動ドア施工作業																																																																																																			
内装改修工事	建築大工 内装仕上施工 建築板金 内装仕上施工	・大工工事作業 ・鋼製下地工事作業 ・内外装板金作業 ・777系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ工事作業 ・ボード仕上げ工事作業																																																																																																			
	表装 左官	・壁装作業 ・左官作業																																																																																																			
	タイル張り	・タイル張り作業																																																																																																			
塗装改修工事	塗装	○建築塗装作業																																																																																																			
耐震改修工事	型枠施工 鉄筋施工 コンクリート圧送施工	・型枠工事作業 ・鉄筋組立作業 ・コンクリート圧送工事作業																																																																																																			
排水工事	配管	・建築配管作業																																																																																																			
舗装工事	路面標示施工	・溶融ハイドロマーク工事作業																																																																																																			
植栽工事	造園	・造園工事作業																																																																																																			
測定対象室	測定箇所数	測定対象室	測定箇所数																																																																																																		
備考																																																																																																					

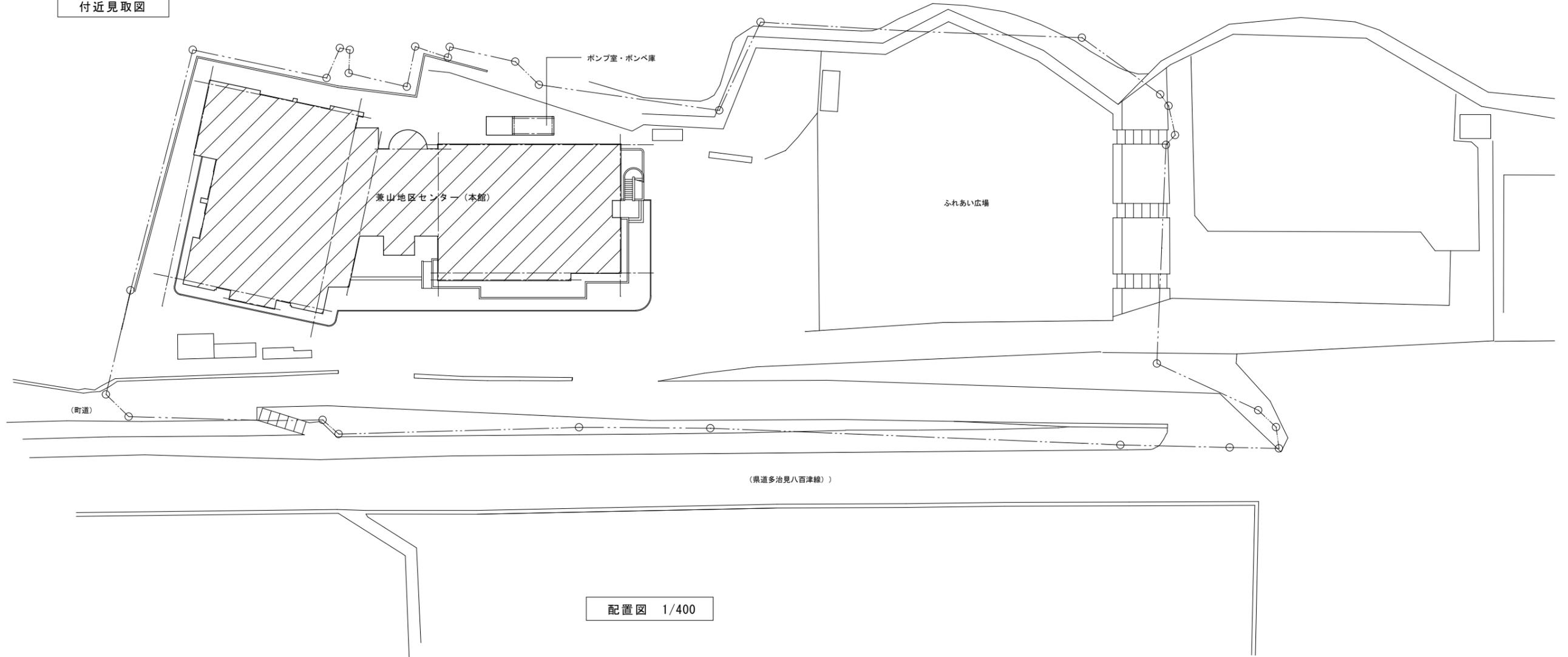
章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項												
1 共通事項	32 下請施工業務	本工事において、下請契約を締結する場合には、当該契約の相手方を岐阜県内に本店（建設業法（昭和24年法律第100号）に規定する主たる営業所含む。）を有する者の中から選定するよう努めること。	2 仮設工事	2) 仮設間仕切りの種別と材質等	3 防水改修工事	5 改質7mm以下シート防水	3 防水改修工事	5 防水改修工事	3 防水改修工事	3 防水改修工事	3 防水改修工事	3 防水改修工事											
	33 産業廃棄物の適正処理	産業廃棄物が搬出される工事にあたっては、監督員の指示に従い、産業廃棄物の関連書類の提出及び確認並びに処理施設の現地確認並びに建設廃棄物処理状況の管理を行い、産業廃棄物の最終処分に至るまで適正に処理されていることを確認すること。		種別									仕上げ(厚さmm)	塗装	充填	屋根露出防水絶縁断熱工法の場合、ルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示	保護層	表3.1.1)表3.5.1~2)					
	34 下請業者等	下請業者の選定に当たっては岐阜県入札参加資格停止の処置がなされていないこと。		種別									・A種	・せっこうボード(9.5mm)	・片面	グラスウール厚さ( )mm	高日射反射率防水の適用	備考	屋内防水	床塗りの場合の床の目地	目地割り(※2m程度 最大目地間隔3m程度)	目地の種類(※押し目地)	
	35 暴力団の排除措置	妨害又は不当要求に対する通報義務 1) 受注者は、契約の履行に当たって暴力団関係者等から事実関係及び社会通念等に照らして合理的な理由が認められない不当若しくは違法な要求又は契約の適正な履行を妨げる妨害を受けたときは、警察へ通報をしなければならない。なお、通報がない場合は入札参加資格を停止することができる。 2) 受注者は、暴力団等による不当介入を受けたことにより、履行期間内に業務を完了することができないときは、発注者に履行期間の延長変更を請求することができる。		種別									・B種	・支柱・木材・軽量鉄骨材	・なし		高日射反射率防水の適用	備考	屋内防水	絶縁用シートの材質 ※発泡ポリエチレンシート	固定金具の材質及び寸法形状	※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの片面若しくは両面に樹脂を積層加工した鋼板	
	36 ワンデーレスポンス	1) 本工事はワンデーレスポンス実施対象工事とする。「ワンデーレスポンス」とは、受注者からの質問、協議への回答を、原則「その日のうち」に回答する仕組みである。 2) 受注者は、工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は適宜監督員に報告する。		種別									・C種	・支柱・木材・軽量鉄骨材	・なし		高日射反射率防水の適用	備考	屋内防水	脱気装置の種類及び設置数量	種類 ※ルーフィングシートの製造所の仕様	設置数量 ※ルーフィングシートの製造所の仕様	個
	37 軽微な変更等	現場の納まり、取り合い等の関係による協議の中で、形状寸法の軽微な変更は、監督員の指示による。なお、この場合請負金額の変更は行わない。		種別									・C種	・支柱・木材・軽量鉄骨材	・なし		高日射反射率防水の適用	備考	屋内防水	接着工法の目地処理	フレキャストコンクリート下地( )	行う(図示)	行わない
	38 事故防止策	安全施設の使用・設置 安全施設の使用・設置は関係法令等を順守するほか次のとおり講じなければならない。 1) 原則、昇降用梯子で作業しないこと。ただし、やむを得ず作業する場合、本作業用、補助用の2丁掛としなければならない。 2) 墜落制止用器具は一連の作業において親綱の架け替え等が生じる場合、本作業用、補助用の2丁掛としなければならない。 定期安全訓練・研修等 受注者は、工事着手後、作業員全員の参加により月当たり、半日以上時間を割当て、次の各号から実施する内容を選択し、定期的に安全に関する研修・訓練等を実施しなければならない。 1) 安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育 2) 当該工事内容等の周知徹底 3) 工事安全に関する法令、通達、指針等の周知徹底 4) 当該工事における災害対策訓練 5) その他、安全・訓練等として必要な事項 https://www.pref.gifu.lg.jp/shakai-kiban/kendo/gijutsu-kanri/11656/jikojireishuu.html		種別									・C種	・支柱・木材・軽量鉄骨材	・なし		高日射反射率防水の適用	備考	屋内防水	入隅部の増張り	フレキャストコンクリート部材(種別S-F1、S1-F1の場合)	行う(図示)	行わない
	39 工事着手前協議	受注者は工事請負契約後直ちに設計図書を照査し、受注者及び発注者側が現場状況を確認の上、設計と現場との整合性及び問題点を整理した後に、工事着手協議を発注者側の発議により開催するものとする。なお、立会者は発注者側が指定する。		種別									・C種	・支柱・木材・軽量鉄骨材	・なし		高日射反射率防水の適用	備考	屋内防水	機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの覆付け	建築基準法に基づき定まる風圧力の(1)・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法		
	40 県産材の利用	「公共施設県産材利用推進方針」(岐阜県)に基づいて県産材利用促進に取り組む。		種別									・C種	・支柱・木材・軽量鉄骨材	・なし		高日射反射率防水の適用	備考	屋内防水	ウレタンゴム系塗膜防水X-1(絶縁工法)の脱気装置の種類及び設置数量	種類 ※主材料の製造所の仕様	設置数量 ※主材料の製造所の仕様	個
	41 用語の読み替え	「日本工業規格」を「日本産業規格」に読み替える。 「改正工業標準化法(平成16年6月9日公布 法律第95号)」、「工業標準化法の一部を改正する法律(平成16年6月9日公布 法律95号)」、「改正工業標準化法(平成16年6月)をそれぞれ「産業標準化法」に読み替える。 適用日を令和元年7月1日とする。		種別									・C種	・支柱・木材・軽量鉄骨材	・なし		高日射反射率防水の適用	備考	屋内防水	高日射反射率防水を示し、近赤外線における反射率が50.0%以上であること。日射反射率の求め方はJIS K 5602Iに準じる。図			
42 その他	ディーゼルエンジン車両の適正燃料の使用について 1) ディーゼルエンジンを動力とする車両には、JIS規格の軽油を使用すること。 2) ディーゼルエンジンを動力とする車両の燃料検査があった場合には協力すること。	種別	・C種	・支柱・木材・軽量鉄骨材	・なし		高日射反射率防水の適用	備考	屋内防水	高日射反射率防水を示し、近赤外線における反射率が50.0%以上であること。日射反射率の求め方はJIS K 5602Iに準じる。図													
2 仮設工事	1 騒音・粉じん等対策	・防音パネル ・防音シート 防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲 ・足場全面 ・粉じん飛散防止対策( )	3 防水改修工事	①一般事項	5 改質7mm以下シート防水	3 防水改修工事	3 防水改修工事	3 防水改修工事	3 防水改修工事	3 防水改修工事	3 防水改修工事	3 防水改修工事											
	2 足場等	「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同おける2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 外部足場 ○設置する(設置範囲 ○工事に必要な範囲) ・設置しない 防護シート ○設置する(設置範囲 ○工事に必要な範囲) ・設置しない 内部足場 ○設置する(※脚立、足場板等) ・設置しない		防水工事は、専門業者の責任施工とする。 受注者は、防水材料製作所及び防水施工者と連名で年限保証する。 なお、防水の保証年限は、10年とする。									屋根露出防水 防水層の種類	表3.1.1)表3.3.1~6)	高日射反射率防水の適用	備考	屋内防水	高日射反射率防水を示し、近赤外線における反射率が50.0%以上であること。日射反射率の求め方はJIS K 5602Iに準じる。図					
	3 既存部分の養生	既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う(・M4AS・M4AS1・M4C・M4DI・L4X)									種別	・A種	・せっこうボード(9.5mm)	・片面	グラスウール厚さ( )mm	高日射反射率防水の適用	備考	屋内防水	高日射反射率防水を示し、近赤外線における反射率が50.0%以上であること。日射反射率の求め方はJIS K 5602Iに準じる。図		
	4 仮設間仕切	1) 仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ・図示		既存下地の処理 既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ※図示									種別	・B種	・支柱・木材・軽量鉄骨材	・なし		高日射反射率防水の適用	備考	屋内防水	高日射反射率防水を示し、近赤外線における反射率が50.0%以上であること。日射反射率の求め方はJIS K 5602Iに準じる。図		
				4 アスファルト防水									屋根保護防水 防水層の種類	表3.1.1)表3.3.2~5)	高日射反射率防水の適用	備考	屋内防水	高日射反射率防水を示し、近赤外線における反射率が50.0%以上であること。日射反射率の求め方はJIS K 5602Iに準じる。図					
													種別	・A種	・せっこうボード(9.5mm)	・片面	グラスウール厚さ( )mm	高日射反射率防水の適用	備考	屋内防水	高日射反射率防水を示し、近赤外線における反射率が50.0%以上であること。日射反射率の求め方はJIS K 5602Iに準じる。図		
													種別	・B種	・支柱・木材・軽量鉄骨材	・なし		高日射反射率防水の適用	備考	屋内防水	高日射反射率防水を示し、近赤外線における反射率が50.0%以上であること。日射反射率の求め方はJIS K 5602Iに準じる。図		
													種別	・C種	・支柱・木材・軽量鉄骨材	・なし		高日射反射率防水の適用	備考	屋内防水	高日射反射率防水を示し、近赤外線における反射率が50.0%以上であること。日射反射率の求め方はJIS K 5602Iに準じる。図		
													種別	・C種	・支柱・木材・軽量鉄骨材	・なし		高日射反射率防水の適用	備考	屋内防水	高日射反射率防水を示し、近赤外線における反射率が50.0%以上であること。日射反射率の求め方はJIS K 5602Iに準じる。図		
													種別	・C種	・支柱・木材・軽量鉄骨材	・なし		高日射反射率防水の適用	備考	屋内防水	高日射反射率防水を示し、近赤外線における反射率が50.0%以上であること。日射反射率の求め方はJIS K 5602Iに準じる。図		
備考																							

<p>3 防水改修工事</p> <p>10 アルミニウム製笠木 (表3.9.1)(3.9.2、3)</p> <p>種類 ・オープン形式( ・押出250形 ・押出300形 ・押出350形 ) ・板材折曲げ形( ・オープン形式 ・シール形式 )</p> <p>本体幅 ( ) mm 板厚 ( ※2.0mm ・ mm )</p> <p>表面処理 種別 ・AB-1種 ※BB-1種 ・BB-2種 着色 ・ステンカラー ・ブロンズ ・ブラック系 ・</p> <p>既存笠木等の撤去 ・行う(範囲) ・図示 ・ ・行わない )</p> <p>下地補修の工法 ※図示 ・ 板材折曲げ形の笠木の取付方法 ※図示 ・ 笠木の固定金具の工法等 建築基準法に基づき定まる風圧力の( ・1 ・1.15 ・1.3 ) 倍の風圧力に対応した工法</p>	<p>11 長尺金属板葺</p> <p>[13.2.2、3][表13.2.1~3]</p> <table border="1" data-bbox="281 388 756 483"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>板及びコイルの種類</th> <th>塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>屋根葺形式</th> </tr> <tr> <td>※JIS G 3322の屋根用コイル</td> <td>・心木なし瓦葺葺</td> <td>・立平葺</td> <td>・蟻掛葺</td> <td>・横葺</td> </tr> </table> <p>下葺材料 ・アスファルトルーフィング 940 ・改質アスファルトルーフィング下葺材 ・一般タイプ ・複層材タイプ ・粘着層付タイプ )</p> <p>工法 建築基準法に基づき定まる( ・1 ・1.15 ・1.3 ) の風圧力に対応した工法 雪止め ・設置する(施工箇所) ・図示 ・</p>	施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ(mm)	屋根葺形式	※JIS G 3322の屋根用コイル	・心木なし瓦葺葺	・立平葺	・蟻掛葺	・横葺	<p>4-2 ①ひび割れ部改修工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.4.2)(4.4.5)</p> <table border="1" data-bbox="964 136 1454 273"> <tr> <th>種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(ml/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~1.0以下</td> <td>200~300</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上~0.5未満</td> <td>100~200</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.5以上~1.0未満</td> <td>150~250</td> <td>130</td> </tr> </table> <p>エポキシ樹脂 ※低粘度形(0.5mm未満) ※中粘度形(0.5mm以上) 注入状況の確認方法 ※目視により充填状況を確認する</p> <p>②欠損部改修工法 (4.4.6)</p> <p>③浮き部改修工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.4.3)(4.4.8)</p> <p>④ひび割れ部改修工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.5.2)(4.5.5)</p> <table border="1" data-bbox="964 1333 1454 1470"> <tr> <th>種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(ml/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~1.0以下</td> <td>200~300</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上~0.5未満</td> <td>100~200</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.5以上~1.0未満</td> <td>150~250</td> <td>130</td> </tr> </table> <p>エポキシ樹脂 ※低粘度形(0.5mm未満) ※中粘度形(0.5mm以上) 注入状況の確認方法 ※目視により充填状況を確認する</p> <p>⑤欠損部改修工法 (4.5.6)</p> <p>⑥浮き部改修工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.4.4)(4.4.10~15)</p> <table border="1" data-bbox="964 1501 1454 1617"> <tr> <th rowspan="2">工法の種類</th> <th colspan="2">アンカーピンの本数(本/m<sup>2</sup>)</th> <th colspan="2">注入口の箇所数(箇所/m<sup>2</sup>)</th> <th rowspan="2">注入量(ml/箇所)</th> </tr> <tr> <th>一般部</th> <th>指定部</th> <th>一般部</th> <th>指定部</th> </tr> <tr> <td>①アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※16</td> <td>※25</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>※注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※16</td> <td>※16</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>・充填工法</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・モルタル塗替え工法</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table> <p>アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの 注入口付アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径6mm程度</p> <p>⑦浮き部改修工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.4.4)(4.4.10~15)</p> <table border="1" data-bbox="964 1669 1454 1785"> <tr> <th rowspan="2">工法の種類</th> <th colspan="2">アンカーピンの本数(本/m<sup>2</sup>)</th> <th colspan="2">注入口の箇所数(箇所/m<sup>2</sup>)</th> <th rowspan="2">注入量(ml/箇所)</th> </tr> <tr> <th>一般部</th> <th>指定部</th> <th>一般部</th> <th>指定部</th> </tr> <tr> <td>①アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※16</td> <td>※25</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>※注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※16</td> <td>※16</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>・充填工法</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・モルタル塗替え工法</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table> <p>アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの 注入口付アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径6mm程度</p> <p>⑧欠損部改修工法 (4.4.8)</p> <p>⑨浮き部改修工法 (4.4.9)(表4.4.1、2)</p> <p>モルタル塗替え工法 ・現場調合材料 ・既調合材料 仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示</p>	種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	120	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	40	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	100~200	70	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	150~250	130	種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	120	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	40	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	100~200	70	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	150~250	130	工法の種類	アンカーピンの本数(本/m <sup>2</sup> )		注入口の箇所数(箇所/m <sup>2</sup> )		注入量(ml/箇所)	一般部	指定部	一般部	指定部	①アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	-	-	※25	・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25	・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50	※注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※16	-	-	※25	・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25	・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50	・充填工法	-	-	-	-	-	・モルタル塗替え工法	-	-	-	-	-	工法の種類	アンカーピンの本数(本/m <sup>2</sup> )		注入口の箇所数(箇所/m <sup>2</sup> )		注入量(ml/箇所)	一般部	指定部	一般部	指定部	①アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	-	-	※25	・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25	・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50	※注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※16	-	-	※25	・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25	・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50	・充填工法	-	-	-	-	-	・モルタル塗替え工法	-	-	-	-	-	<p>4-3 ①目地改修工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.5.16)</p> <p>②タイルの形状、寸法等 (4.1.4)(4.2.2)(表4.2.3)</p> <p>③目地改修工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.5.16)</p> <p>④目地改修工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.5.16)</p> <p>⑤タイルの形状、寸法等 (4.1.4)(4.2.2)(表4.2.3)</p> <table border="1" data-bbox="1647 1585 2151 1711"> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">形状寸法(mm)</th> <th rowspan="2">再生材の適用</th> <th colspan="4">吸水率による区分</th> <th rowspan="2">役物</th> <th rowspan="2">色</th> <th rowspan="2">耐凍害性</th> <th rowspan="2">耐滑り性</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>I</th> <th>II</th> <th>III</th> <th>IV</th> </tr> <tr> <td>外壁</td> <td>108×60</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>屋外階段壁</td> <td>100×50</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・行う ・行わない 見本焼き ・行う ・行わない</p>	施工箇所	形状寸法(mm)	再生材の適用	吸水率による区分				役物	色	耐凍害性	耐滑り性	備考	I	II	III	IV	外壁	108×60	○	○	○	○	○	○	○	○	○	屋外階段壁	100×50	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<p>4-4 ①既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整 (表4.6.2~5)</p> <table border="1" data-bbox="2329 136 2849 283"> <tr> <th>工法</th> <th>処理範囲</th> <th>下地の補修</th> </tr> <tr> <td>・サンダー工法</td> <td>※既存仕上げ面全体 ・図示</td> <td>※ひび割れ部改修工法</td> </tr> <tr> <td>・高圧水洗工法(30MPa程度以上)</td> <td>※既存仕上げ面全体 ・図示</td> <td>※浮き部改修工法</td> </tr> <tr> <td>・塗膜はく離剤工法</td> <td>※既存仕上げ面全体 ・図示</td> <td>※欠損部改修工法</td> </tr> <tr> <td>②水洗工法(15MPa程度)(デッキブラシ併用)</td> <td>※サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離剤工法の処理範囲以外の既存仕上げ面全体 ・図示</td> <td></td> </tr> </table> <p>②既存仕上塗材(アスベスト含有)の除去 (表4.6.3、4)</p> <p>③下地調整塗材 (表4.6.3、4)</p> <p>④仕上塗材仕上げ (表4.6.3、4)</p> <p>⑤既存仕上塗材(アスベスト含有)が確認されたものは、9.環境配慮改修工事の(9.1.3)アスベスト含有吹付け材の除去に従って除去を行う。</p> <p>⑥既存建物のアスベスト事前調査を実施すること。 過去資料調査結果を含め、今回工事の範囲内で含有の恐れがある場合は、監督員と協議すること。</p> <p>※下地調整塗材 ・ポリマーセメントモルタル</p> <p>建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 (4.1.5)(4.2.2)(4.6.5) ※規制対象外</p> <p>新規仕上塗材の種類 (表4.2.4~6)</p> <table border="1" data-bbox="2329 535 2849 1060"> <tr> <th>種類</th> <th>呼び名</th> <th>防火材料</th> <th>仕上げの形状及び工法等</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">・薄付け仕上塗材</td> <td>・外装薄塗材 S i</td> <td>・</td> <td>・砂壁状 ・さざ波状 ・平たん状</td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材 S i</td> <td>・</td> <td>・ゆず肌状 ( ・吹付け ・ローラー塗り )</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材 E</td> <td>・</td> <td>・凹凸状 ( ・吹付け ・こて塗り )</td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材 E</td> <td>・</td> <td>・着色骨材砂壁状 ( ・吹付け ・こて塗り )</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・厚付け仕上塗材</td> <td>・外装厚塗材 C</td> <td>・</td> <td>・吹放し ・凸部処理 ・平たん状</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材 S i</td> <td>・</td> <td>・凹凸状 ・ひき起こし ・掻き落とし</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">・複層仕上塗材</td> <td>・複層塗材 C E</td> <td>・</td> <td>・上塗材 ・適用する ・適用しない</td> </tr> <tr> <td>・可とう形複層塗材 C E</td> <td>・</td> <td>・吹放し ・凸部処理 ・凹凸状</td> </tr> <tr> <td>・複層塗材 S i</td> <td>・</td> <td>・耐水性 ※耐熱形3種</td> </tr> <tr> <td>・複層塗材 E</td> <td>・</td> <td>・上塗材</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">・可とう形改修用仕上塗材</td> <td>・防水形複層塗材 C E</td> <td>・</td> <td>・溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材 E</td> <td>・</td> <td>・樹脂 ※アクリル系</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材 R E</td> <td>・</td> <td>・外観 ※つやあり ・つやなし</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材 R S</td> <td>・</td> <td>・メタリック</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・可とう形改修用仕上塗材</td> <td>・可とう形改修塗材 E</td> <td>・</td> <td>・平たん状 ( ・さざ波状 ・ゆず肌状 )</td> </tr> <tr> <td>・可とう形改修塗材 R E</td> <td>・</td> <td>・耐水性 ※耐熱形3種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・可とう形改修用仕上塗材</td> <td>・可とう形改修塗材 C E</td> <td>・</td> <td>・耐水性 ※耐熱形3種</td> </tr> <tr> <td>・可とう形改修塗材 R E</td> <td>・</td> <td>・溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・可とう形改修用仕上塗材</td> <td>・可とう形改修塗材 C E</td> <td>・</td> <td>・耐水性 ※耐熱形3種</td> </tr> <tr> <td>・可とう形改修塗材 R E</td> <td>・</td> <td>・溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・可とう形改修用仕上塗材</td> <td>・可とう形改修塗材 C E</td> <td>・</td> <td>・耐水性 ※耐熱形3種</td> </tr> <tr> <td>・可とう形改修塗材 R E</td> <td>・</td> <td>・溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系</td> </tr> </table> <p>④マスチック塗材塗り (4.1.5)(4.7.2)(表4.7.1)</p> <p>⑤材料 (7.1.3) ※規制対象外 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする(箇所： )</p> <p>⑥下地調整 (7.2.1~7) 塗替えR B種の場合の既存塗膜の除去範囲 ※塗替え面積の30% ・図示 ・ 既存さび止め塗料の粘着性調査 ・行う (箇所) ・行わない</p> <p>下地調整 (表7.2.1~7)</p> <table border="1" data-bbox="2329 1312 2849 1627"> <tr> <th rowspan="2">下地面の種類</th> <th colspan="2">下地調整の種類</th> <th rowspan="2">ひび割れ部の補修</th> </tr> <tr> <th>塗替え</th> <th>新規</th> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>※R B種</td> <td>・ R A種 ・ R B種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※R B種</td> <td>・ R A種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>垂れめつき面</td> <td>※R B種</td> <td>・ R A種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>垂れめつき面(鋼製建具等)</td> <td>※R B種</td> <td>・ R C種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>モルタル、プラスター面</td> <td>※R B種</td> <td>・ R A種 ・ R B種</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(DP以外)、ALCパネル面</td> <td>※R B種 ・ R C種</td> <td>・ R A種</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板面</td> <td>・ R A種 ・ R B種 ・ R C種</td> <td>・ R A種 ・ R B種</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(DP)</td> <td>・ R B種 ・ R C種</td> <td>・ R A種</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>せつこうボード面及びその他ボード面</td> <td>※R B種</td> <td>・ R A種 ・ R B種</td> <td>-</td> </tr> </table> <p>⑦錆止め塗料塗り (7.3.2、3)(表7.3.1~7.3.4)</p> <table border="1" data-bbox="2329 1669 2849 1879"> <tr> <th rowspan="2">鉄鋼面</th> <th rowspan="2">塗装面</th> <th colspan="2">塗料の種類</th> <th colspan="2">工程の種類</th> </tr> <tr> <th>塗替え</th> <th>A種</th> <th>※C種</th> <th>・</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">E P - G 以外</td> <td>・新規見え掛り</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・新規見え隠れ</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・新規見え隠れ</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">E P - G</td> <td>・新規見え掛り</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・新規見え隠れ</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・新規見え隠れ</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">垂れめつき鋼面</td> <td>・新規鋼製建具等</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・新規鋼製建具等</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・新規鋼製建具等</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table>	工法	処理範囲	下地の補修	・サンダー工法	※既存仕上げ面全体 ・図示	※ひび割れ部改修工法	・高圧水洗工法(30MPa程度以上)	※既存仕上げ面全体 ・図示	※浮き部改修工法	・塗膜はく離剤工法	※既存仕上げ面全体 ・図示	※欠損部改修工法	②水洗工法(15MPa程度)(デッキブラシ併用)	※サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離剤工法の処理範囲以外の既存仕上げ面全体 ・図示		種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等	・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材 S i	・	・砂壁状 ・さざ波状 ・平たん状	・可とう形外装薄塗材 S i	・	・ゆず肌状 ( ・吹付け ・ローラー塗り )	・外装薄塗材 E	・	・凹凸状 ( ・吹付け ・こて塗り )	・可とう形外装薄塗材 E	・	・着色骨材砂壁状 ( ・吹付け ・こて塗り )	・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材 C	・	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状	・外装厚塗材 S i	・	・凹凸状 ・ひき起こし ・掻き落とし	・複層仕上塗材	・複層塗材 C E	・	・上塗材 ・適用する ・適用しない	・可とう形複層塗材 C E	・	・吹放し ・凸部処理 ・凹凸状	・複層塗材 S i	・	・耐水性 ※耐熱形3種	・複層塗材 E	・	・上塗材	・可とう形改修用仕上塗材	・防水形複層塗材 C E	・	・溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系	・防水形複層塗材 E	・	・樹脂 ※アクリル系	・防水形複層塗材 R E	・	・外観 ※つやあり ・つやなし	・防水形複層塗材 R S	・	・メタリック	・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材 E	・	・平たん状 ( ・さざ波状 ・ゆず肌状 )	・可とう形改修塗材 R E	・	・耐水性 ※耐熱形3種	・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材 C E	・	・耐水性 ※耐熱形3種	・可とう形改修塗材 R E	・	・溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系	・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材 C E	・	・耐水性 ※耐熱形3種	・可とう形改修塗材 R E	・	・溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系	・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材 C E	・	・耐水性 ※耐熱形3種	・可とう形改修塗材 R E	・	・溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系	下地面の種類	下地調整の種類		ひび割れ部の補修	塗替え	新規	木部	※R B種	・ R A種 ・ R B種	-	鉄鋼面	※R B種	・ R A種	-	垂れめつき面	※R B種	・ R A種	-	垂れめつき面(鋼製建具等)	※R B種	・ R C種	-	モルタル、プラスター面	※R B種	・ R A種 ・ R B種	・行う ・行わない	コンクリート面(DP以外)、ALCパネル面	※R B種 ・ R C種	・ R A種	・行う ・行わない	押出成形セメント板面	・ R A種 ・ R B種 ・ R C種	・ R A種 ・ R B種	・行う ・行わない	コンクリート面(DP)	・ R B種 ・ R C種	・ R A種	・行う ・行わない	せつこうボード面及びその他ボード面	※R B種	・ R A種 ・ R B種	-	鉄鋼面	塗装面	塗料の種類		工程の種類		塗替え	A種	※C種	・	E P - G 以外	・新規見え掛り	・	・	・	・	・新規見え隠れ	・	・	・	・	・新規見え隠れ	・	・	・	・	E P - G	・新規見え掛り	・	・	・	・	・新規見え隠れ	・	・	・	・	・新規見え隠れ	・	・	・	・	垂れめつき鋼面	・新規鋼製建具等	・	・	・	・	・新規鋼製建具等	・	・	・	・	・新規鋼製建具等	・	・	・	・
	施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ(mm)	屋根葺形式																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	※JIS G 3322の屋根用コイル	・心木なし瓦葺葺	・立平葺	・蟻掛葺	・横葺																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	120																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	40																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	100~200	70																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	150~250	130																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	120																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	40																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	100~200	70																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	150~250	130																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
工法の種類	アンカーピンの本数(本/m <sup>2</sup> )		注入口の箇所数(箇所/m <sup>2</sup> )		注入量(ml/箇所)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	一般部	指定部	一般部	指定部																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
①アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	-	-	※25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
※注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※16	-	-	※25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・充填工法	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・モルタル塗替え工法	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
工法の種類	アンカーピンの本数(本/m <sup>2</sup> )		注入口の箇所数(箇所/m <sup>2</sup> )		注入量(ml/箇所)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	一般部	指定部	一般部	指定部																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
①アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	-	-	※25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
※注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※16	-	-	※25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・充填工法	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・モルタル塗替え工法	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
施工箇所	形状寸法(mm)	再生材の適用	吸水率による区分				役物	色	耐凍害性	耐滑り性	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			I	II	III	IV																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
外壁	108×60	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
屋外階段壁	100×50	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
工法	処理範囲	下地の補修																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・サンダー工法	※既存仕上げ面全体 ・図示	※ひび割れ部改修工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・高圧水洗工法(30MPa程度以上)	※既存仕上げ面全体 ・図示	※浮き部改修工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上げ面全体 ・図示	※欠損部改修工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
②水洗工法(15MPa程度)(デッキブラシ併用)	※サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離剤工法の処理範囲以外の既存仕上げ面全体 ・図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材 S i	・	・砂壁状 ・さざ波状 ・平たん状																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	・可とう形外装薄塗材 S i	・	・ゆず肌状 ( ・吹付け ・ローラー塗り )																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	・外装薄塗材 E	・	・凹凸状 ( ・吹付け ・こて塗り )																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	・可とう形外装薄塗材 E	・	・着色骨材砂壁状 ( ・吹付け ・こて塗り )																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材 C	・	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	・外装厚塗材 S i	・	・凹凸状 ・ひき起こし ・掻き落とし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・複層仕上塗材	・複層塗材 C E	・	・上塗材 ・適用する ・適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	・可とう形複層塗材 C E	・	・吹放し ・凸部処理 ・凹凸状																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	・複層塗材 S i	・	・耐水性 ※耐熱形3種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	・複層塗材 E	・	・上塗材																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・可とう形改修用仕上塗材	・防水形複層塗材 C E	・	・溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	・防水形複層塗材 E	・	・樹脂 ※アクリル系																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	・防水形複層塗材 R E	・	・外観 ※つやあり ・つやなし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	・防水形複層塗材 R S	・	・メタリック																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材 E	・	・平たん状 ( ・さざ波状 ・ゆず肌状 )																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	・可とう形改修塗材 R E	・	・耐水性 ※耐熱形3種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材 C E	・	・耐水性 ※耐熱形3種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	・可とう形改修塗材 R E	・	・溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材 C E	・	・耐水性 ※耐熱形3種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	・可とう形改修塗材 R E	・	・溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材 C E	・	・耐水性 ※耐熱形3種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	・可とう形改修塗材 R E	・	・溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
下地面の種類	下地調整の種類		ひび割れ部の補修																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	塗替え	新規																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
木部	※R B種	・ R A種 ・ R B種	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
鉄鋼面	※R B種	・ R A種	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
垂れめつき面	※R B種	・ R A種	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
垂れめつき面(鋼製建具等)	※R B種	・ R C種	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
モルタル、プラスター面	※R B種	・ R A種 ・ R B種	・行う ・行わない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
コンクリート面(DP以外)、ALCパネル面	※R B種 ・ R C種	・ R A種	・行う ・行わない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
押出成形セメント板面	・ R A種 ・ R B種 ・ R C種	・ R A種 ・ R B種	・行う ・行わない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
コンクリート面(DP)	・ R B種 ・ R C種	・ R A種	・行う ・行わない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
せつこうボード面及びその他ボード面	※R B種	・ R A種 ・ R B種	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
鉄鋼面	塗装面	塗料の種類		工程の種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		塗替え	A種	※C種	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
E P - G 以外	・新規見え掛り	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	・新規見え隠れ	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	・新規見え隠れ	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
E P - G	・新規見え掛り	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	・新規見え隠れ	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	・新規見え隠れ	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
垂れめつき鋼面	・新規鋼製建具等	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	・新規鋼製建具等	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	・新規鋼製建具等	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
<p>備考</p>	 <p>株式会社 三宅設計 TEL 0574 (62) 1881 FAX 0574 (62) 5432 1級建築士 三宅晶信 第68278号</p>					<p>承認 設計 設計年月日 NO. 03</p> <p>工事名 兼山地区センター外部改修 工事設計図</p> <p>図面名 建築工事特記仕様書(3) scale /</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
7	④ 塗装	<p>(7.4.2~7.14.2) (表7.2.1~7.14.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>塗装の種類</th> <th>塗装面</th> <th>塗替え</th> <th>新規</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)</td> <td>木部屋外</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>・塗料の種類</td> <td>木部屋内</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>※1種</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種・A種</td> </tr> <tr> <td>・2種</td> <td>垂鉛めつき鋼面 (鋼製建具)</td> <td>※A種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>・クリヤラッカー塗り (GL)</td> <td>垂鉛めつき鋼面 (鋼製建具以外)</td> <td>※B種・A種</td> <td>※B種・A種</td> </tr> <tr> <td>・フタル酸樹脂エポキシ樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種・A種</td> </tr> <tr> <td>○耐候性塗料塗り (DP)</td> <td>鉄鋼面 上塗り等級 ( 1 ) 級</td> <td>・</td> <td>A種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>垂鉛めつき鋼面</td> <td>・</td> <td>A種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>上塗り等級 ( ) 級</td> <td>・</td> <td>A種</td> </tr> <tr> <td>・つや有合成樹脂エマulsion</td> <td>コンクリート面等</td> <td>※B種</td> <td>・A種・B種</td> </tr> <tr> <td>・ペイント (EP-G)</td> <td>屋内の木部</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>屋内の鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>・A種・B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>屋内の垂鉛めつき鋼面</td> <td>※B種</td> <td>・A種・B種</td> </tr> <tr> <td>○合成樹脂エマulsionペイント塗り (EP)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>・A種・B種</td> </tr> <tr> <td>・合成樹脂エマulsion模様塗料塗り (EP-T)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>・A種・B種</td> </tr> <tr> <td>・ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種・A種</td> <td>※B種・A種</td> </tr> <tr> <td>・オイルステイン塗り (OS)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>・A種・B種</td> </tr> <tr> <td>○シリコン樹脂塗料</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>・A種</td> </tr> <tr> <td>○可とう形改修塗料RE</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>・A種</td> </tr> </tbody> </table> <p>つや有合成樹脂エマulsionペイント塗り (コンクリート面、モルタル面、プラスチック面、せっこうボード面、その他ボード面) の塗替えの場合のしきり止め</p> <p>※改修標準仕様書 表7.9.1の工程1の下塗りしきり止めシーラーとする</p> <p>合成樹脂エマulsionペイント塗りの塗替えの場合のしきり止め</p> <p>※改修標準仕様書 表7.10.1の工程1の下塗りしきり止めシーラーとする</p> <p>○高日射反射率塗料塗り [G]</p> <p>下地調整 (改修標準仕様書 表7.2.2) ・RA種 ・RB種 ・RC種</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工程</th> <th>規格番号</th> <th>塗料その他</th> <th>塗付け量 (kg/m<sup>2</sup>)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>塗料塗り</td> <td>JIS K 5675</td> <td>屋根用高日射反射率塗料</td> <td>2種 ○1級 ・2級 ・3級</td> </tr> </tbody> </table>	塗装の種類	塗装面	塗替え	新規	・合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)	木部屋外	※B種	※A種	・塗料の種類	木部屋内	※B種	※B種	※1種	鉄鋼面	※B種	※B種・A種	・2種	垂鉛めつき鋼面 (鋼製建具)	※A種	※B種	・クリヤラッカー塗り (GL)	垂鉛めつき鋼面 (鋼製建具以外)	※B種・A種	※B種・A種	・フタル酸樹脂エポキシ樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)	鉄鋼面	※B種	※B種・A種	○耐候性塗料塗り (DP)	鉄鋼面 上塗り等級 ( 1 ) 級	・	A種		垂鉛めつき鋼面	・	A種		上塗り等級 ( ) 級	・	A種	・つや有合成樹脂エマulsion	コンクリート面等	※B種	・A種・B種	・ペイント (EP-G)	屋内の木部	※B種	※A種		屋内の鉄鋼面	※B種	・A種・B種		屋内の垂鉛めつき鋼面	※B種	・A種・B種	○合成樹脂エマulsionペイント塗り (EP)	鉄鋼面	※B種	・A種・B種	・合成樹脂エマulsion模様塗料塗り (EP-T)	鉄鋼面	※B種	・A種・B種	・ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)	鉄鋼面	※B種・A種	※B種・A種	・オイルステイン塗り (OS)	鉄鋼面	※B種	・A種・B種	○シリコン樹脂塗料	鉄鋼面	※B種	・A種	○可とう形改修塗料RE	鉄鋼面	※B種	・A種	工程	規格番号	塗料その他	塗付け量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗料塗り	JIS K 5675	屋根用高日射反射率塗料	2種 ○1級 ・2級 ・3級	4	コンクリート舗装	<p>[22.5.2~4.6] [表22.5.1, 3]</p> <p>コンクリート舗装の構成及び厚さ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>部位</th> <th>構成</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート舗装</td> <td>車路及び駐車場</td> <td>※図示</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>歩行者用通路</td> <td>※図示</td> <td>※70</td> </tr> </tbody> </table> <p>寒冷地の縁部立下り寸法等 ※図示</p> <p>材料</p> <p>コンクリート</p> <p>種類 ※普通コンクリート</p> <p>設計基準強度、スランプ及び粗骨材の最大寸法 ※標準仕様書 表22.5.1による</p> <p>早強セメント ・使用する ・使用しない</p> <p>注入目地材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ</p> <p>目地の種類、間隔、構造</p> <p>※標準仕様書 表22.5.3及び図22.5.1による ・図示</p>	舗装の種類	部位	構成	厚さ (mm)	コンクリート舗装	車路及び駐車場	※図示	※図示		歩行者用通路	※図示	※70	9	1 7Aベト含有建材の除去工事	<p>環境配慮改修工事</p> <p>施工調査 (9.1.1)</p> <p>分析によるアスベスト含有建材の調査 ・行う ・行わない</p> <p>分析方法</p> <p>※JIS A 1481-2「建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部」又は、JIS A 1481-3「建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第3部」による。</p> <p>分析方法結果については監督職員に報告すること。(箇所あたり3試料)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料名</th> <th>定性分析 (箇所数)</th> <th>定量分析 (箇所数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>採取箇所 ※図示</p> <p>アスベスト粉じん濃度測定</p> <p>測定時期、場所及び測定点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定用名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定点 (各施工箇所ごと)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・測定1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>・計 ( ) 点</td> </tr> <tr> <td>・測定2</td> <td>処理作業中</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>・計 ( ) 点</td> </tr> <tr> <td>・測定3</td> <td>処理作業中</td> <td>処理作業室内</td> <td>・計 ( ) 点</td> </tr> <tr> <td>・測定4</td> <td>処理作業中</td> <td>責任・除じん装置の排出吹出し口</td> <td>出口吹出し風速1m/sec以下の位置 ・計 ( ) 点</td> </tr> <tr> <td>・測定5</td> <td>処理作業中</td> <td>処理作業室外 (敷地境界)</td> <td>・計 ( ) 点</td> </tr> <tr> <td>・測定6</td> <td>処理作業後</td> <td>処理作業室内</td> <td>・計 ( ) 点</td> </tr> <tr> <td>・測定7</td> <td>処理作業後</td> <td>処理作業室内</td> <td>・計 ( ) 点</td> </tr> <tr> <td>・測定8</td> <td>撤去後1週間以降</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>・計 ( ) 点</td> </tr> </tbody> </table> <p>測定方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定方法</th> <th>測定1</th> <th>測定2</th> <th>測定3</th> <th>測定4</th> <th>測定5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>φ30mm (φ40mm)</td> <td>2.5</td> <td>2.5</td> <td>2.5</td> <td>2.5</td> <td>4.7</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引流量 (L/min)</td> <td>・1</td> <td>・5</td> <td>・5</td> <td>・10</td> <td>・10</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引時間 (min)</td> <td>・5</td> <td>・120</td> <td>・120</td> <td>・240</td> <td>・240</td> </tr> </tbody> </table> <p>アスベスト含有建材の除去 (9.1.3)</p> <p>・アスベスト含有塗料 (下塗セメント系フィラー) の除去</p> <p>除去対象範囲 ※図示</p> <p>除去工法 ※ウォータークリーニング工法同等による</p> <p>除去したアスベスト含有吹付け材等の飛散防止</p> <p>※密封処理 ※湿潤化 ※セメント固化</p> <p>※セメント固化 除去したアスベスト含有吹付け材の溶融固化</p> <p>除去したアスベスト含有吹付け材等の処分</p> <p>・埋立処分 (管理型最終処分場)</p> <p>・中間処分 (溶融施設)</p> <p>・アスベスト含有保温材等の除去 (9.1.4)</p> <p>除去対象範囲 ※図示 (図面 ( ) による)</p> <p>除去したアスベスト含有吹付け材等の処分</p> <p>・埋立処分 (管理型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設)</p> <p>・アスベスト含有成形板の除去 (9.1.5)</p> <p>除去対象範囲 ※図示 (図面 ( A13 ) による)</p> <p>除去したアスベスト含有成形板の処分</p> <p>・アスベスト含有せっこうボード</p> <p>※埋立処分 (管理型最終処分場)</p> <p>・アスベスト含有せっこうボードを除くアスベスト含有成形板</p> <p>・埋立処分 (管理型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設)</p> <p>2 外断熱改修工事 [G] (9.5.2)</p> <p>断熱材は、原則としてグリーン購入法における特定調達品目を使用すること。</p> <p>ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種</p> <p>断熱材の打込み及び張り付け (9.5.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>保温材の種類</th> <th>発泡剤の種類</th> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材</td> <td>A種</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>※押出法ポリスチレンフォーム保温材</td> <td>A種</td> <td>・保温板 (2種b) ・25</td> <td>・25</td> <td>※一般部</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・保温板 (3種b) ・25</td> <td>・25</td> <td>・接地点部分</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・硬質ウレタンフォーム保温材</td> <td>A種</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・フェノールフォーム保温材</td> <td>A種</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ロックウール</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・グラスウール</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 ガラス改修工事 (9.4.2)</p> <p>複層ガラス</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品類</th> <th>断熱性</th> <th>日射熱遮へい性</th> <th>厚さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・断熱複層ガラス</td> <td>・1種</td> <td>U 1</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・2種</td> <td>U 2</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・3種</td> <td>・U-3-1 ・U-3-2</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 断熱・防露改修工事 [G] (9.5.2~3)</p> <p>断熱材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外</p> <p>・断熱材打込み工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>保温材の種類</th> <th>発泡剤の種類</th> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材</td> <td>A種</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>※押出法ポリスチレンフォーム保温材</td> <td>A種</td> <td>・保温板 (2種b) ・25</td> <td>・25</td> <td>※一般部</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・保温板 (3種b) ・25</td> <td>・25</td> <td>・接地点部分</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・硬質ウレタンフォーム保温材</td> <td>A種</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・フェノールフォーム保温材</td> <td>A種</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>施工箇所 ・図示</p> <p>・断熱材現場発泡工法</p> <p>断熱材の種類 ※A種1 ・B種1</p> <p>厚さ (mm) ・25 ・30</p> <p>施工箇所 ※窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレイン回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所</p> <p>・図示</p>	材料名	定性分析 (箇所数)	定量分析 (箇所数)	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	測定用名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)	・測定1	処理作業前	処理作業室内	・計 ( ) 点	・測定2	処理作業中	調査対象室外部の付近	・計 ( ) 点	・測定3	処理作業中	処理作業室内	・計 ( ) 点	・測定4	処理作業中	責任・除じん装置の排出吹出し口	出口吹出し風速1m/sec以下の位置 ・計 ( ) 点	・測定5	処理作業中	処理作業室外 (敷地境界)	・計 ( ) 点	・測定6	処理作業後	処理作業室内	・計 ( ) 点	・測定7	処理作業後	処理作業室内	・計 ( ) 点	・測定8	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	・計 ( ) 点	測定方法	測定1	測定2	測定3	測定4	測定5	φ30mm (φ40mm)	2.5	2.5	2.5	2.5	4.7	試料の吸引流量 (L/min)	・1	・5	・5	・10	・10	試料の吸引時間 (min)	・5	・120	・120	・240	・240	保温材の種類	発泡剤の種類	種類	厚さ (mm)	施工箇所	・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材	A種	・	・	・	※押出法ポリスチレンフォーム保温材	A種	・保温板 (2種b) ・25	・25	※一般部			・保温板 (3種b) ・25	・25	・接地点部分			・	・	・	・硬質ウレタンフォーム保温材	A種	・	・	・	・フェノールフォーム保温材	A種	・	・	・	・ロックウール	・	・	・	・	・グラスウール	・	・	・	・	品類	断熱性	日射熱遮へい性	厚さ	・断熱複層ガラス	・1種	U 1	・図示		・2種	U 2	・		・3種	・U-3-1 ・U-3-2	・	保温材の種類	発泡剤の種類	種類	厚さ (mm)	施工箇所	・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材	A種	・	・	・	※押出法ポリスチレンフォーム保温材	A種	・保温板 (2種b) ・25	・25	※一般部			・保温板 (3種b) ・25	・25	・接地点部分			・	・	・	・硬質ウレタンフォーム保温材	A種	・	・	・	・フェノールフォーム保温材	A種	・	・	・	5	カラー舗装	<p>[22.6.2~4]</p> <p>・加熱系カラー舗装</p> <p>構成 ・厚さ ・図示</p> <p>加熱系混合物の結合材</p> <p>・アスファルト混合物</p> <p>・石油樹脂系混合物 顔料の添加量 ( % )</p> <p>着色骨材 ( )</p> <p>自然石 ( )</p> <p>・常温系カラー舗装</p> <p>工法 ・自然石樹脂系ニート工法 ・塗布工法</p> <p>着色部の下部 ・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装</p>	6	透水性アスファルト舗装	<p>[22.7.2, 3, 6]</p> <p>構成 ※図示</p> <p>材料</p> <p>骨材 ・道路用砕石</p> <p>・アスファルトコンクリート再生骨材</p> <p>試験 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない</p> <p>砂の粒度試験 ・行う ・行わない</p> <p>舗装の平坦性 ※著しい不陸がないもの</p> <p>・コンクリート平板舗装 [G]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>目地材</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・普通平板 (N)</td> <td>※300角</td> <td>※60</td> <td>※砂</td> <td>表面加工</td> </tr> <tr> <td>・透水平板 (P)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・モルタル</td> <td>・研ぎ出し</td> </tr> <tr> <td>・保水性平板 (M)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・洗い出し</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・たたき出し</td> </tr> </tbody> </table> <p>クッション材 ※砂 ・空練りモルタル</p> <p>普通平板は [G] (再生材料を用いた舗装用ブロック) 、透水平板は [G] (透水性コンクリート) とする。</p> <p>仕上り面の平坦性</p> <p>※歩行に支障となる段差がないものとし、コンクリート平板間の段差は3mm以内とする。</p> <p>・インターロッキングブロック舗装 [G]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>部位</th> <th>形状寸法</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>曲げ強度 (N/mm<sup>2</sup>)</th> <th>表面加工</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・普通ブロック (N)</td> <td>車路</td> <td>※図示</td> <td>※80</td> <td>※5.0</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・透水ブロック (P)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・保水性ブロック (M)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・普通ブロック (N)</td> <td>歩行者用通路</td> <td>※図示</td> <td>※60</td> <td>※3.0</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・透水ブロック (P)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・保水性ブロック (M)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>クッション材 ※砂 ・空練りモルタル</p> <p>歩行者用通路に使用する普通ブロックは [G] (再生材料を用いた舗装用ブロック) 、透水ブロックは (透水性コンクリート) とする。</p> <p>仕上り面の平坦性</p> <p>※歩行に支障となる段差がないものとし、インターロッキングブロック間の段差は3mm以内とする。</p> <p>・舗石舗装</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>形状寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>施工方法</th> <th>基層</th> <th>基層の厚さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※小舗石 (花こう岩)</td> <td>※図示</td> <td>・</td> <td>・うろこ張り</td> <td>・コンクリート版</td> <td>※70</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・アスファルト混合物</td> <td>※50</td> </tr> </tbody> </table> <p>仕上り面の平坦性</p> <p>※歩行に支障となる段差がないものとし、舗石間の段差は3mm以内とする</p> <p>・ジオテキスタイル</p> <p>単位面積質量 ・60g/m<sup>2</sup>以上</p> <p>厚さ (mm) ・0.5~1.0</p> <p>引張強度 ・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上</p> <p>透水係数 ・1.5×10<sup>-3</sup>cm/sec以上</p>	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材	備考	・普通平板 (N)	※300角	※60	※砂	表面加工	・透水平板 (P)	・	・	・モルタル	・研ぎ出し	・保水性平板 (M)	・	・	・	・洗い出し					・たたき出し	種類	部位	形状寸法	厚さ (mm)	曲げ強度 (N/mm <sup>2</sup> )	表面加工	・普通ブロック (N)	車路	※図示	※80	※5.0	・	・透水ブロック (P)	・	・	・	・	・	・保水性ブロック (M)	・	・	・	・	・	・普通ブロック (N)	歩行者用通路	※図示	※60	※3.0	・	・透水ブロック (P)	・	・	・	・	・	・保水性ブロック (M)	・	・	・	・	・	種類	形状寸法 (mm)	厚さ (mm)	施工方法	基層	基層の厚さ (mm)	※小舗石 (花こう岩)	※図示	・	・うろこ張り	・コンクリート版	※70				・	・アスファルト混合物	※50	7	ブロック系舗装	<p>[22.8.2, 3]</p> <p>・コンクリート平板舗装 [G]</p>	8	砂利敷き	<p>[22.9.2]</p> <p>種類</p> <p>・A種 (施工範囲: ・図示 ・通路)</p> <p>・B種 (施工範囲: ・図示 ・建物周囲その他)</p>	9	路面標示用塗料	<p>路面標示用塗料はJIS K 5665 (路面標示用塗料) による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>施工</th> <th>適用色</th> <th>幅 (mm)</th> <th>塗布厚さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※3種1号</td> <td>熔融</td> <td>・白</td> <td>・150</td> <td>・1.0</td> </tr> <tr> <td>・1種 [G]</td> <td>常温</td> <td>・</td> <td>・100</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・2種 [G]</td> <td>加熱</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>[G] 低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料</p>	種類	施工	適用色	幅 (mm)	塗布厚さ (mm)	※3種1号	熔融	・白	・150	・1.0	・1種 [G]	常温	・	・100	・	・2種 [G]	加熱	・	・	・	0	1 路床	<p>[22.2.2, 3, 5] [表22.2.1]</p> <p>路床の材料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・盛土</td> <td>・A種 ・B種 ・C種 ・D種</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・建設汚泥から再生した処理土</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・凍上抑制層</td> <td>・再生クラッシュラン ・クラッシュラン</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・切込み砂利 ・砂</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・フィルター層</td> <td>・砂</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>・路床安定処理</p> <p>安定処理の方法 ・置換え工法 ・安定処理工法</p> <p>路床安定化処理用添加材料</p> <p>種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 [G]</p> <p>・フライアッシュセメントB種</p> <p>・生石灰 ( )</p> <p>添加量 ・ kg/m<sup>3</sup> (目標CBR ・3以上)</p> <p>・ジオテキスタイル</p> <p>単位面積質量 ・60g/m<sup>2</sup>以上</p> <p>厚さ (mm) ・0.5~1.0</p> <p>引張強度 ・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上</p> <p>透水係数 ・1.5×10<sup>-3</sup>cm/sec以上</p> <p>試験</p> <p>砂の粒度試験 ・行う ・行わない</p> <p>路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・行う ・行わない</p> <p>路床締固め度の試験 ・行う ・行わない</p> <p>現場CBR試験 ・行う ・行わない</p>	種別	材料	厚さ (mm)	・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種	※図示		・建設汚泥から再生した処理土	・	・凍上抑制層	・再生クラッシュラン ・クラッシュラン	※図示		・切込み砂利 ・砂	・	・フィルター層	・砂	※図示		・	・	2	路盤	<p>[22.2.2, 3, 5] [表22.3.1]</p> <p>路盤の厚さ ※図示</p> <p>路盤材料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>砕石</td> <td>・クラッシュラン</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・粒度調整砕石</td> </tr> <tr> <td>再生材</td> <td>・クラッシュラン [G]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・粒度調整砕石 [G]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・クラッシュラン鉄鋼スラグ [G]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・粒度調整鉄鋼スラグ [G]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]</td> </tr> </tbody> </table>	種類	材料	砕石	・クラッシュラン		・粒度調整砕石	再生材	・クラッシュラン [G]		・粒度調整砕石 [G]		・クラッシュラン鉄鋼スラグ [G]		・粒度調整鉄鋼スラグ [G]		・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]	3	アスファルト舗装	<p>[22.4.2~6] [表 22.4.4]</p> <p>アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示</p> <p>材料及び種類</p> <p>アスファルト ・再生アスファルト [G] ( ・60~80 ・80~100 )</p> <p>・ストレートアスファルト</p> <p>骨材</p> <p>・道路用砕石</p> <p>・アスファルトコンクリート再生骨材 [G]</p> <p>加熱アスファルト混合物等の種類</p> <p>・密粒度アスファルト混合物 (13)</p> <p>・細粒度アスファルト混合物 (13)</p> <p>・密粒度アスファルト混合物 (13F)</p> <p>シーコート剤の種類 ・PK-1 ・PK-2</p> <p>試験 アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない</p> <p>舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度</p>	5	屋上緑化改修工事 [G]	<p>(9.6.1~3)</p> <p>植栽基盤及び材料</p> <p>・屋上緑化軽量システム ・適用する</p> <p>芝及び地被類の樹種並びに種類等 ※図示</p> <p>見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ※図示</p> <p>(品質・性能) 工事建築材料等品質性能表による (試験方法) 工事建築材料等品質性能表による</p> <p>工法</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法</p> <p>※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧の (・1・1.15・1.3) 倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)</p> <p>かん水装置 ・設置する (※本工事 ・別途工事)</p> <p>既存保護層の撤去 ・行う</p> <p>新植芝及び地被類の枯損償の期間</p> <p>※引渡しの日から1年 (9.6.4)</p>	6	透水性アスファルト舗装改修工事	<p>(9.7.3)</p> <p>適用範囲: 歩行者用道路</p> <p>既存舗装の撤去及び再利用 ※図示</p> <p>路床</p> <p>路床の材料 (厚さは図示)</p> <p>・遮断層 ※川砂、海砂又は良質な山砂</p> <p>・凍上抑制層 ※再生クラッシュラン ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂</p> <p>・フィルター層 ※砂</p> <p>・盛土</p> <p>・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 [G]</p> <p>C種の場合</p> <p>「建設発生土情報交換システム」を活用し、以下の土質の土とする。</p> <p>発生土利用基準 (国営計第59号平成18年8月10日)</p> <p>表-3 適用用途標準 (1) ・第1種、第2種、第3種</p> <p>D種の場合</p> <p>「セメント及びセメント系固結材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領 (案)」により、六価クロム溶出試験を行う。</p> <p>建設汚泥から再生した処理土の場合</p> <p>「建設汚泥処理土利用技術基準について (国営計第41号 平成18年6月12日) 表-4 建設汚泥処理土の適用用途標準」における下記の区分とする。</p> <p>※第3種処理土</p> <p>路床安定処理 (9.7.3)</p> <p>・行う</p> <p>※添加材料による安定処理</p> <p>種類 ・普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種</p> <p>・生石灰 ( ) ・消石灰 ( )</p> <p>添加量 ( ) kg/m<sup>2</sup> (目標CBR ※5以上)</p> <p>目標CBR ※5以上</p> <p>・ジオテキスタイル</p> <p>単位面積質量 60g/m<sup>2</sup>以上</p> <p>厚さ (mm) 0.5~1.0</p> <p>引張強度 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上</p> <p>透水係数 1.5×10<sup>-3</sup>cm/sec以上</p> <p>試験 路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・行う ※行わない (9.7.3)</p> <p>路床の締固め度試験 ※行う ・行わない (9.7.3)</p> <p>砂の粒度試験 ・行う ※行わない (9.7.3)</p> <p>路盤材料 ・クラッシュラン鉄鋼スラグ [G] (9.7.4)</p> <p>・クラッシュラン C-40</p> <p>・再生クラッシュラン [G]</p> <p>路盤厚さ 車道部 ※図示 ・150mm (9.7.4)</p> <p>歩道部 ※図示 ・100mm</p> <p>路盤の締固め度試験 ※行う ・行わない (9.7.5) (9.7.6)</p> <p>舗装材料及び厚さ</p> <p>車道部 ※ポリマー改質アスファルトI型 厚さ ※図示 ・50mm</p> <p>・</p> <p>歩道部 ※ストレートアスファルト 厚さ ※図示 ・30mm</p> <p>透水性アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ※行わない (9.7.9)</p> <p>舗装の平坦性 ※著しい不陸がないもの</p>
塗装の種類	塗装面	塗替え	新規																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)	木部屋外	※B種	※A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・塗料の種類	木部屋内	※B種	※B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
※1種	鉄鋼面	※B種	※B種・A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・2種	垂鉛めつき鋼面 (鋼製建具)	※A種	※B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・クリヤラッカー塗り (GL)	垂鉛めつき鋼面 (鋼製建具以外)	※B種・A種	※B種・A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・フタル酸樹脂エポキシ樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)	鉄鋼面	※B種	※B種・A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
○耐候性塗料塗り (DP)	鉄鋼面 上塗り等級 ( 1 ) 級	・	A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	垂鉛めつき鋼面	・	A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	上塗り等級 ( ) 級	・	A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・つや有合成樹脂エマulsion	コンクリート面等	※B種	・A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・ペイント (EP-G)	屋内の木部	※B種	※A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	屋内の鉄鋼面	※B種	・A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	屋内の垂鉛めつき鋼面	※B種	・A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
○合成樹脂エマulsionペイント塗り (EP)	鉄鋼面	※B種	・A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・合成樹脂エマulsion模様塗料塗り (EP-T)	鉄鋼面	※B種	・A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)	鉄鋼面	※B種・A種	※B種・A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・オイルステイン塗り (OS)	鉄鋼面	※B種	・A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
○シリコン樹脂塗料	鉄鋼面	※B種	・A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
○可とう形改修塗料RE	鉄鋼面	※B種	・A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
工程	規格番号	塗料その他	塗付け量 (kg/m <sup>2</sup> )																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
塗料塗り	JIS K 5675	屋根用高日射反射率塗料	2種 ○1級 ・2級 ・3級																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
舗装の種類	部位	構成	厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
コンクリート舗装	車路及び駐車場	※図示	※図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	歩行者用通路	※図示	※70																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
材料名	定性分析 (箇所数)	定量分析 (箇所数)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
測定用名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・測定1	処理作業前	処理作業室内	・計 ( ) 点																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・測定2	処理作業中	調査対象室外部の付近	・計 ( ) 点																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・測定3	処理作業中	処理作業室内	・計 ( ) 点																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・測定4	処理作業中	責任・除じん装置の排出吹出し口	出口吹出し風速1m/sec以下の位置 ・計 ( ) 点																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・測定5	処理作業中	処理作業室外 (敷地境界)	・計 ( ) 点																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・測定6	処理作業後	処理作業室内	・計 ( ) 点																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・測定7	処理作業後	処理作業室内	・計 ( ) 点																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・測定8	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	・計 ( ) 点																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
測定方法	測定1	測定2	測定3	測定4	測定5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
φ30mm (φ40mm)	2.5	2.5	2.5	2.5	4.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
試料の吸引流量 (L/min)	・1	・5	・5	・10	・10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
試料の吸引時間 (min)	・5	・120	・120	・240	・240																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
保温材の種類	発泡剤の種類	種類	厚さ (mm)	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材	A種	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
※押出法ポリスチレンフォーム保温材	A種	・保温板 (2種b) ・25	・25	※一般部																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		・保温板 (3種b) ・25	・25	・接地点部分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・硬質ウレタンフォーム保温材	A種	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・フェノールフォーム保温材	A種	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・ロックウール	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・グラスウール	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
品類	断熱性	日射熱遮へい性	厚さ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・断熱複層ガラス	・1種	U 1	・図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	・2種	U 2	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	・3種	・U-3-1 ・U-3-2	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
保温材の種類	発泡剤の種類	種類	厚さ (mm)	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材	A種	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
※押出法ポリスチレンフォーム保温材	A種	・保温板 (2種b) ・25	・25	※一般部																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		・保温板 (3種b) ・25	・25	・接地点部分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・硬質ウレタンフォーム保温材	A種	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・フェノールフォーム保温材	A種	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・普通平板 (N)	※300角	※60	※砂	表面加工																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・透水平板 (P)	・	・	・モルタル	・研ぎ出し																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・保水性平板 (M)	・	・	・	・洗い出し																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
				・たたき出し																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
種類	部位	形状寸法	厚さ (mm)	曲げ強度 (N/mm <sup>2</sup> )	表面加工																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・普通ブロック (N)	車路	※図示	※80	※5.0	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・透水ブロック (P)	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・保水性ブロック (M)	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・普通ブロック (N)	歩行者用通路	※図示	※60	※3.0	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・透水ブロック (P)	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・保水性ブロック (M)	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
種類	形状寸法 (mm)	厚さ (mm)	施工方法	基層	基層の厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
※小舗石 (花こう岩)	※図示	・	・うろこ張り	・コンクリート版	※70																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			・	・アスファルト混合物	※50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
種類	施工	適用色	幅 (mm)	塗布厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
※3種1号	熔融	・白	・150	・1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・1種 [G]	常温	・	・100	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・2種 [G]	加熱	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
種別	材料	厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種	※図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	・建設汚泥から再生した処理土	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・凍上抑制層	・再生クラッシュラン ・クラッシュラン	※図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	・切込み砂利 ・砂	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・フィルター層	・砂	※図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
種類	材料																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
砕石	・クラッシュラン																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・粒度調整砕石																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
再生材	・クラッシュラン [G]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・粒度調整砕石 [G]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・クラッシュラン鉄鋼スラグ [G]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・粒度調整鉄鋼スラグ [G]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		



付近見取図



配置図 1/400

備考	 株式会社 三宅設計 TEL 0574 (62) 1881 FAX 0574 (62) 5432	承認	設計	設計年月日	NO. 05	工事名	兼山地区センター外部改修	工事設計図
						図面名	付近見取図・配置図	scale 1/400

改修フローチャート	
補修場所	フローチャート
外壁磁器質小口タイル貼 屋外階段壁磁器質2丁掛タイル貼	改修工法フロー図-2による
外壁打放し面・軒天 RC水切上裏面（立上り面共） 屋外階段壁・上裏 打放し面	改修工法フロー図-1による
金属屋根	ケレン(RB種) 水洗い清掃 → 下塗り(プライマー塗布) → 上塗り(ふっ素樹脂系屋根遮熱塗料) *エスケー化研クールタイトF(フッ素)同等品以上
外壁巾木モルタル金ゴテ面	ひび割れ・欠損部等補修 (改修工法フロー図-1による補修) → 水洗い清掃
RC水切上端面	ひび割れ・欠損部等補修 (改修工法フロー図-1による補修) → 水洗い清掃 → ウレタン塗膜防水(X-2)
高圧水洗工法(30MPa程度)、下地調整(RB種)のうえ、複層塗材RE	

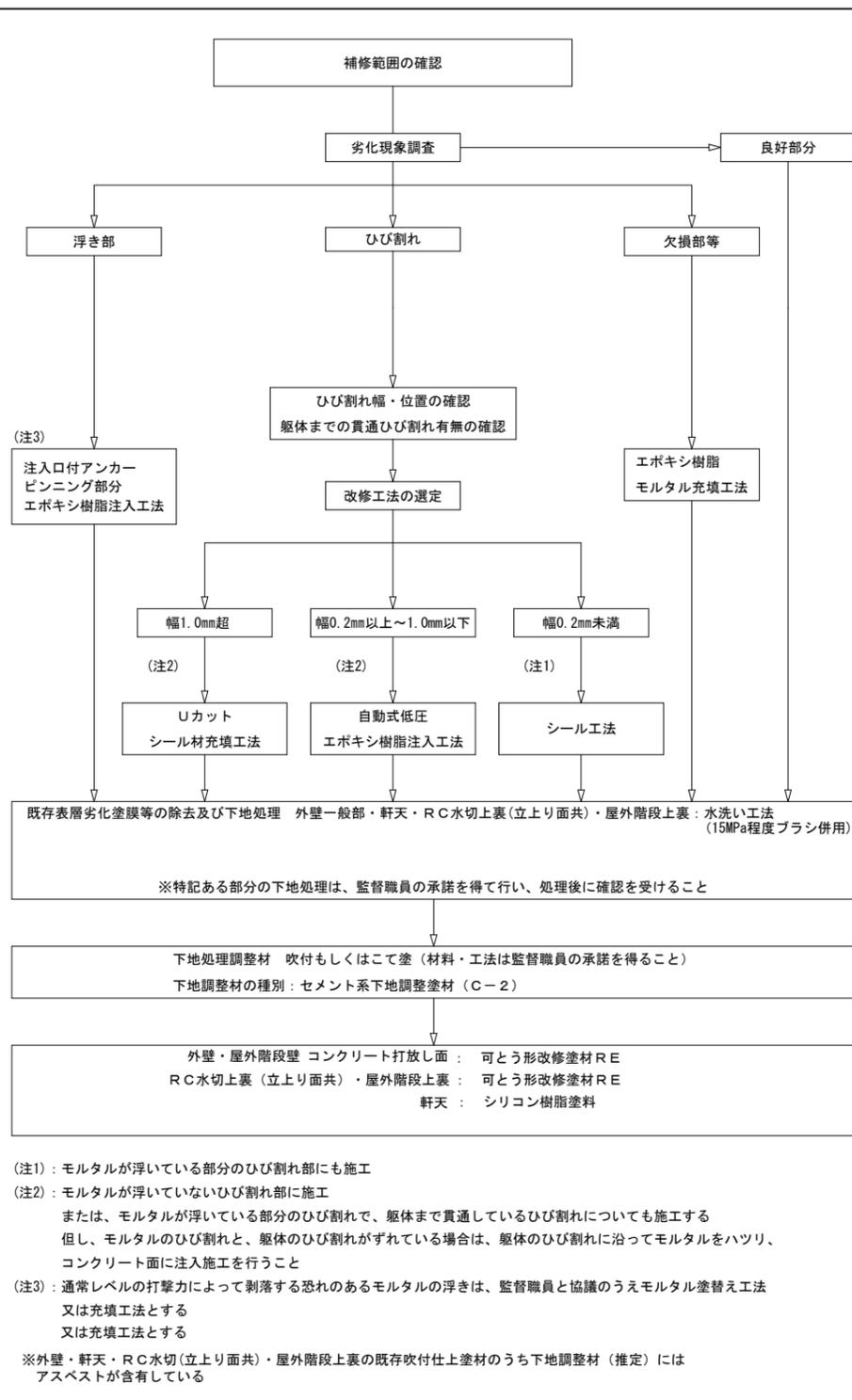
### 改修リスト

符号	改修箇所	改修前	改修後	符号	改修箇所	改修前	改修後
◇1	金属屋根	フッ素樹脂鋼板t0.5横葺き	ふっ素樹脂系屋根用遮熱塗料 (フローチャートによる)	◇16	東側ポーチ床	磁器質200角タイル	タイル面水洗い清掃(ブラシ併用)
◇2	RC水切上端	水切上端防水モルタル金ゴテ	水切上端防水モルタル面 水洗い清掃のうえ、ウレタン塗膜防水(X-2) (フローチャートによる)	◇17	東側ポーチ床 磁器質タイル損傷箇所	磁器質200角タイル(段鼻はノンスリップ付) 損傷箇所貼替(撤去)	磁器質200角タイル(段鼻はノンスリップ付) 損傷箇所貼替(新設)
◇3	軒天(打放し部分)	合板型枠打放し 吹付タイル	水洗い工法(15MPa程度ブラシ併用)、下地調整のうえ、 シリコン樹脂塗料 (フローチャートによる)	◇18	陸屋根防水	露出ゴムシート防水(t1.2+樹脂シートt4) (撤去)	水洗い清掃、塩ビ樹脂系ルーフィングシート防水(S-F2) (改修ドレン新設、アルミ笠木一時撤去・復旧共)
◇4	RC水切上裏(立上り面共)	合板型枠打放し 吹付タイル	水洗い工法(15MPa程度ブラシ併用)、下地調整のうえ、 可とう形改修塗料RE (フローチャートによる)	◇19	金属屋根・外壁取合い 水切上端シーリング	水切上端シーリング打替(撤去)	水切上端シーリング打替(新設)
◇5	外壁打放し面	合板型枠打放し 吹付タイル	水洗い工法(15MPa程度ブラシ併用)、下地調整のうえ、 可とう形改修塗料RE (フローチャートによる)	◇20	縦樋	塩ビ100φ(一部75φ) VP塗装 摺り金物(FB)OP塗装	VP塗装面 弱溶剤ウレタン塗装 下地調整RB種共 摺り金物OP塗装面 DP塗装(改修B種1級(フッ素樹脂塗料) 下地調整RB種共)
◇6	外壁磁器質小口タイル貼	磁器質小口タイル貼	磁器質小口タイル貼補修 (フローチャートによる)	◇21	鋼製ドア	鋼製ドア OP塗装	外部OP塗装面 DP塗装(改修B種1級(フッ素樹脂塗料) 下地調整RB種共)
◇7	外壁巾木	モルタル金ゴテ	モルタル金ゴテ面補修面・水洗い清掃 (フローチャートによる)	◇22	軒天(ボード部分)	ケイカル板t6 吹付タイル	ケイカル板t6吹付タイル面 下地調整(RB種)のうえ、EP塗装
◇8	外壁誘発目地シーリング	外壁誘発目地シーリング打替(撤去)	外壁誘発目地シーリング打替(新設)	◇23	正面ポーチ天井	岩綿吸音板t15(17')	岩綿吸音板t15(17') 面 箒がけ清掃
◇9	外部建具廻りシーリング	外部建具廻りシーリング打替(撤去)	外部建具廻りシーリング打替(新設) (打替え箇所、寸法等は建具表、詳細図による)	◇24	軒樋	内樋: 耐酸被覆鉄板t0.7 カバー: カラーアルミt1.5曲げ加工	内樋耐酸被覆鉄板面 水洗い清掃、穴あき・亀裂箇所テープ補修のうえ、ウレタン塗膜防水(X-2)
◇10	-	-	-	◇25	正面ポーチ床(階段部分) 磁器質タイル損傷箇所	磁器質200角タイル(段鼻はノンスリップ付) 損傷箇所貼替(撤去)	磁器質200角タイル(段鼻はノンスリップ付) 損傷箇所貼替(新設)
◇11	屋外階段 壁磁器質2丁掛タイル貼	磁器質2丁掛タイル貼	磁器質2丁掛タイル貼補修・タイル貼全面クリーニング (フローチャートによる)				
◇12	屋外階段 壁打放し面	合板型枠打放し 吹付タイル	水洗い工法(15MPa程度ブラシ併用)、下地調整のうえ、 可とう形改修塗料RE (フローチャートによる)	◇1	外壁打放し面	合板型枠打放し 吹付タイル	水洗い工法(15MPa程度ブラシ併用)、下地調整のうえ、 可とう形改修塗料RE (フローチャートによる)
◇13	屋外階段 上裏 打放し面	合板型枠打放し 吹付タイル	水洗い工法(15MPa程度ブラシ併用)、下地調整のうえ、 可とう形改修塗料RE (フローチャートによる)	◇2	外部建具廻りシーリング	外部建具廻りシーリング打替(撤去)	外部建具廻りシーリング打替(新設)
◇14	屋外階段 蹴上・踏面・踊場床	モルタル金ゴテ	モルタル金ゴテ面 水洗い清掃(ブラシ併用)	◇3	鋼製ドア・ネットフェンス扉 鉄部見得掛かり	鋼製ドア: OP塗装 ネットフェンス扉: 亜鉛メッキ 鉄部見得掛かり: OP塗装	DP塗装(改修B種1級(フッ素樹脂塗料) 下地調整RB種共)
◇15	-	-	-	◇4	屋根小波スレート	スレート葺	ふっ素樹脂系屋根用遮熱塗料 (フローチャートによる)

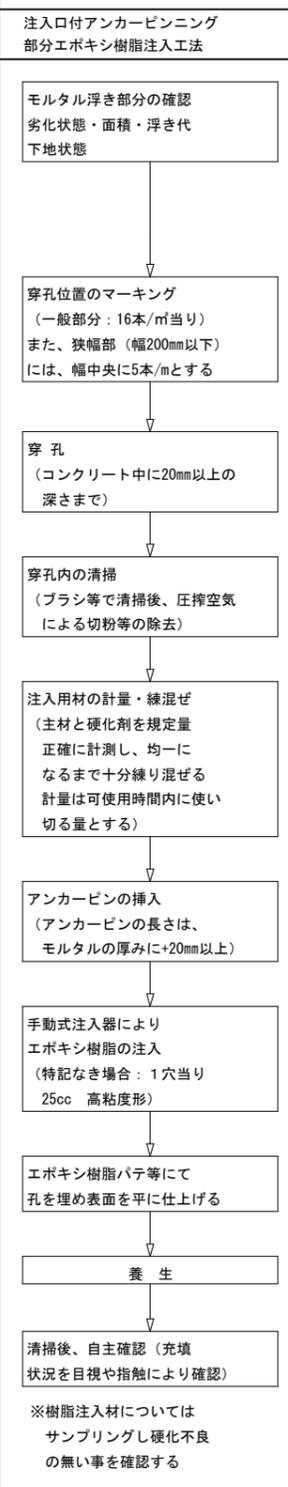
改修工法フロー図－1（コンクリート打放し面・モルタル面）

特記なき事項は、公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版による

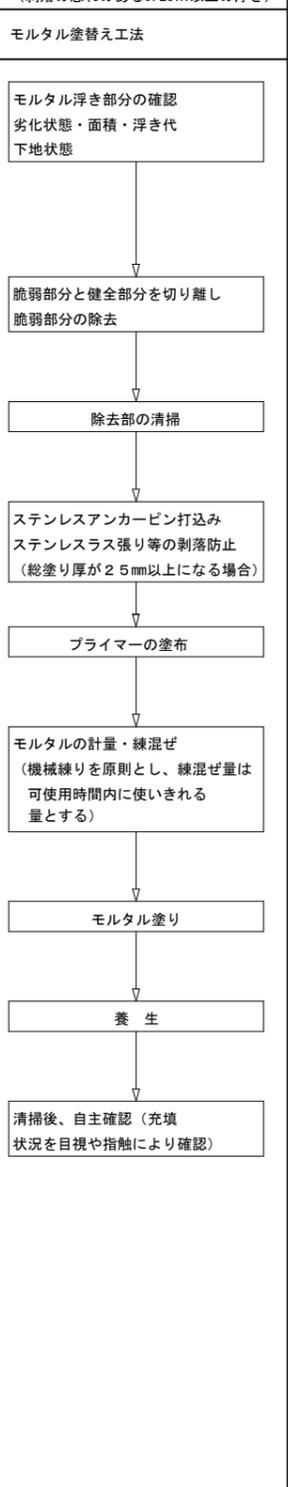
コンクリート打放し部・モルタル塗り部 改修フロー



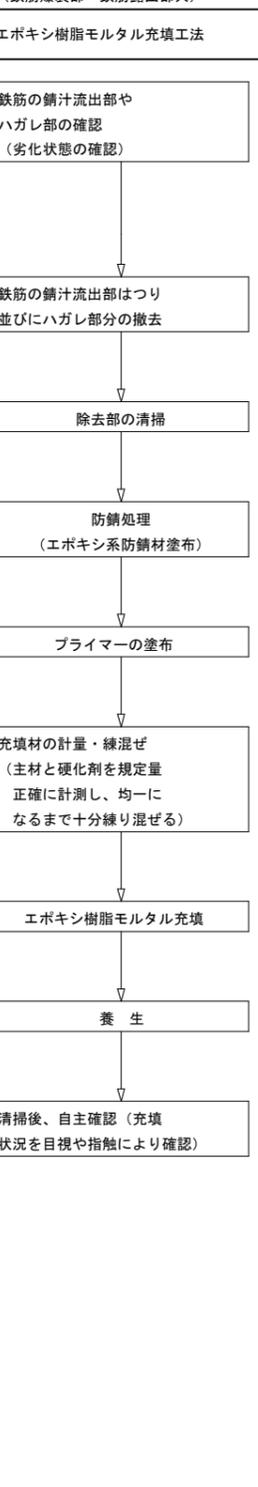
モルタル浮き部



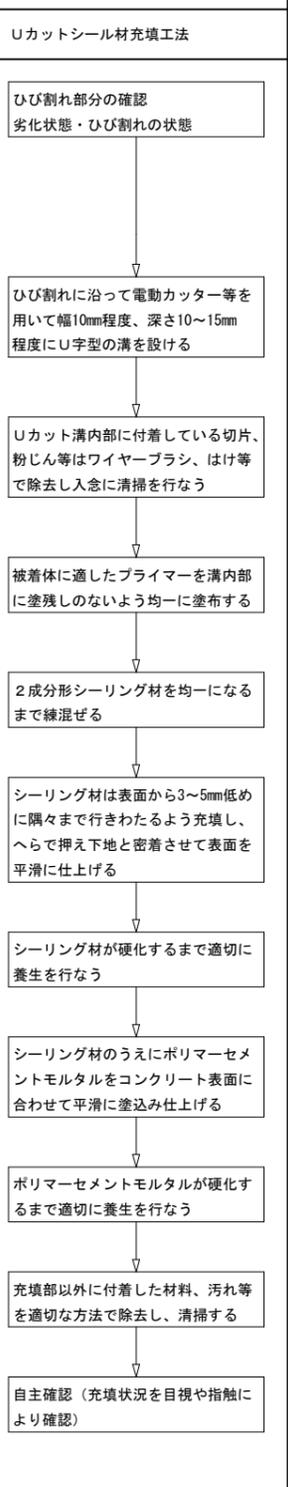
モルタル浮き部  
(剥落の恐れのある0.25㎡以上の浮き)



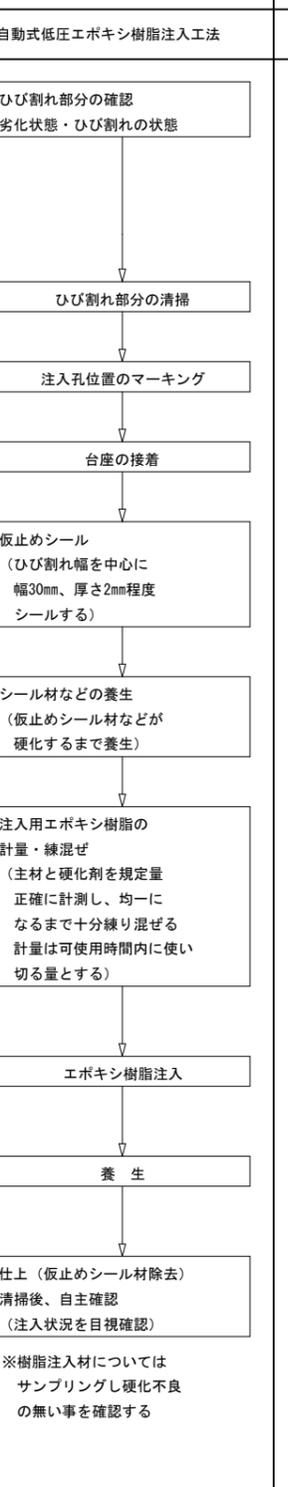
欠損部等  
(鉄筋爆裂部・鉄筋露出部共)



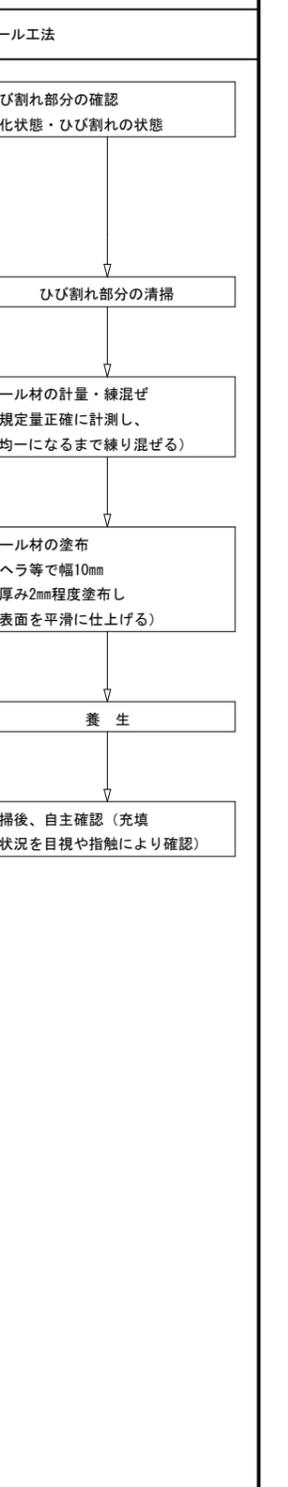
ひび割れ部



ひび割れ部



ひび割れ部

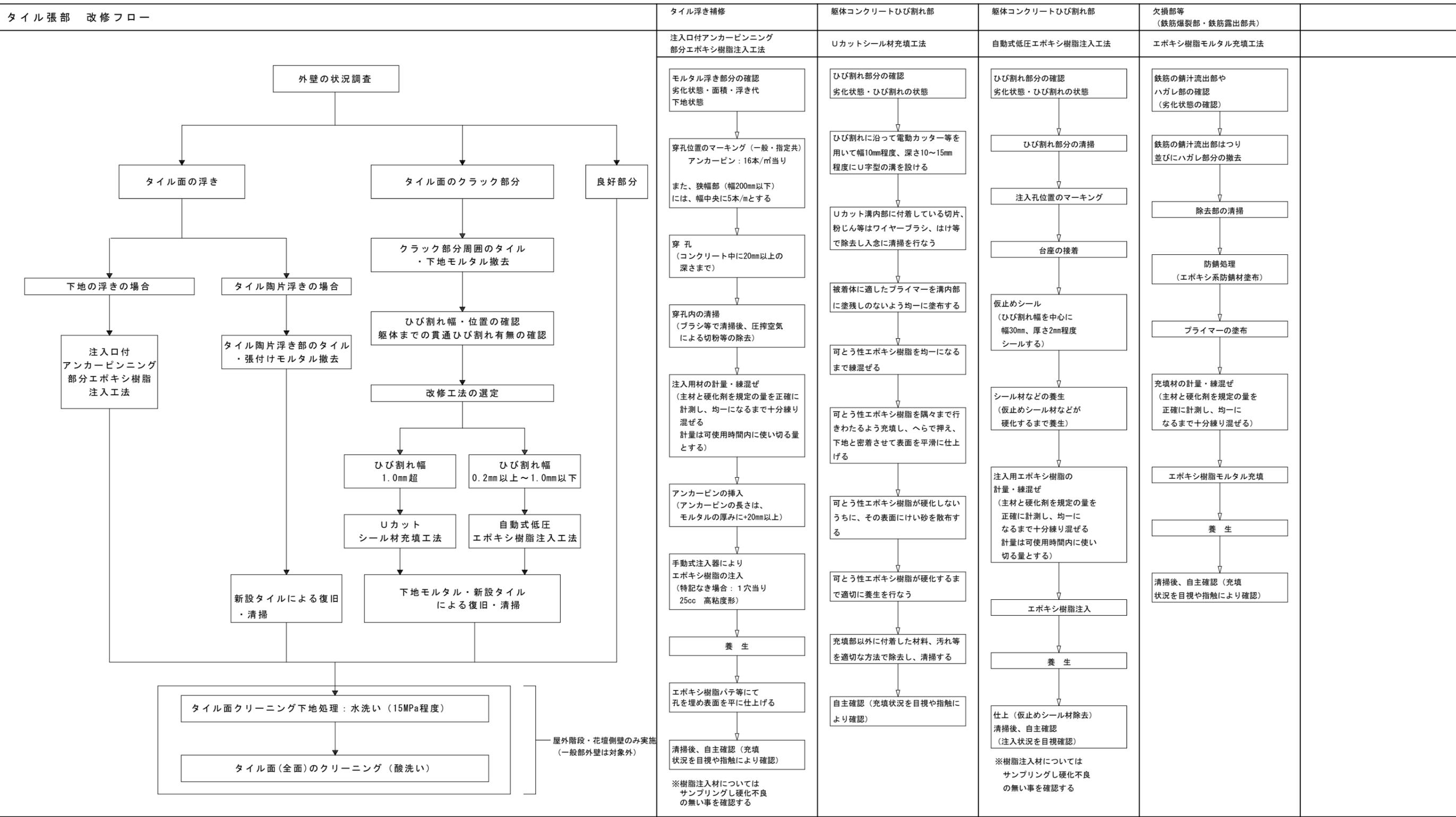


改修特記事項

- 仮設足場設置後、改修フローチャートに則り、施工対象箇所を現地調査すること。
- 調査の際、外壁診断技術をもつ者が必ず立ち会い、補修範囲をマーキングすること。
- マーキングは色分け等を行い、タイル面・下地モルタル浮き、クラック補修範囲を明示すること。
- マーキングにて補修範囲を示した後、監督員による現場確認を行い、補修工事範囲の決定をする。現場のみではなく、図面にも補修範囲を記入し、監督員に提出すること。
- 設計図と補修範囲が大きく相違する場合、監督員と協議を行うこと。

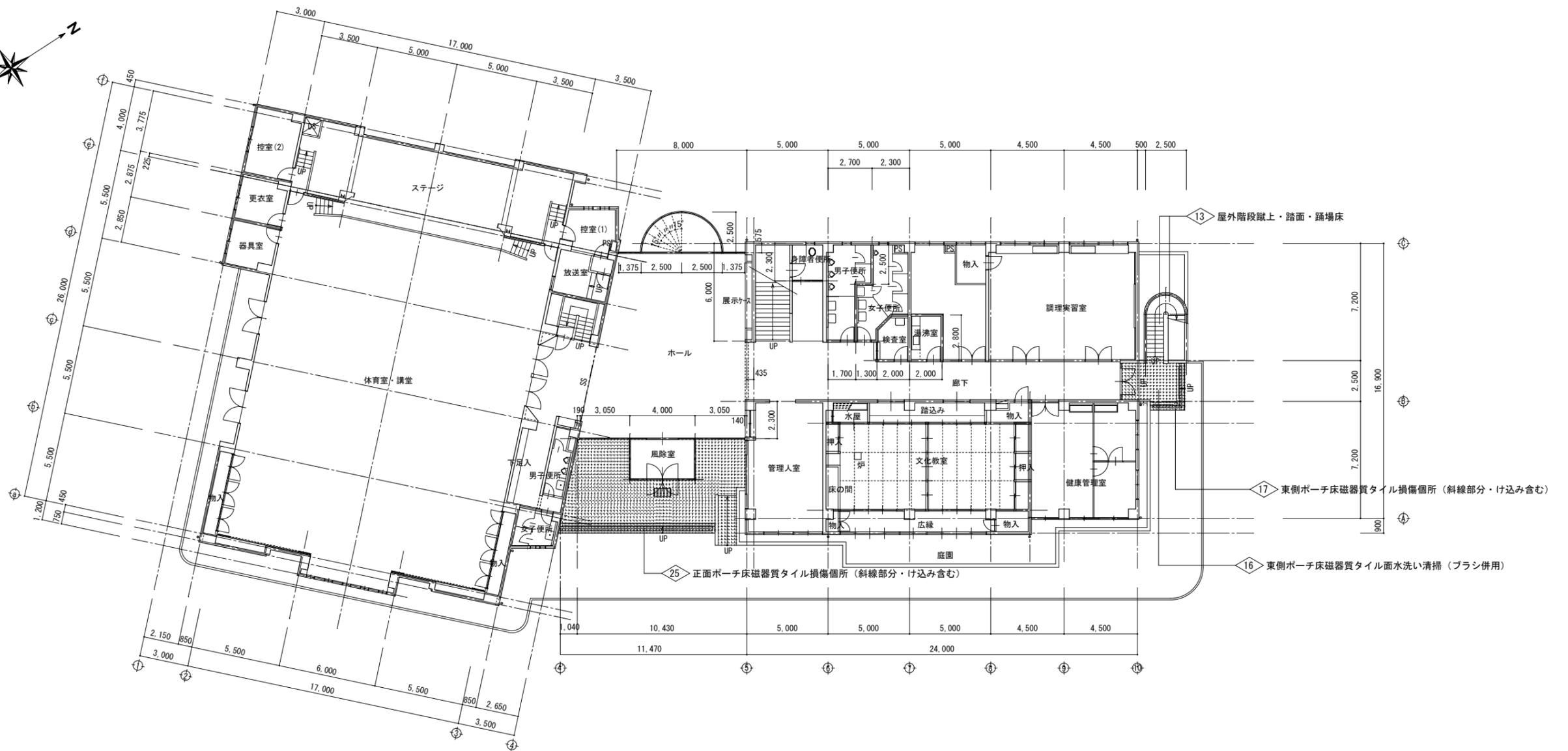
改修工法フロー図－２（外壁タイル張り面）

特記なき事項は、公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和４年版による



改修特記事項

- 仮設足場設置後、改修フローチャートに則り、施工対象箇所を現地調査すること。
- 調査の際、外壁診断技術をもつ者が必ず立ち会い、補修範囲をマーキングすること。
- マーキングは色分け等を行い、タイル面・下地モルタル浮き、クラック補修範囲を明示すること。
- マーキングにて補修範囲を示した後、監督員による現場確認を行い、補修工事範囲の決定をする。現場のみではなく、図面にも補修範囲を記入し、監督員に提出すること。
- 設計図と補修範囲が大きく相違する場合、監督員と協議を行うこと。



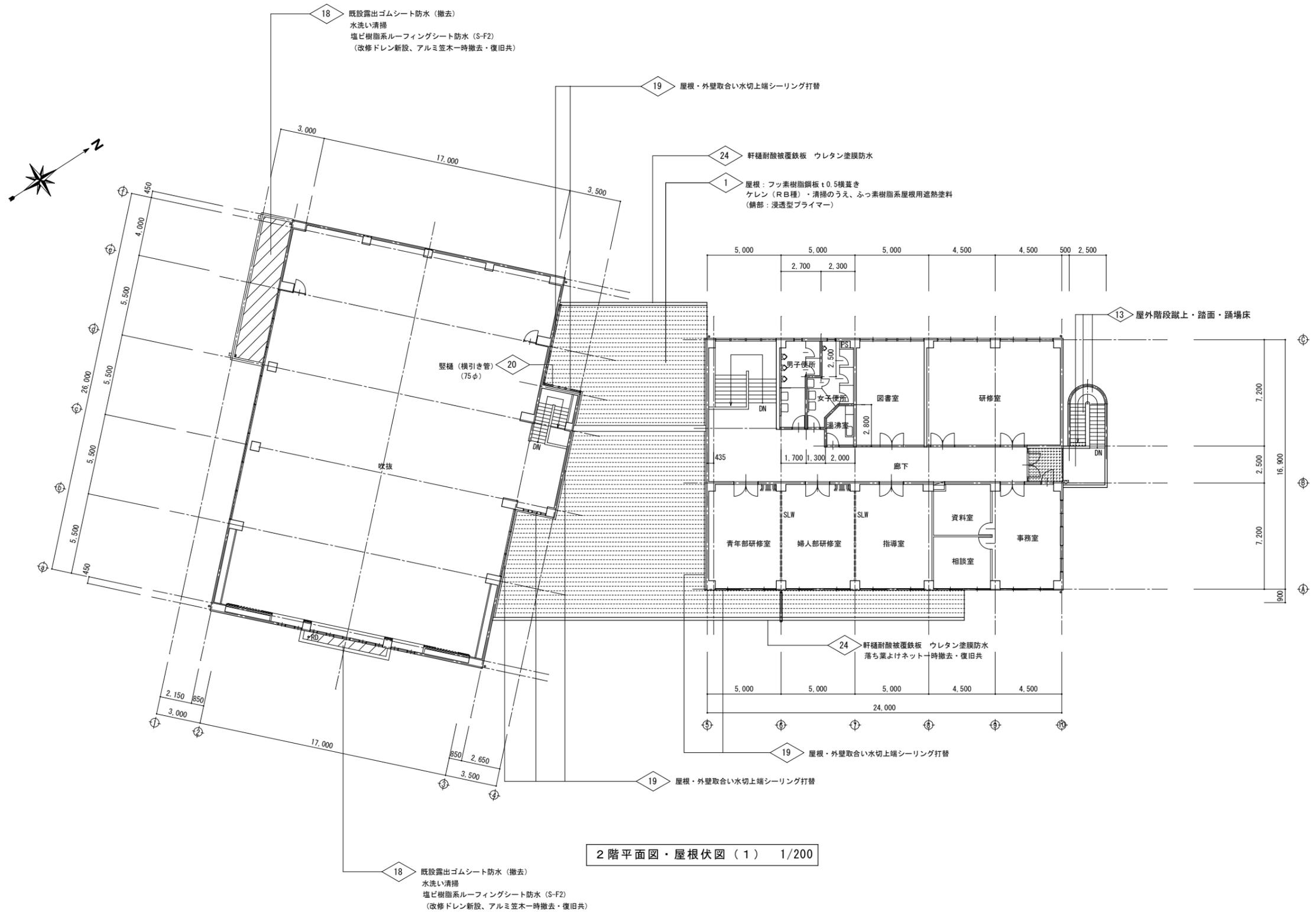
1階平面図 1/200

備考

株式会社 三宅設計  
 TEL 0574 (62) 1881  
 FAX 0574 (62) 5432  
 1級建築士 三宅 晶 信 第68278号

承認 設計 設計年月日 NO. 09

工事名 兼山地区センター外部改修 工事設計図  
 図面名 1階平面図 scale 1/200



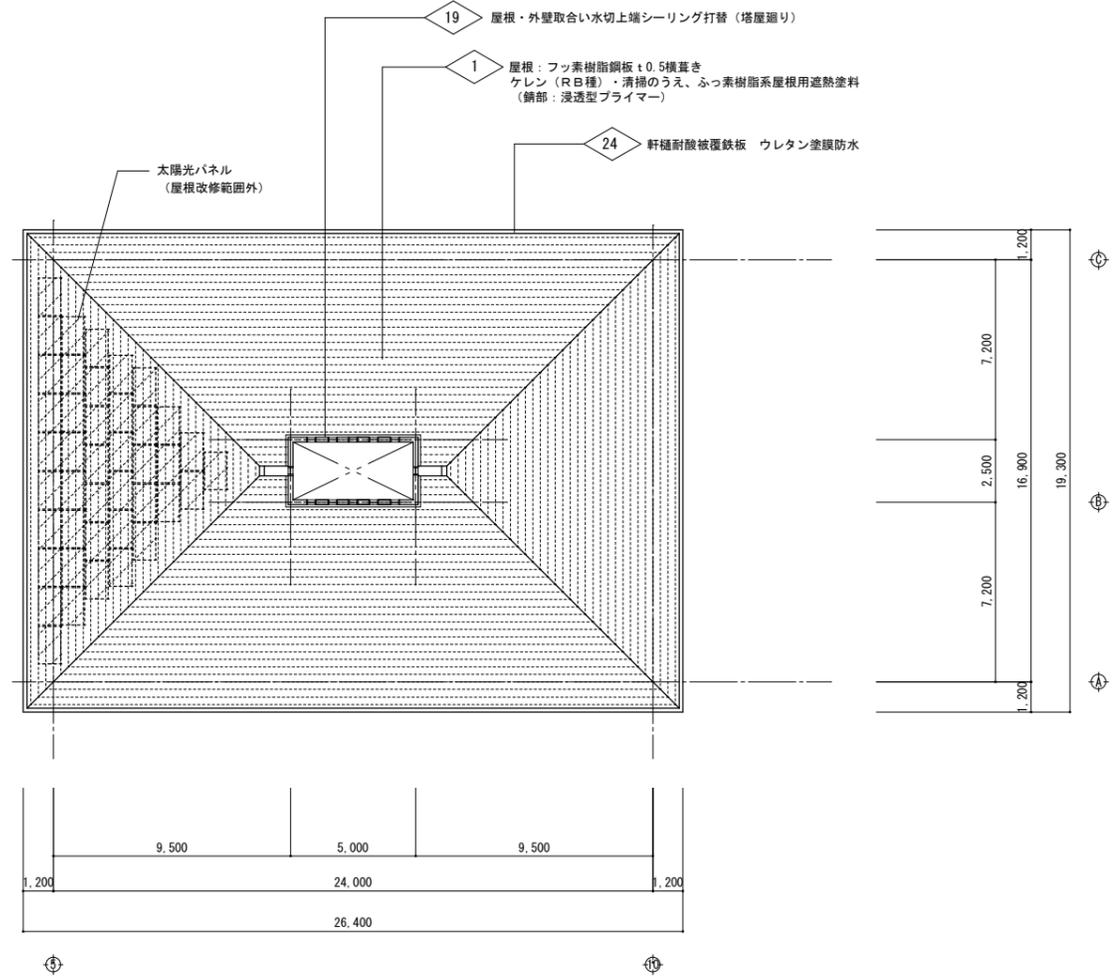
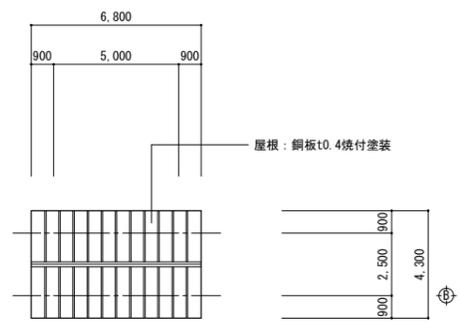
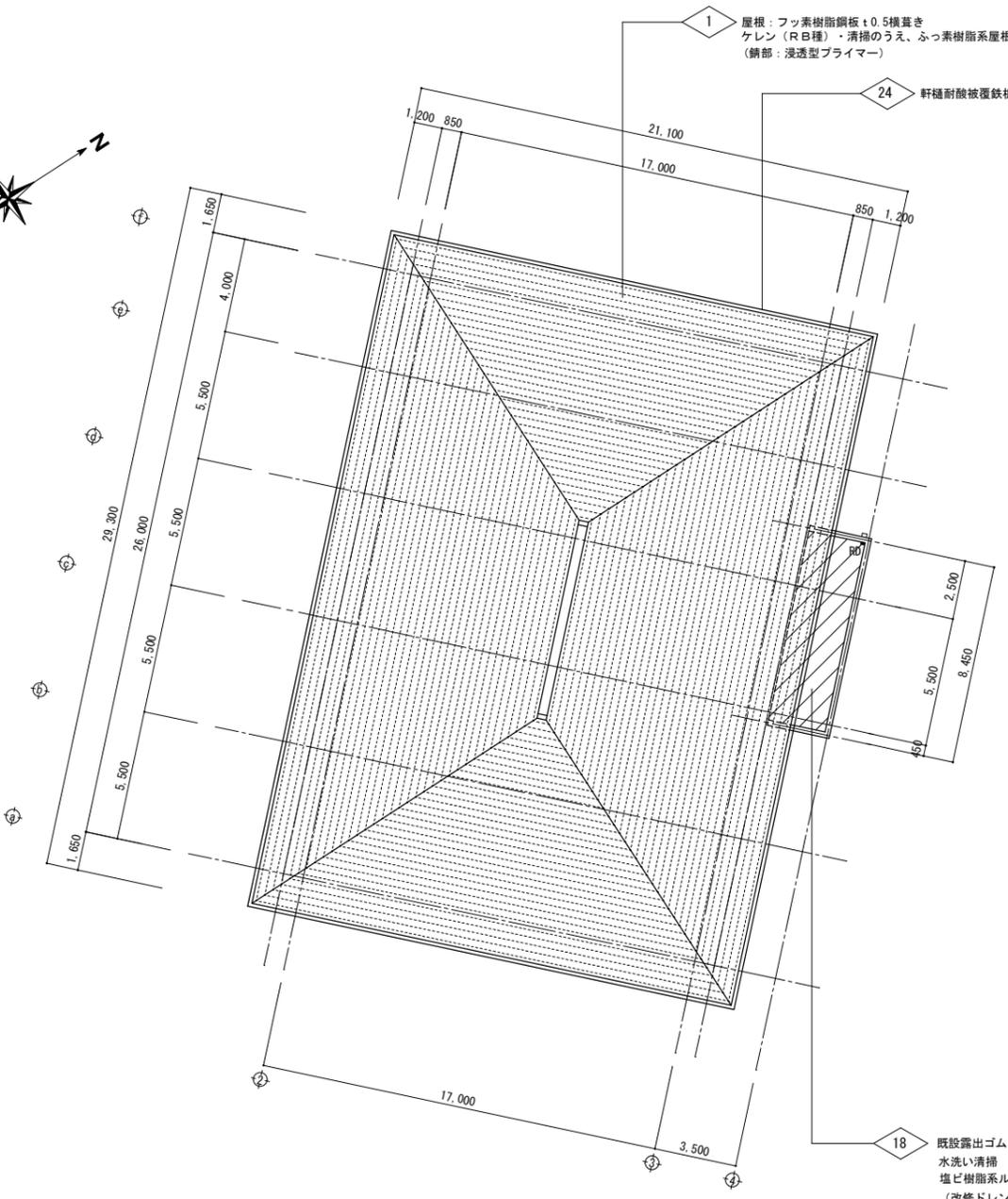
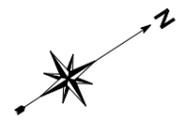
2階平面図・屋根伏図(1) 1/200

備考

株式会社 三宅設計  
 TEL 0574 (62) 1881  
 FAX 0574 (62) 5432  
 1級建築士 三宅 晶 信 第68278号

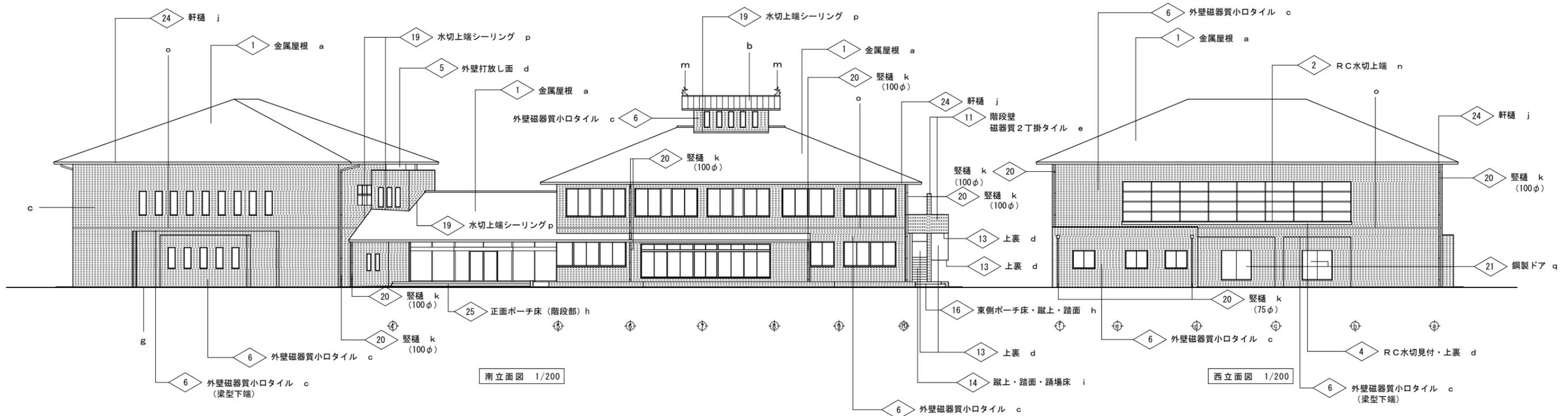
承認 設計 設計年月日 NO. 10

工事名 兼山地区センター外部改修 工事設計図  
 図面名 2階平面図・屋根伏図(1) scale 1/200

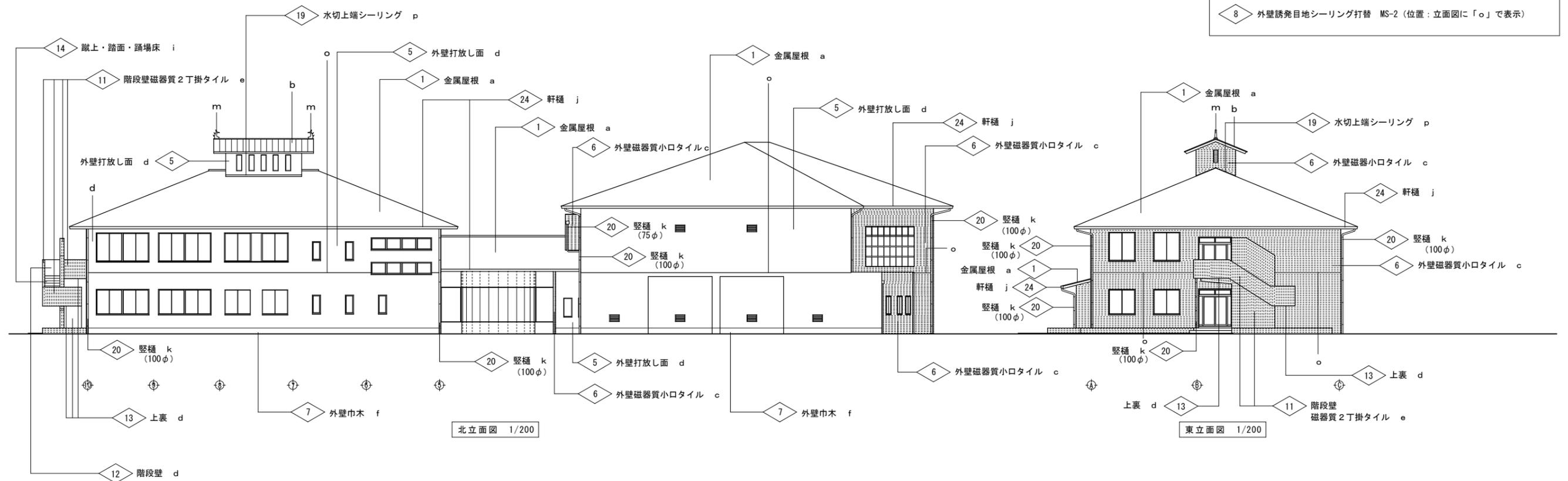


18 既設露出ゴムシート防水 (撤去)  
 水洗い清掃  
 塩ビ樹脂系ルーフィングシート防水 (S-F2)  
 (改修ドレン新設、アルミ笠木一時撤去・復旧共)

屋根伏図 (2) 1/200

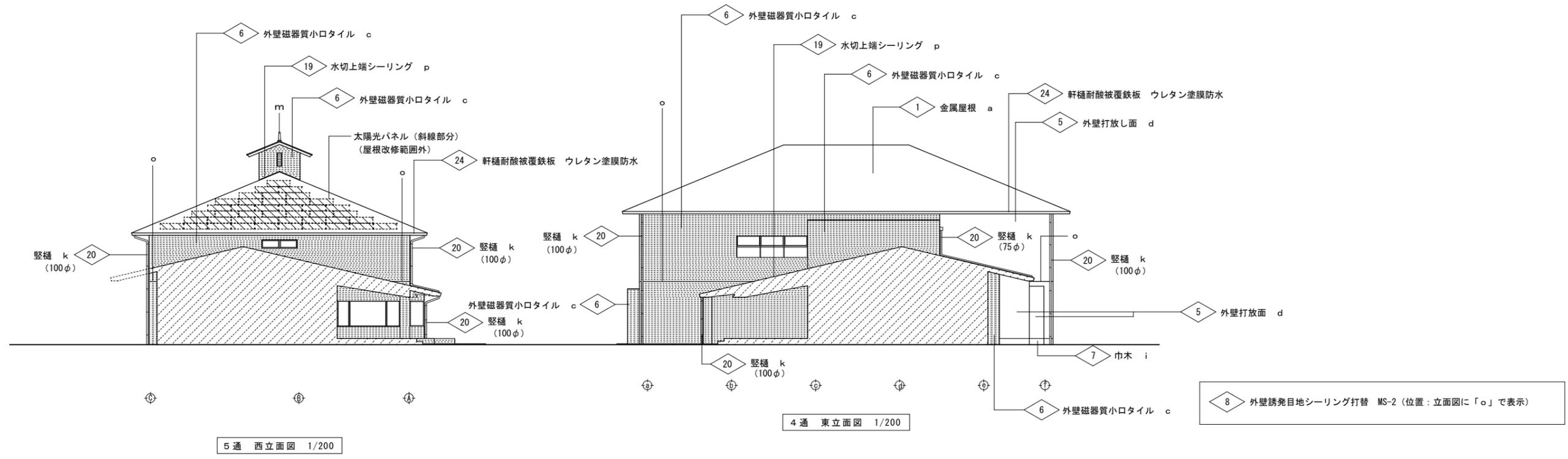


8 外壁誘発目地シーリング打替 MS-2 (位置：立面図に「o」で表示)



外部仕上表 (現状)

凡	a 屋根 フッ素樹脂銅板t0.5 横葺き	f 巾木 モルタル金ゴテ	k 縦樋 硬質塩ビ管100φ (一部75φ) VP	p 水切上端シーリング (MS-2)
例	b 屋根 銅板t0.4焼付塗装 瓦棒葺き	g インターロッキング	l -	q 鋼製ドア OP塗装
	c 磁器質小口タイル貼	h 磁器タイル (床用) 200角	m 棟飾り 陶器特注品	
	d 合板型枠打放し 吹付タイル	i モルタル金ゴテ	n RC水切上端 防水モルタル金ゴテ	
	e 磁器質2丁掛タイル貼	j 軒樋 耐酸被覆鉄板 t0.7 カラー&#228;1.5カバー	o 外壁誘発目地シーリング (MS-2)	



外部仕上表 (現状)

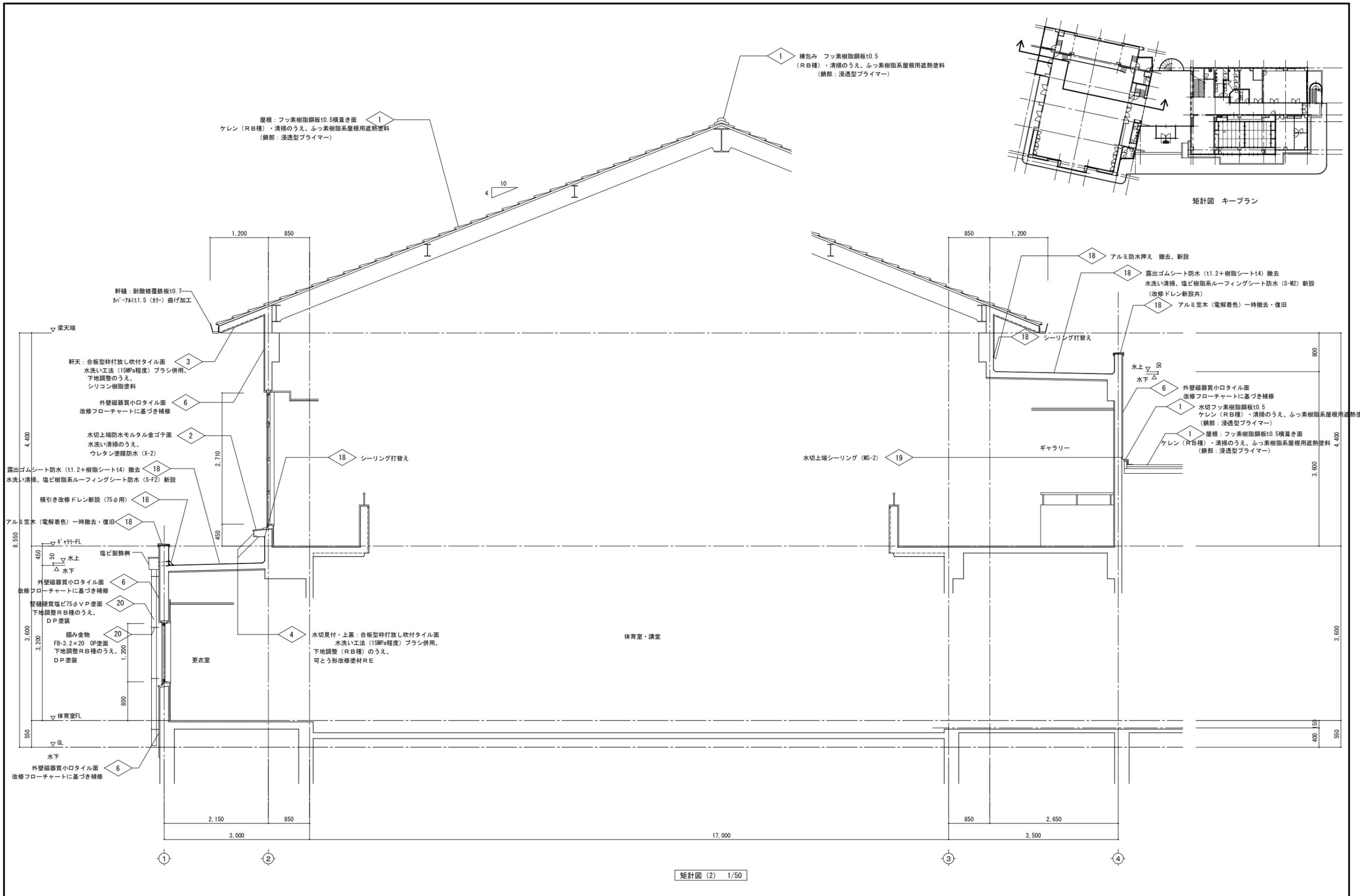
凡	a 屋根 フッ素樹脂鋼板t0.5 横葺き	f 巾木 合板型枠打放し補修	k 縦樋 硬質塩ビ管100φ (一部75φ) V P	p 水切上端シーリング (MS-2)
	b 屋根 銅板t0.4焼付塗装 瓦葺き	g インターロッキング	l -	
例	c 磁器質小口タイル貼	h 磁器タイル (床用) 200角	m 棟飾り 陶器特注品	
	d 合板型枠打放し 吹付タイル	i モルタル金ごて	n RC水切上端 防水モルタル金ごて	
	e 磁器質2丁掛タイル貼	j 軒樋 耐酸被覆鉄板t0.7 鈷-7#mt1.5カバ-	o 外壁誘発目地シーリング	

備考

株式会社 三宅設計  
 TEL 0574 (62) 1881  
 FAX 0574 (62) 5432  
 1級建築士 三宅 晶 信 第68278号

承認	設計	設計年月日	NO.	工事名	兼山地区センター外部改修	工事設計図
			13	図面名	立面図 (2)	scale 1/200





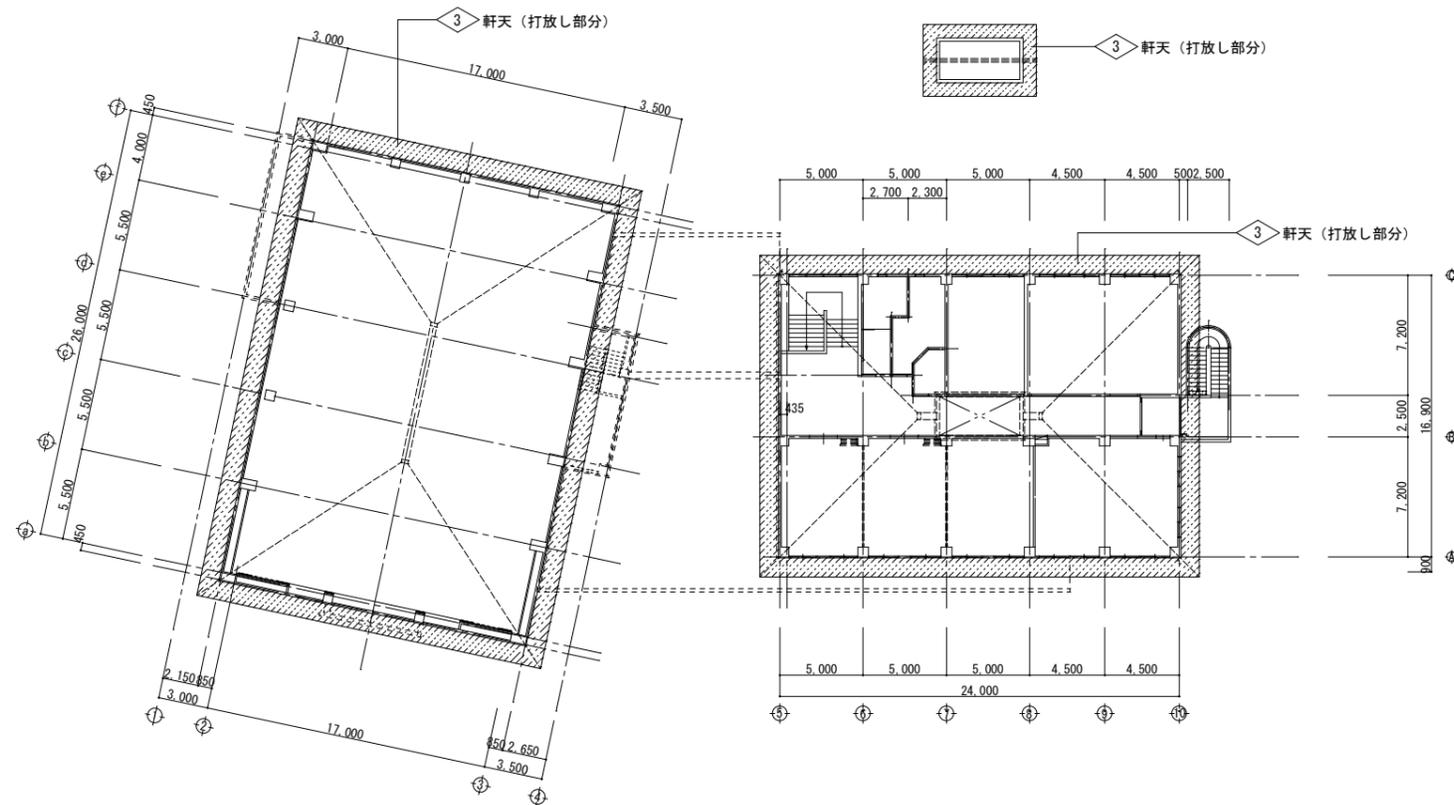
屋根：フッ素樹脂鋼板t0.5横置き面  
ケレン (RB種) ・清掃のうえ、ふっ素樹脂系屋根用遮熱塗料  
(錆部：浸透型プライマー)

1 襖包み フッ素樹脂鋼板t0.5  
(RB種) ・清掃のうえ、ふっ素樹脂系屋根用遮熱塗料  
(錆部：浸透型プライマー)

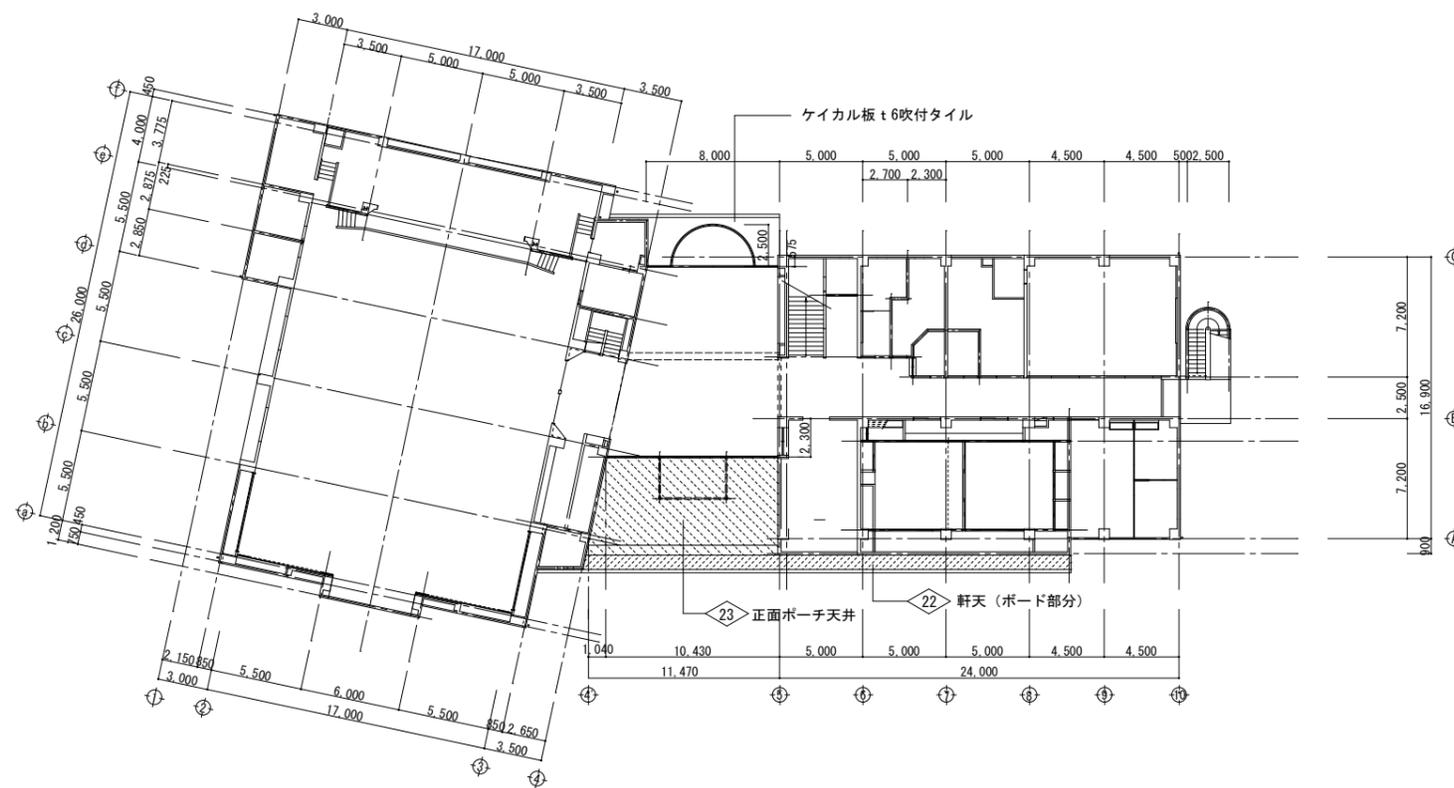
矩計図 キープラン

矩計図 (2) 1/50

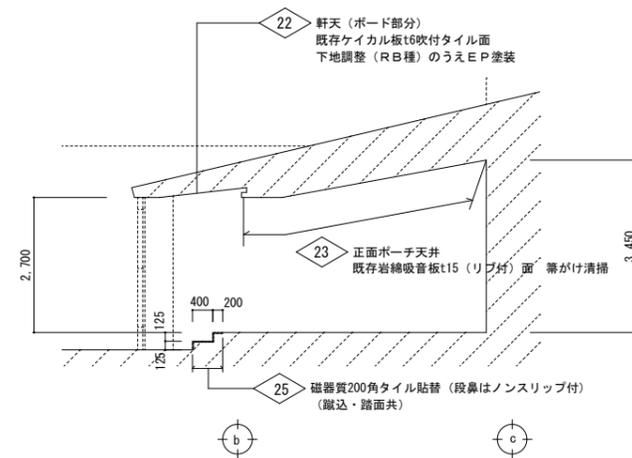
備考	株式会社 三宅設計 TEL 0574 (62) 1881 FAX 0574 (62) 5432 1級建築士 三宅 晶 信 第68278号	承認	設計	設計年月日	NO.	工事名	兼山地区センター外部改修	工事設計図
					15	図面名	矩計図 (2)	scale 1/50



2階 屋根軒裏平面図 1/200



1階 屋根軒裏平面図 1/200



正面ポーチ部分断面図 1/100

備考

承認

設計

設計年月日

NO.

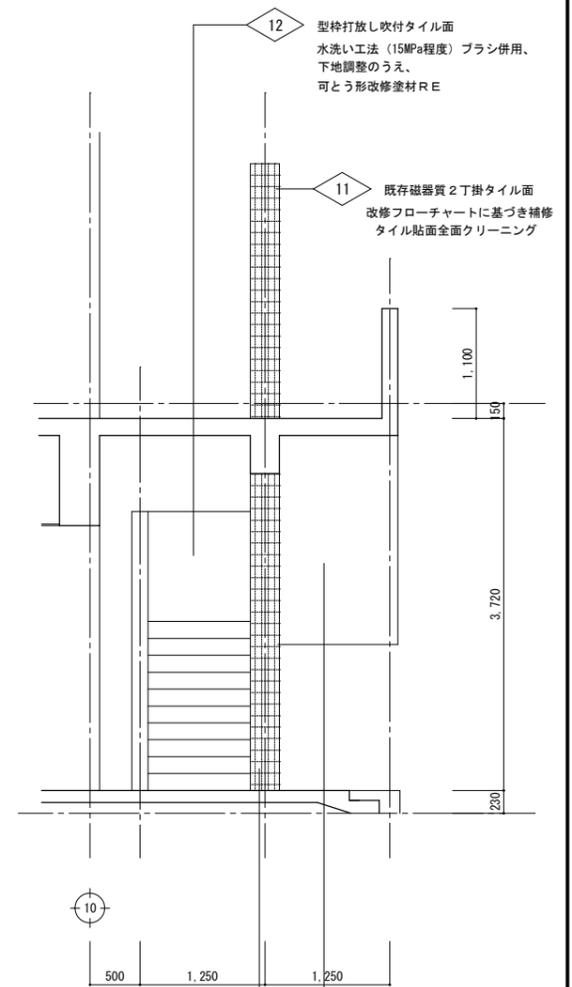
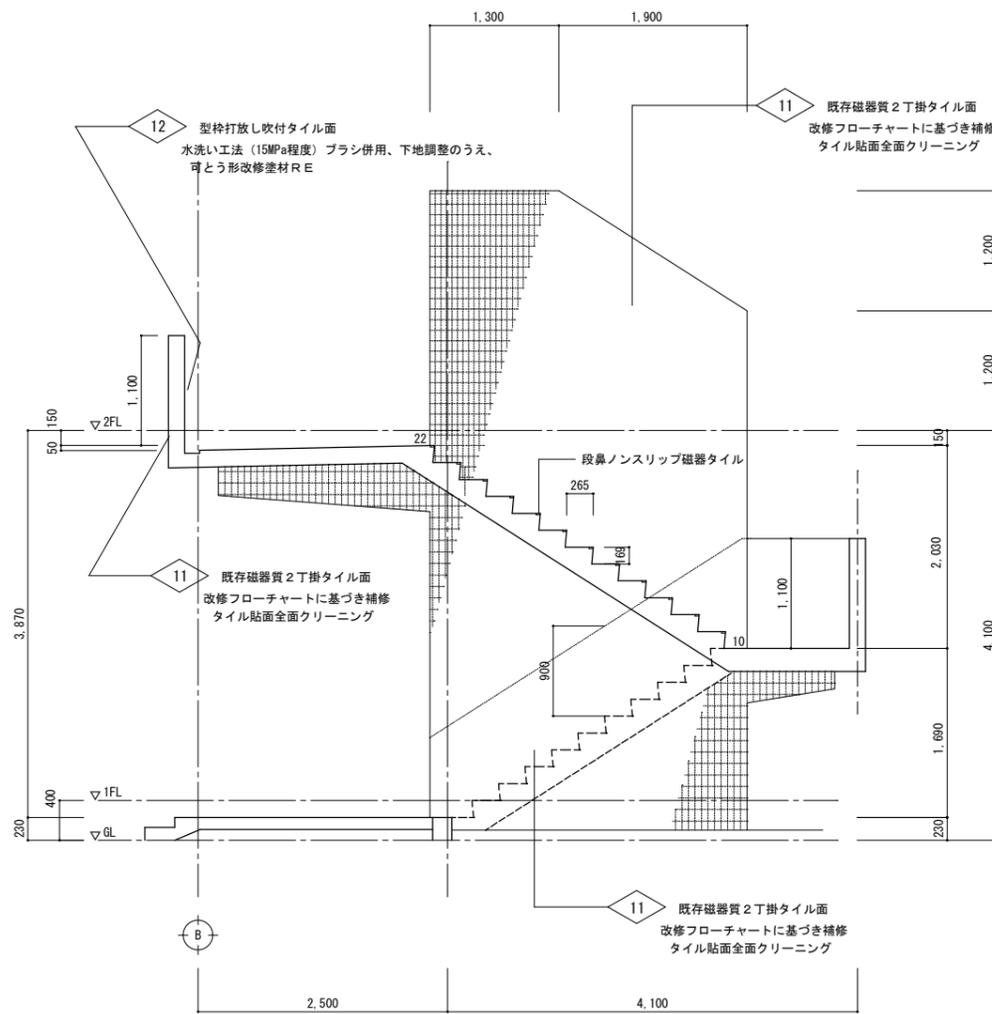
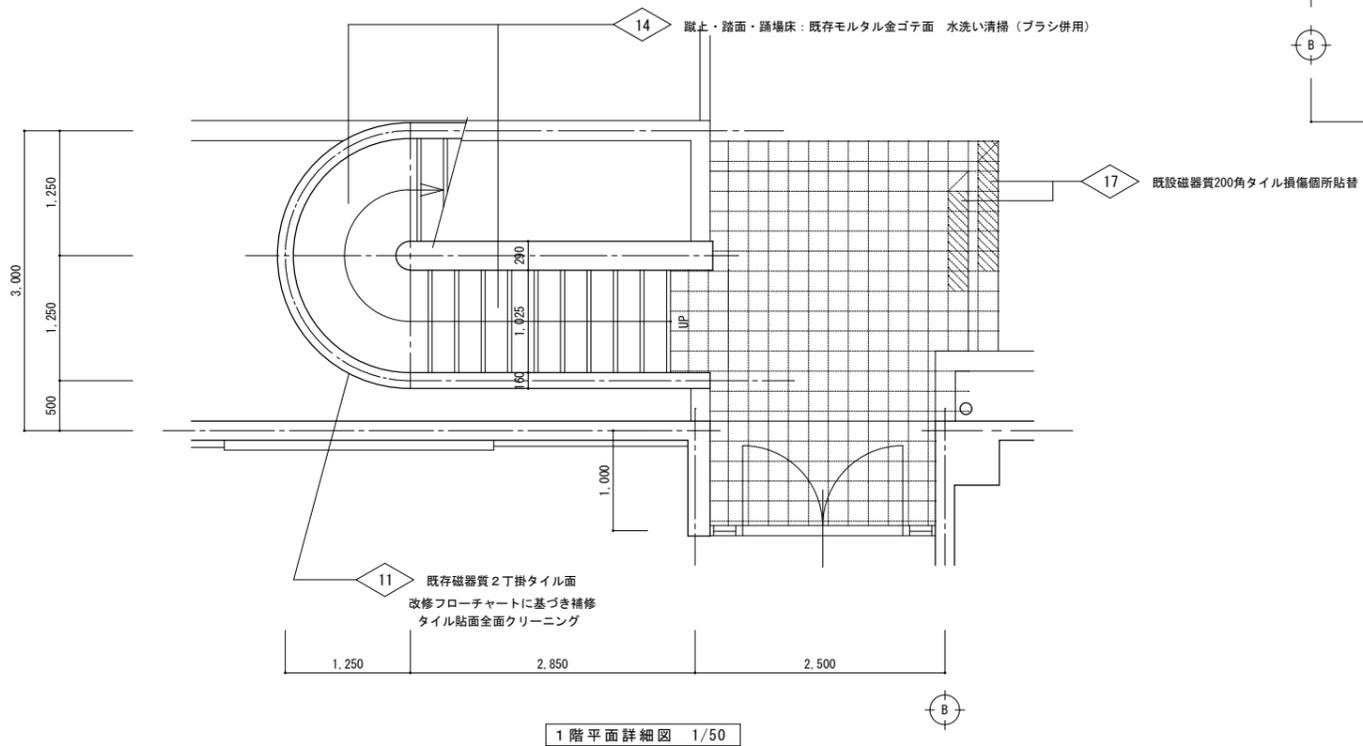
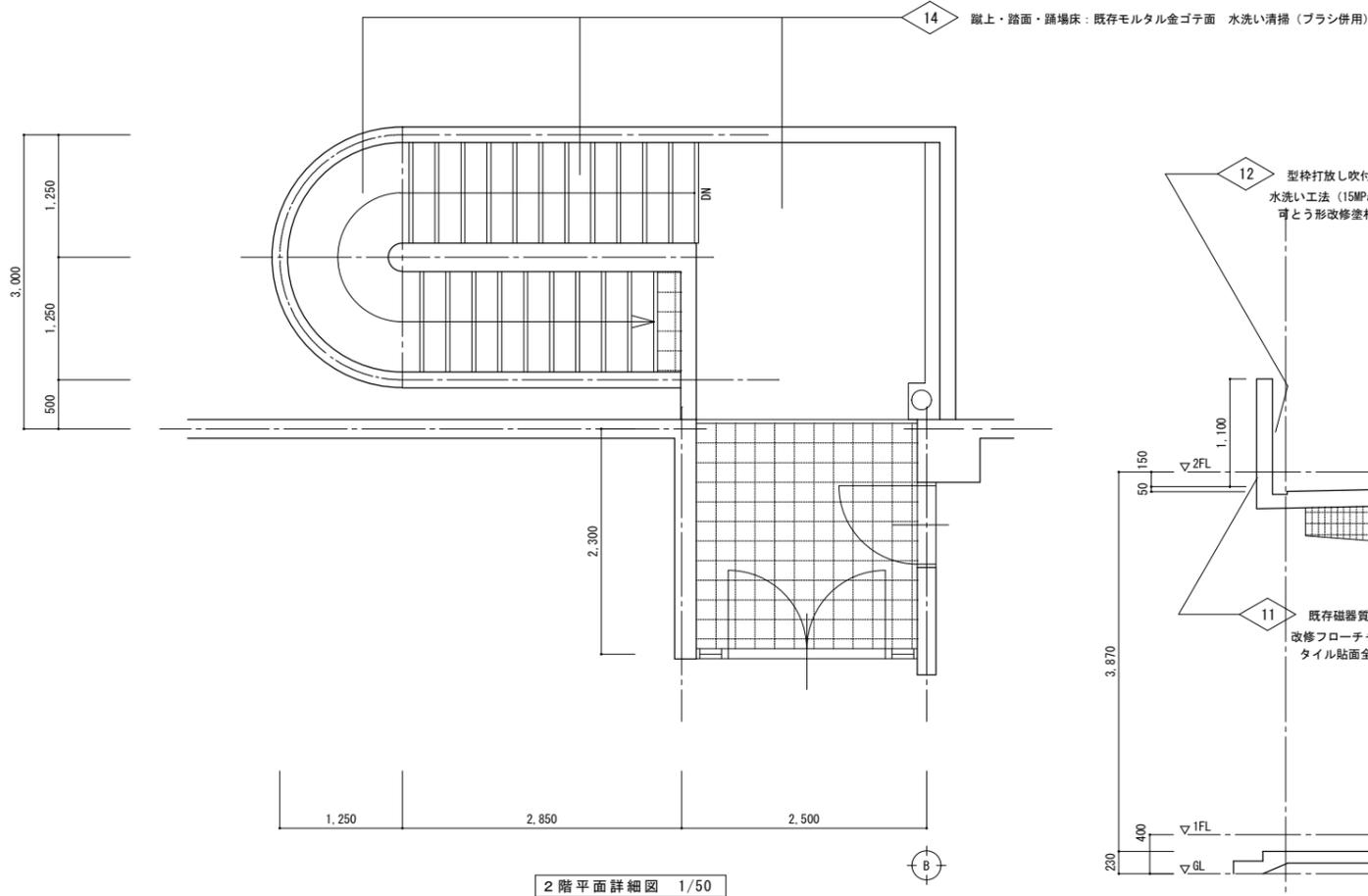
16

工事名 兼山地区センター外部改修

工事設計図

図面名 天井伏図・正面ポーチ部分断面図

scale 1/200・100



既存磁器質2丁掛タイル面  
改修フローチャートに基づき補修  
タイル貼面全面クリーニング

上表：既設打放し吹付タイル面  
水洗い工法（15MPa程度）ブラシ併用、  
下地調整のうえ、可とう形改修塗材RE

備考

承認

設計

設計年月日

NO.

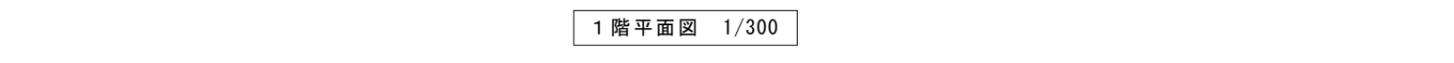
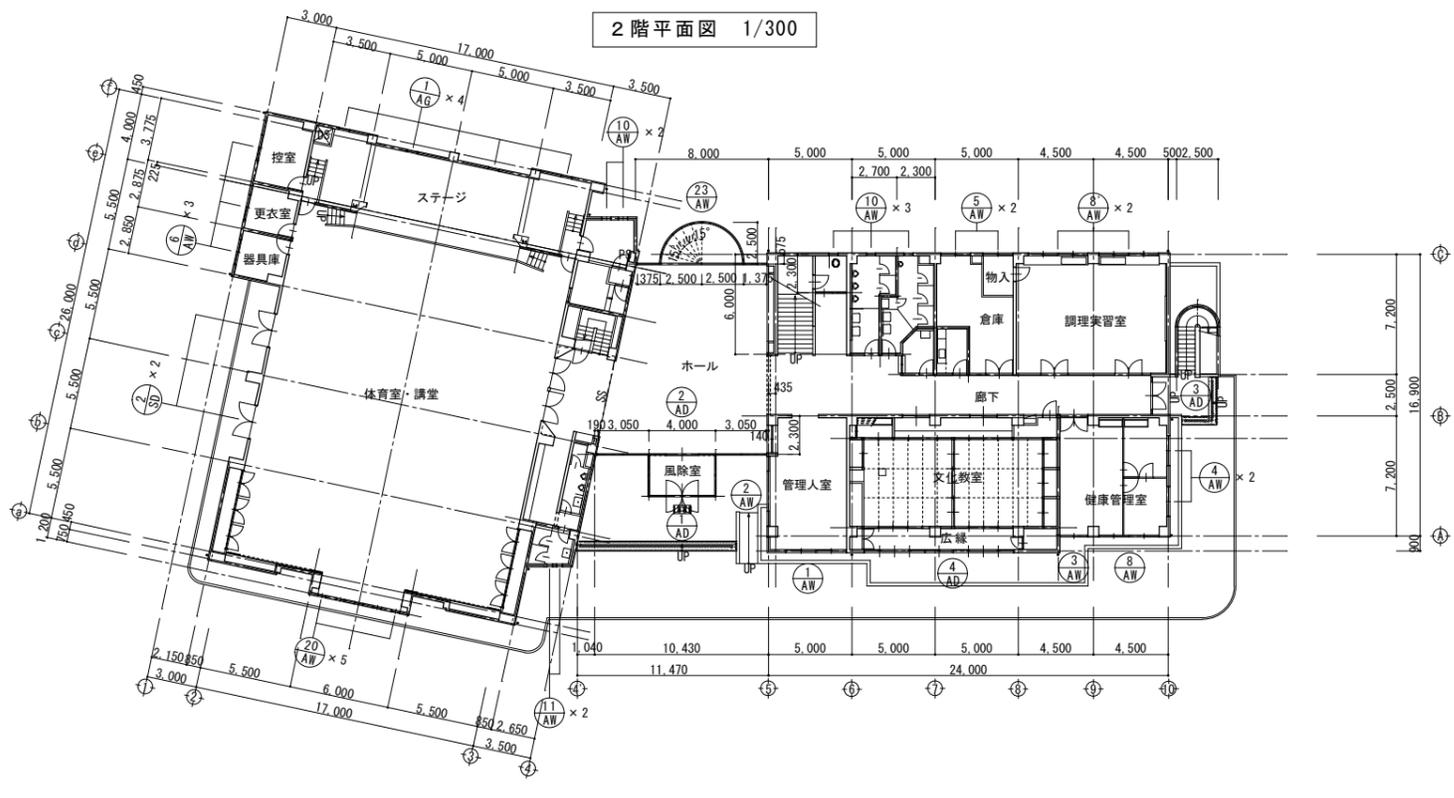
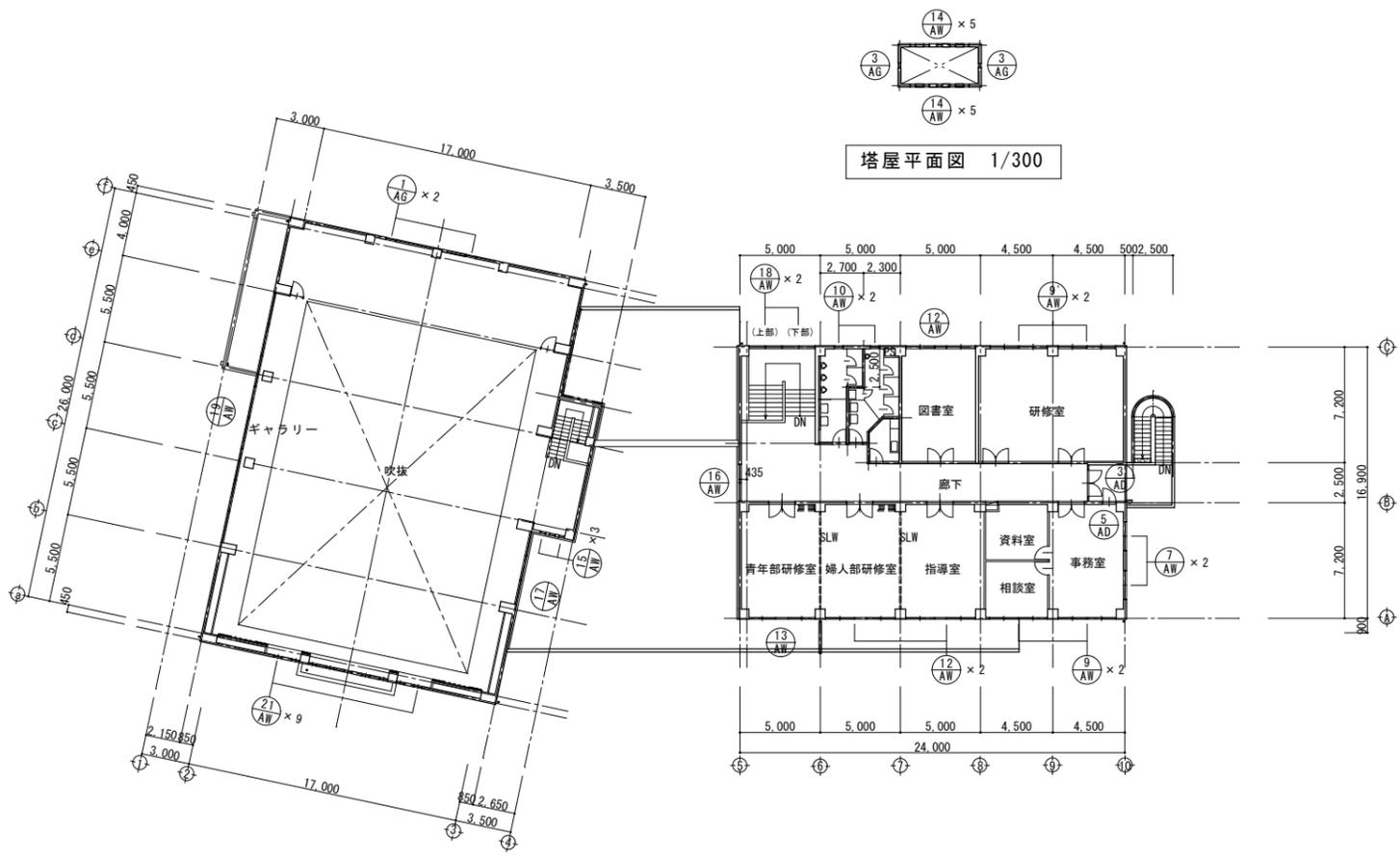
17

工事名 兼山地区センター外部改修

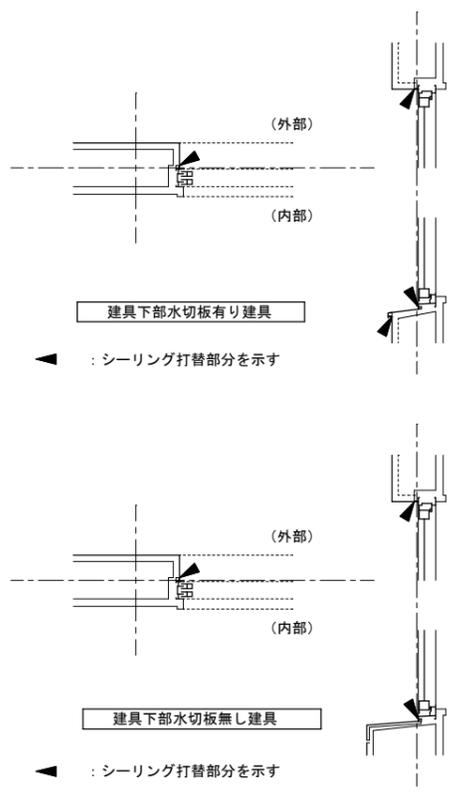
工事設計図

図面名 屋外階段詳細図

scale 1/50



※特記無き限り建具下部は水切り板有りを示す



記号	① AW			② AW			③ AW			④ AW			⑤ AW		
型式	2連引違い一部はめ殺しアルミサッシュ			両袖可動片引きアルミサッシュ			引違いアルミサッシュ			引違いアルミサッシュ			引違いアルミサッシュ		
寸法 W×H	5,640×1,650	数量	1	4,185×1,650	数量	1	1,590×1,650	数量	1	1,750×1,650	数量	2	1,750×1,650	数量	2
場所	1F 管理人室			1F 管理人室			1F 健康管理室			1F 健康管理室			1F 倉庫、物入		
姿図															
記号	⑥ AW			⑦ AW			⑧ AW			⑧ AW			⑨ AW		
型式	引違いアルミサッシュ			引違いアルミサッシュ			2連引違いアルミサッシュ			2連引違いアルミサッシュ			2連引違いアルミサッシュ		
寸法 W×H	1,500×1,200	数量	3	1,750×1,900	数量	2	3,570×1,650	数量	1	3,570×1,650	数量	2	3,570×1,900	数量	2
場所	1F 更衣室、器具庫、控室			2F 事務室			1F 健康管理室			1F 調理実習室			2F 事務室、相談室		
姿図															
記号	⑨ AW			⑩ AW			⑪ AW			⑫ AW			⑫ AW		
型式	2連引違いアルミサッシュ			片開きアルミサッシュ			片開きアルミサッシュ			3連引違い一部はめ殺しアルミサッシュ			3連引違い一部はめ殺しアルミサッシュ		
寸法 W×H	3,570×1,650	数量	2	500×1,200	数量	7	300×1,200	数量	2	4,300×1,900	数量	2	4,300×1,900	数量	1
場所	2F 研修室			1F 男子便所、女子便所、身障者便所、控室×2 2F 男子便所、女子便所			1F 女子便所 (体育室)			2F 婦人部研修室、指導室			2F 図書室		
姿図															
記号	⑬ AW			⑭ AW			⑮ AW			⑯ AW			⑰ AW		
型式	3連引違い一部はめ殺しアルミサッシュ			はめ殺しアルミサッシュ			はめ殺しアルミサッシュ			2連突出しアルミサッシュ			3連突出し一部はめ殺しアルミサッシュ		
寸法 W×H	4,000×1,900	数量	1	300×1,100	数量	10	300×1,300	数量	3	2,250×500	数量	1	5,200×1,410	数量	1
場所	2F 青年部研修室			天守閣			2F 階段室ギャラリー			2F 廊下ホール			2F ギャラリー		
姿図															

備考



株式会社 三宅設計

TEL 0574 (62) 1881  
FAX 0574 (62) 5432

1級建築士 三宅晶信 第68278号

承認

設計

設計年月日

NO.

19

工事名 兼山地区センター外部改修

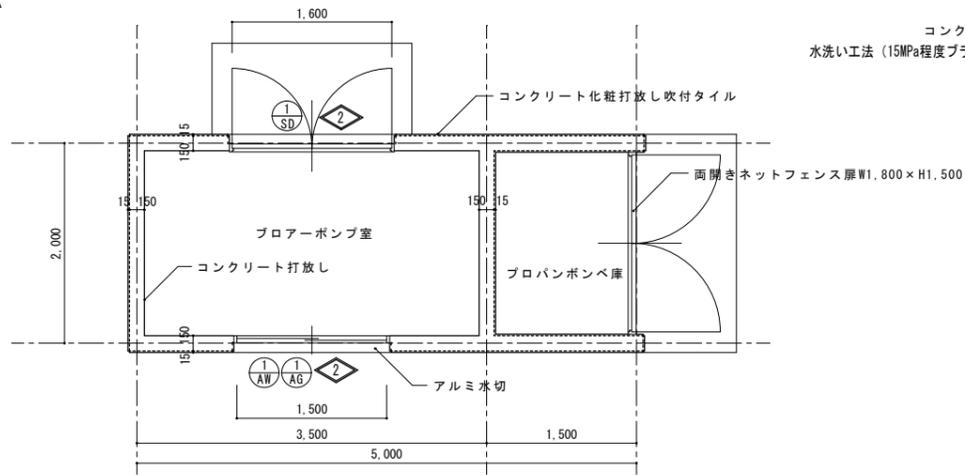
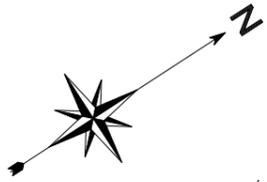
工事設計図

図面名 外部建具表 (1)

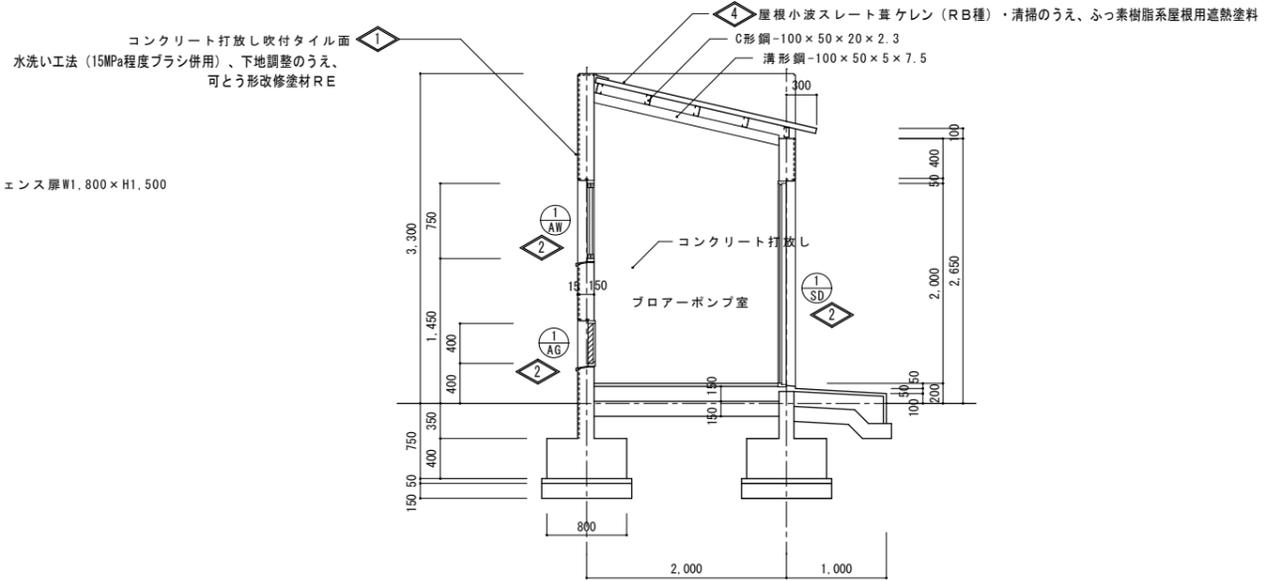
scale 1/100

記号	18 AW	19 AW	20 AW	21 AW
型式	4連突出しアルミサッシ	はめ殺し一部突出しアルミサッシ	タテ軸回転アルミサッシ	タテ軸回転アルミサッシ
寸法 W×H	4,070×750 数量 1	15,780×2,710 数量 1	450×1,400 数量 5	450×1,600 数量 9
場所	階段室	1F 体育室 (ギャラリー部分)	1F 体育室	2F ギャラリー
図面				
記号	23 AW	1 AD	2 AD	
型式	はめ殺しアルミサッシ	袖はめ殺し両開きアルミ扉ドア	袖ランマはめ殺しランマ突出し両引分けアルミ自動ドア	
寸法 W×H	7,850×2,380 数量 1	8,900×2,100 数量 1	10,100×3,450 数量 1	
場所	1F コミュニティコーナー	1F 風除室	1F ホール	
図面				
記号	3 AD	4 AD	5 AD	
型式	袖はめ殺しランマ突出し両開きアルミ扉ドア	ランマ付3連引違い両袖4本引きアルミサッシ	ランマはめ殺し片開きアルミ扉ドア	
寸法 W×H	2,190×2,460 数量 2	8,930×2,300 数量 1	800×2,460 数量 1	
場所	1F・2F 廊下	1F 広縁	2F 事務室	
図面				
記号	1 AG	3 AG	2 SD	
型式	アルミ固定ガラリ	アルミ固定ガラリ	両開きスチールフラッシュドア	
寸法 W×H	600×400 数量 6	250×800 数量 2	2,000×2,000 数量 2	
場所	ステージ	天守閣	1F 体育室	
図面				

備考

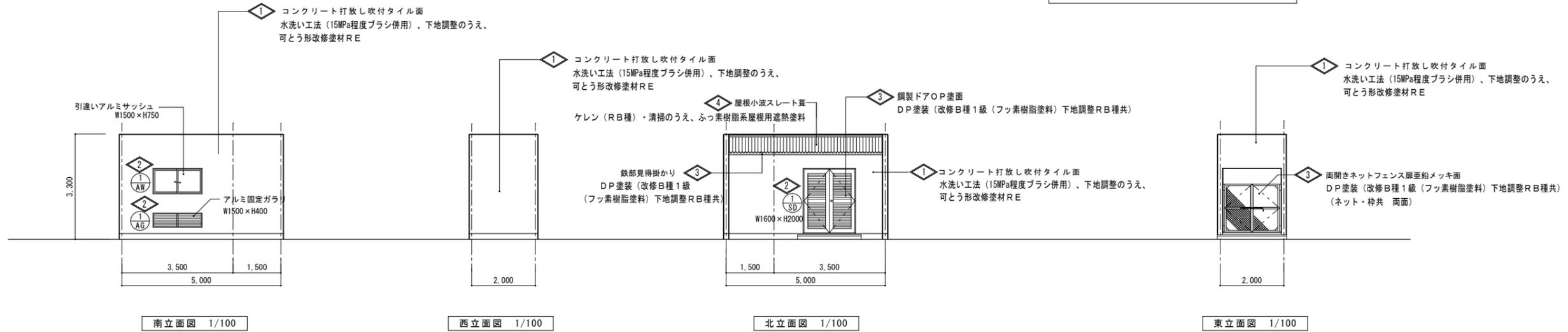


平面図 1/50



断面図 1/50

外部建具目地シーリング打替 MS-2



南立面図 1/100

西立面図 1/100

北立面図 1/100

東立面図 1/100

備考

株式会社 三宅設計  
 TEL 0574 (62) 1881  
 FAX 0574 (62) 5432  
 1級建築士 三宅 晶 信 第68278号

承認

設計

設計年月日

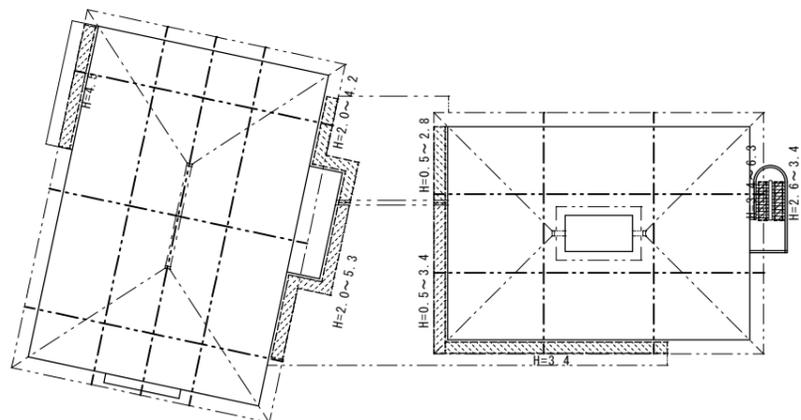
NO.

工事名 兼山地区センター外部改修

工事設計図

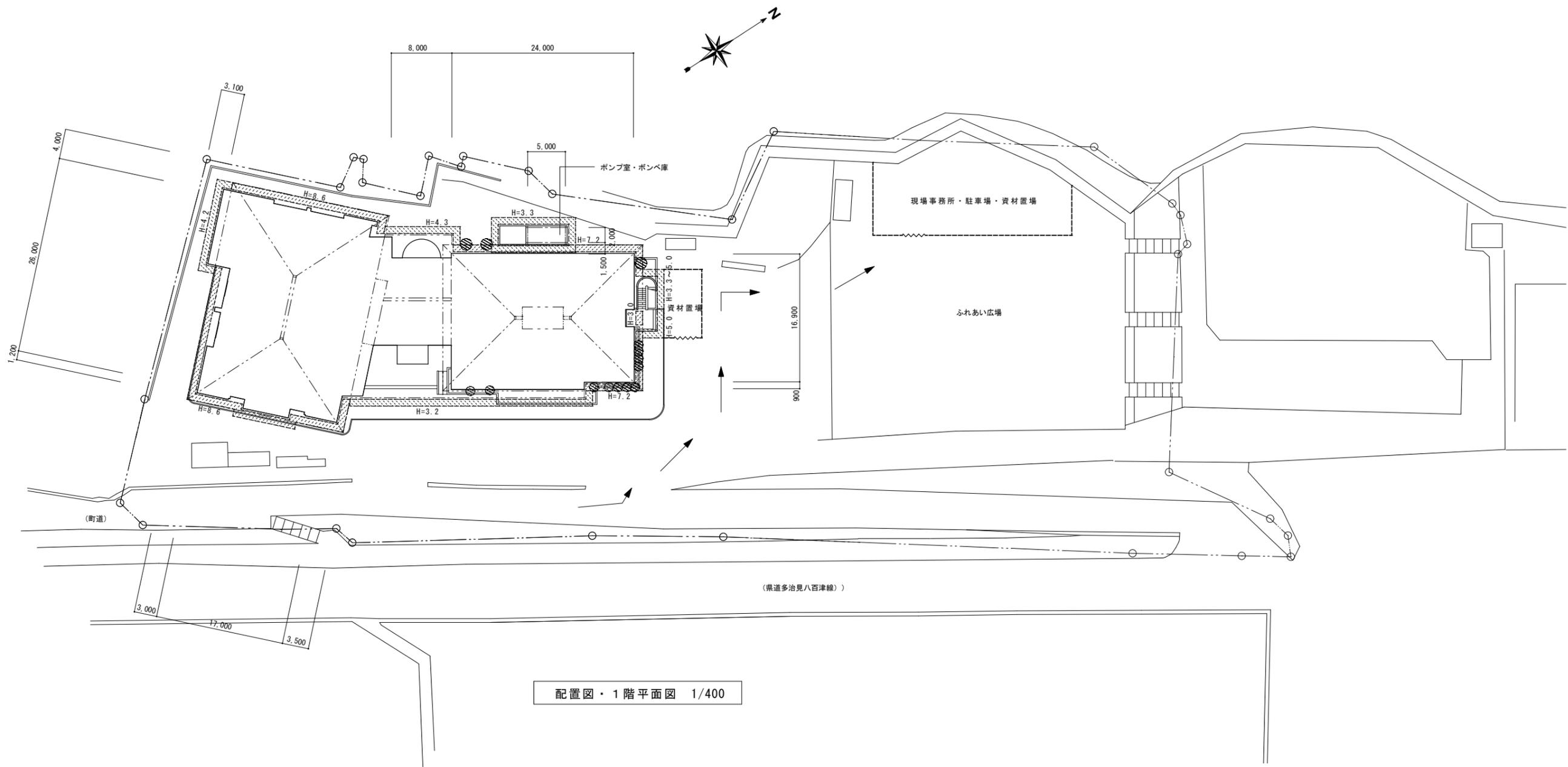
21

図面名 ポンプ室・ポンベ庫 平面図・断面図・立面図 scale 1/100・50

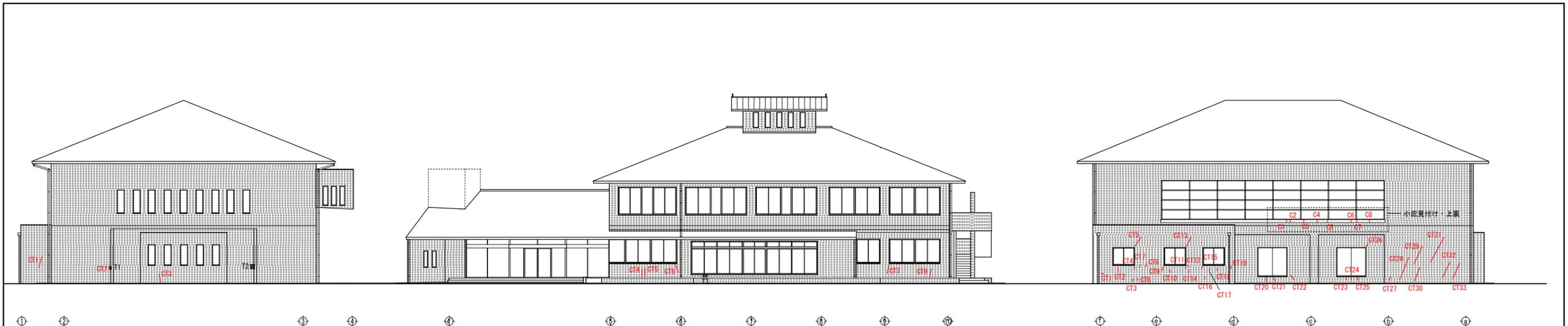


屋根伏図 1/400

凡例	
	外部足場：くさび緊結式足場（W900）メッシュシート共
	外部足場：くさび緊結式足場（W600）メッシュシート共
	波形鉄板場（H1800）
	クロスゲート H1,800 W3,000
	工事車両進入経路
安全係員	必要に応じて工事車両出入口等に安全係員を配備する。
	支障樹木撤去（伐採・搬出・処分）

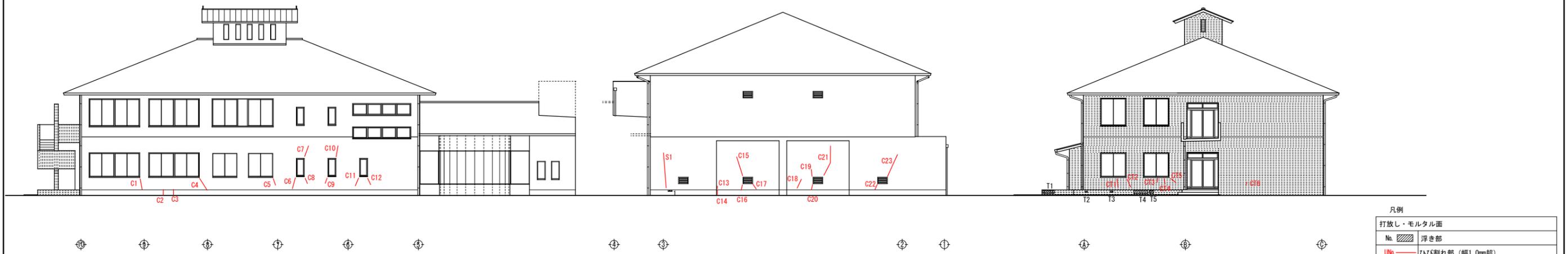


配置図・1階平面図 1/400



南立面図 1/200

西立面図 1/200



北立面図 1/200

東立面図 1/200

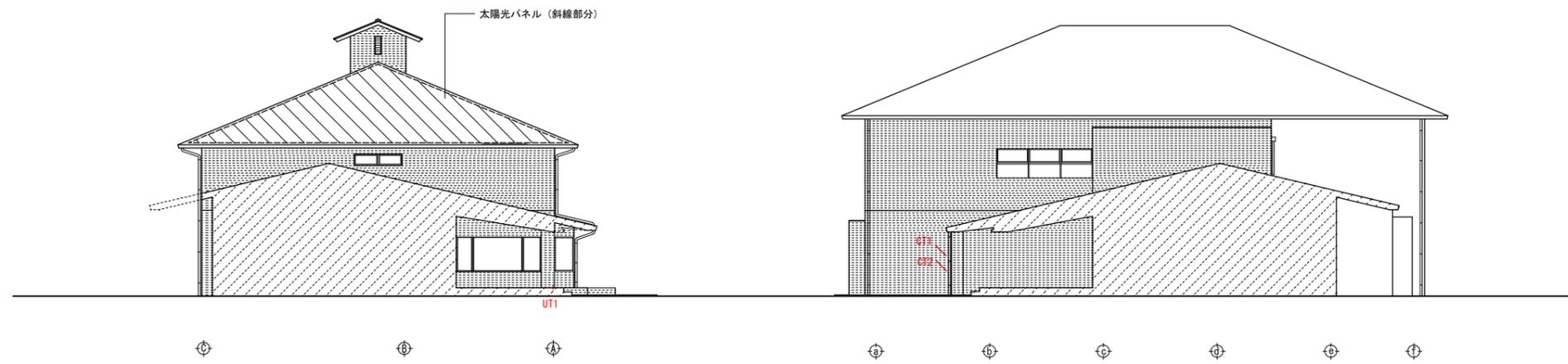
凡例

打放し・モルタル面	
No.	浮き部
UNo.	ひび割れ部 (幅1.0mm超)
CNo.	ひび割れ部 (幅0.2mm以上~1.0mm以下)
SNo.	ひび割れ部 (幅0.2mm未満)
KNo.	欠損・爆裂 (100×100程度)
タイル張り面	
TNo.	浮き部
UTNo.	ひび割れ部 (幅1.0mm超)
CTNo.	ひび割れ部 (幅0.2mm以上~1.0mm以下)

外壁補修内容一覧

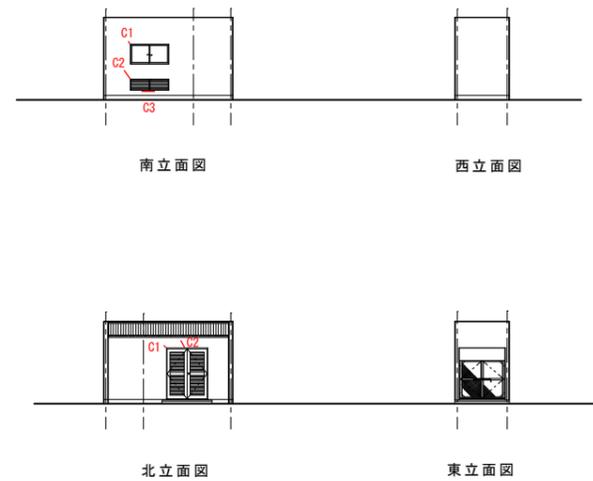
■ 外壁タイル面不良箇所	■ モルタル塗り面不良箇所			■ コンクリート打ち放し面不良箇所				■ 特記事項		
	外壁	屋外階段	花壇	モルタル塗り面の浮き (狭幅部)	巾木	ひび割れ (1.0mm超)	外壁	軒天	屋外階段	ポンプ室
タイル面の浮き (一般部)	1.0 m <sup>2</sup>	0.5 m <sup>2</sup>	0.0 m <sup>2</sup>	モルタル塗り面の浮き (狭幅部)	0.3 m <sup>2</sup>	ひび割れ (1.0mm超)	1.0 m	1.0 m	0.5 m	0.5 m
タイル面の浮き (狭幅部)	1.7 m	1.0 m <sup>2</sup>	3.1 m	ひび割れ (1.0mm超)	0.1 m	ひび割れ (0.2mm~1.0mm)	44.4 m	5.0 m	16.1 m	1.4 m
欠損・ひび割れ部分・陶片浮き・汚損部分 (張替)	16.2 m <sup>2</sup>	1.2 m <sup>2</sup>	0.2 m <sup>2</sup>	ひび割れ (0.2mm~1.0mm)	1.1 m	ひび割れ (0.2mm未満)	7.5 m	5.0 m	0.5 m	0.5 m
タイル下コンクリート躯体面のひび割れ (1.0mm超)	0.5 m	0.5 m <sup>2</sup>	0.2 m	ひび割れ (0.2mm未満)	0.1 m	欠損・爆裂 100×100程度	1箇所	0箇所	0箇所	0箇所
タイル下コンクリート躯体面のひび割れ (0.2mm~1.0mm)	66.8 m	5.0 m <sup>2</sup>	0.5 m			欠損・爆裂 50×50程度	1箇所	0箇所	0箇所	0箇所

■ 注記事項 ) 上表に示す劣化部の数量は、設計時の調査可能範囲における調査結果 (図示) をもとに算出した。

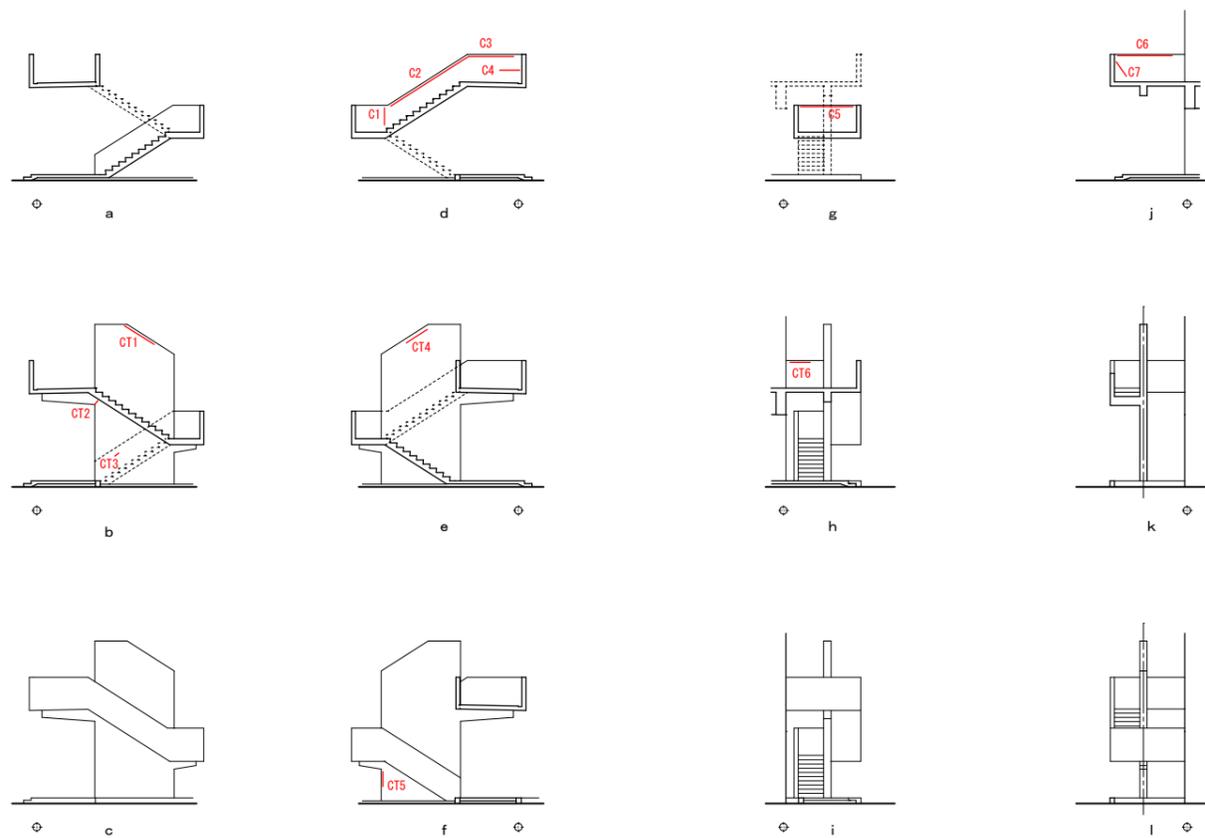


5通 西立面図 1/200

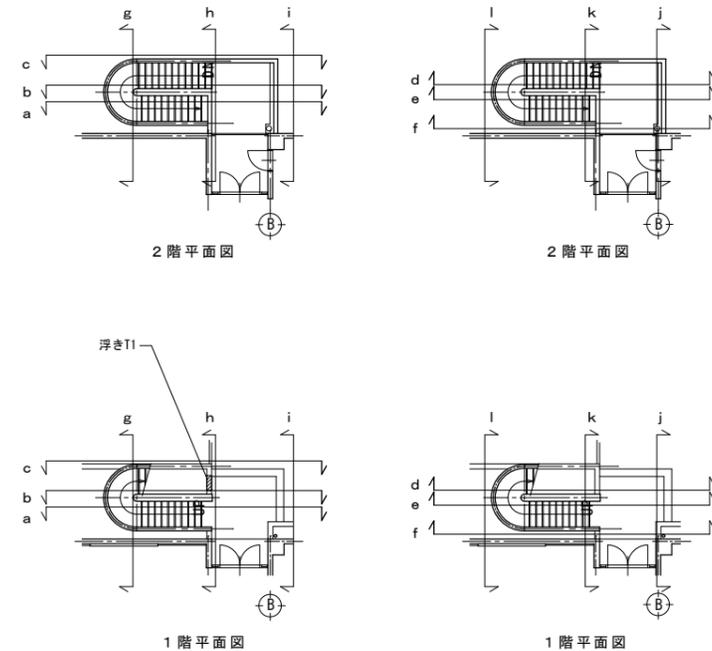
4通 東立面図 1/200



ポンプ室・ポンペ庫立面図 1/200



屋外階段立面図・展開図 1/200



凡例

打放し・モルタル面	
No.	浮き部
UNo.	ひび割れ部 (幅1.0mm超)
CNo.	ひび割れ部 (幅0.2mm以上~1.0mm以下)
SNo.	ひび割れ部 (幅0.2mm未満)
KNo.	欠損・爆裂 (100×100程度)
タイル張り面	
TNo.	浮き部
UTNo.	ひび割れ部 (幅1.0mm超)
CTNo.	ひび割れ部 (幅0.2mm以上~1.0mm以下)

備考 \_\_\_\_\_

株式会社 三宅設計  
 TEL 0574 (62) 1881  
 FAX 0574 (62) 5432  
 1級建築士 三宅 晶 信 第68278号

承認 \_\_\_\_\_ 設計 \_\_\_\_\_ 設計年月日 \_\_\_\_\_  
 No. 24

工事名 兼山地区センター外部改修 工事設計図  
 図面名 劣化調査図(2) scale 1/200